

佐々町
子どもの生活状況調査
結果報告書

令和6年12月

佐々町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施要領	3
3. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果考察	5
第3章 調査結果（小学生・中学生）	15
1. あなたのことについて	17
2. 学校生活について	17
3. ふだんの生活について	32
4. 困っていることや悩みについて	37
5. ふだん考えていることについて	40
6. 持ち物やおこづかいについて	49
7. 家族について	55
第4章 調査結果（保護者）	59
1. お子さんとの関係	61
2. 世帯の状況について	61
3. 小学校入学前の教育・保育状況について	71
4. お子さんへの関わり方について	72
5. お子さんの学校生活について	74

6. お子さんの進路希望について	75
7. お子さんの学習状況について	77
8. お子さんの放課後等の居場所について	79
9. 世帯の経済状況について	84
10. ふだんの生活と必要な支援について	89

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、佐々町で支援を要する方や必要な支援を把握し、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。

2. 調査の実施要領

調査時期	令和6年10月28日（月）～11月8日（金）
調査対象者	佐々町在住の 小学5～6年生・中学2年生の子ども及び保護者
調査方法	学校配布・回収

対象者	配布数	有効回収数	有効回答率
小学5～6年生	341件	311件	91.2%
中学2年生	171件	114件	66.7%
保護者	512件	403件	78.7%

3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

第2章 調査結果考察

学校生活の状況

①学習の状況及び理解度

ふだん学校の授業以外の勉強については、小・中学生ともに「自分で勉強する」が最も高く、次いで、小学生では「家の人に教えてもらう」、中学生では「友だちと勉強する」と回答しており、生活満足度が高いほど、小学生は「家の人に教えてもらう」、中学生は「自分で勉強する」割合が高くなっています。

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間については、学校がある・ないに関わらず、小・中学生ともに『1時間未満』が6割を超えています。中学生では平日と比べて休日の勉強時間が長くなっています。

学校の授業について、小学生では『わかる』が5割を超えています。中学生では6割が『わからない』と回答しています。また、授業がわからなくなった時期について、小学生では「小学4～5年生のころ」が7割台、中学生では「中学1年生のころ」が6割台となっています。

②今後の進路について

将来の進路について、小学生では「まだわからない」が最も高く、中学生では「高校」「専門学校」「大学」が2割台となっており、中学生の方が自身の将来を考え、具体的な進路を検討している様子がうかがえます。また、中学生では生活満足度が高いほど「大学」への進学希望の割合が高くなっています。

③地域のスポーツクラブや学校の部活動への加入、塾や習い事について

地域のスポーツクラブや学校の部活動への加入率は、小学生で5割、中学生で8割となっており、生活満足度が高いほど参加率が高くなっています。また、参加していない理由については、小・中学生ともに「参加したくないから」が最も高く、3割を超えています。

塾や習い事について、小学生では「スポーツ」、中学生では「学習塾等には通っていない」が最も高くなっており、生活満足度が低いほど「スポーツ」の習い事をしている割合が低くなっています。また、塾や習い事等に通っていない理由については、小・中学生ともに4割前後が「特に理由はない」と回答しているものの、中学生は小学生と比べて「通いたいが、親に月謝などの負担をかけられない」「学校の部活動などで忙しい」が15ポイント以上高くなっており、部活動での多忙さに加え、保護者の経済的負担などを考え、子ども自身が「遠慮」している傾向がうかがえます。

④より良い学校・教育に必要なこと

より良い学校・教育のために必要なことについては、小・中学生ともに「理想の先生がたくさんいること」が最も高く、次いで、小学生では「いつでも相談できる環境」「教室に入りたくない時に教室以外で過ごすことができる場所があること」、中学生では「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」となっています。子ども達が大人になることに期待を持つことができるよう、保護者以外の身近な存在である先生方の資質の向上に加え、安心して通える環境、子ども達の意見に耳を傾ける体制が求められています。

ふだんの生活の状況

①食事の摂取状況

食事については、小・中学生ともに、朝食及び夏休みや冬休み期間などの昼食は8割、夕食については9割が「毎日食べる（週7日）」と回答しています。

②睡眠時間

起床時間については、小・中学生ともに6割が「午前6時台」と回答しています。

就寝時間について、小学生は「午後10時台」、中学生は「午後11時台」が最も高くなっており、小学生は7割が『午後10時台まで』、中学生は5割以上が『午後11時台以降』に就寝していると回答しています。

③SNS等の利用状況

平日のインターネットの利用状況については、『1時間以上』の割合が最も高いのは、「動画を見る時間」となっており、小・中学生ともに6割を超えています。また、中学生は小学生と比べて「SNSを利用する時間」が長く、「ゲームをする時間」が短い傾向がみられます。

困っていることや悩みについて

いやなことや悩み等について（「悩んでいることはない」を除く）、小学生では「友だちのこと」が最も高く、中学生では約4割が「進学・進路のこと」、約3割が「学校や勉強のこと」と回答しています。また、中学生は小学生と比べて、勉強や進学・進路、部活動に関する悩みの割合が高くなっており、生活満足度が低いほど悩みが多くなっていることがうかがえます。

困りごとや悩みごとを相談できる相手については、小・中学生ともに「親」「学校の友だち」が高くなっていますが、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「その他の大人」は1割を切っており、悩み事については家族や親戚及び学校の先生や友人等、身近な相手に相談している様子がうかがえます。また、1割が「だれにも相談できない、相談したくない」と回答しており、自由記述でも相談支援を求める意見があることから、子ども達のニーズに合った、安全で気軽に相談できる支援体制（SNS等での相談含む）の整備が必要です。

生活や自身の状況、自宅や友人の家以外の場所の利用状況について

①生活や自身の状況

ふだんの生活については、小・中学生ともに約3割が『満足度が高い』と回答しています。

自分自身に対する認識（自己認識）については、小・中学生ともに「自分の親（保護者）から愛されていると思う」「自分を助けてくれる人がいる」という認識が高くなっています。また、生活満足度が低いほど「今の自分が好き」「上手くいくかわからないことにも意欲的に取り組む」では『あてはまらない』と回答している割合が高くなっています。

小・中学生ともに親子関係を肯定的に捉え、自己肯定感及び自己有用等が高くなっていますが、生活満足度が低いほど自己肯定感やチャレンジ精神が低くなっていることがわかります。子どもたちが自身をポジティブに捉え、自信を持って行動するためにも、これらの感覚を育てていくためのサポートが必要です。

ここ半年の自身の状況については、小・中学生ともに9割前後が「私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える」「私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる」「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている」と回答しており、自己の親切さや他者への配慮ができており、良好な友人関係が築けていると認識していることがうかがえます。

②自分や友人の家以外の場所の利用状況

利用経験が最も高いのは、小・中学生ともに約3割が「(自分や友だちの家以外で)平日の夕方や休日を過ごすことができる場所(放課後児童クラブなど)」と回答しています。

今後の利用意向が最も高いのは、小学生では「(自分や友だちの家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)、中学生では「勉強を無料でみてる場所(無料学習会など)」となっています。自由記述でも学習支援や学習できる環境を求める声が多くあげられており、安心して勉強できる環境整備や支援等が求められています。

持ち物やおこづかいについて

持ち物については、小・中学生ともに、「ゲーム機」「テレビ」「文房具」が8割を超えており、中学生では「スマートフォン・タブレット機器(SNSを使えるもの)」「自分で選んだ服」も8割を超えています。また、生活満足度が高いほど、小学生では「運動用具(ボール・ラケットなど)、中学生では「スマートフォン・タブレット機器(SNSを使えるもの)」「自転車」「運動用具(ボール・ラケットなど)」「子ども部屋」が高くなっています。

毎月のおこづかいについて(「おこづかいはない」を除く)、小学生は「1,000円台以下」、中学生は「1,000円台」「3,000円台」の割合が高くなっています。また、中学生では生活満足度が低いほど「3,000円台」が高くなっています。

おこづかいの用途としては、小学生では「貯金」、中学生では「友だちとの遊び」が最も高くなっています。

家族について

世話をしている家族がいるか尋ねたところ、小・中学生ともに約8割が「いない」と回答していますが、小学生では約2割が「いる」と回答しています。

世話をしている家族については、小学生では7割が「兄弟」と回答しており、お世話の内容は、5割前後が「家事（料理や買い物、そうじ、洗濯など）」「兄弟・姉妹の面倒を見ることや、保育園の送りむかえなど」「見守りをする、話し相手になる」と回答しています。

今欲しい支援について、小学生では「特にない」が最も高いものの、3割が「勉強の支援」、2割が「家族や自分のことについて一緒に考えてくれる支援」と回答していることから、子どもだけではなく保護者も含めたサポート、気軽に相談できる相談体制、関係機関と連携した包括的な支援体制の整備等が必要です。

世帯の状況

回答者については、小・中学生ともに8割以上が「母親」と回答しており、本調査は主に「母親」の視点からみた子どもや家庭の生活状況に関する意識や実態として考察することが妥当だと考えられます。

家族構成人数については、小・中学生ともに3割前後が「4人」「5人」と回答しており、家族構成については「母親・父親」は8～9割台、「兄弟・姉妹」は5割前後が「いる」と回答しています。

保護者の婚姻状況については、小・中学生ともに「結婚している」が8割台、「離婚」が1割前後となっています。離婚後の養育費の取り決めについては、小・中学生ともに約5割が「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答していますが、小学生では中学生と比べて『受け取っている』が20ポイント以上高くなっています。

保護者の最終学歴については、母親・父親ともにいずれも「高校まで」が最も高くなっています。

保護者の就労状況については、母親では小・中学生ともに「パート等」が最も高く、父親では約8割が「正社員等」と回答しており、働いていない理由については、母親では小・中学生ともに「子育てを優先したいため」が最も高く、小学生では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、中学生では「自分の病気や障がいのため」が3割となっています。

子育てと仕事を両立するために重要なこととして、小・中学生ともに「給与」「勤務時間」「休暇制度」「勤務場所」が6割を超えています。また、4割前後が「雇用形態」「急な用事等の場合に、子どもを預けられる場所」と回答しており、小学生では「日常的に子どもを預けられる場所」も3割を超えています。

仕事をしながら安心して子育てができ、ワーク・ライフ・バランス実現のためにも、雇用環境の整備や職場の理解や協力体制を整える、固定的な役割分担意識の解消、地域や関係機関と連携した支援体制の整備等、子育て世帯のニーズに対応できるような支援等が必要です。

お子さんとの関りについて

テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間等のルール、新聞や読書の習慣等、子どもとの関わり方について尋ねたところ、「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」では約8割が『あてはまる』と回答しており、親の方から尋ねなくても、子どもから自発的に勉強や成績について話をしている家庭が多いことがうかがえます。また、小学生では中学生と比べて「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」割合が高くなっています。どの項目も『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っていますが、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」では『あてはまらない』が4割を超えていることから、SNS等の普及など急激に進むデジタル化が背景にあり、活字離れが進んでいることがうかがえます。

学校行事やPTA活動及び地域行事等への参加率については、小・中学生ともに「授業参観や運動会等の学校行事への参加」への参加率が最も高く、9割を超えています。また、「地域行事等への参加」の参加率が6割前後、小学生では「PTA活動や保護者会などへの参加」の参加率も約6割となっていますが、中学生では『参加していない』が『参加している』を上回っています。

少子化や情報化が進展し、経済状況が変化する中で、人と人とのつながりや地域の絆が希薄化していることで、子育ての負担や責任が保護者に集中し、子育て中の保護者が孤立しやすくなる傾向があると考えられます。子どもが身近なところで安全に成長でき、多くの人と触れ合い、多様な価値観等を吸収していくためにも、地域活動の周知及び参加を促し、子どもや子育て世帯を地域で見守り・支える体制を整えることが必要です。

お子さんの進学及び学習状況について

進学については、小・中学生ともに3割前後が「高校」「大学」と回答しており、「経済的に困っている世帯」では「経済的に困っていない」世帯と比べて「大学」への進路希望が10ポイント以上低くなっています。

学校の学習で分からないことを教えてもらう相手については、小・中学生ともに「親やきょうだいなどの家族」が最も高く、特に小学生では6割を超えています。また、中学生は小学生と比べて「塾（家庭教師を含む）の先生」が10ポイント以上高くなっています。加えて、「経済的に困っている」世帯では「経済的に困っていない」世帯と比べて「親やきょうだいなどの家族」が10ポイント以上低くなっています。

お子さんの放課後の居場所について

お子さんが放課後（部活動後）過ごす場所及び今後過ごしたい場所については、小・中学生ともに「自宅」が最も高くなっており、保護者からみても9割以上が「子どもが自分の家を居心地がいいと感じている」と回答しています。

「子どもの居場所」の利用経験については、小・中学生ともに「利用したことがない」が8割を超えており、利用率は1割前後となっています。「子どもの居場所」を利用しない理由については、小・中学生ともに6割前後が「どこにあるか知らないから」と回答しており、小学生は中学生と比べて「家の近くにないから」が高く、「利用したいと思わないから」が低くなっています。

自由記述でも、子どもたちが安心して遊べる場所や放課後に過ごせる居場所の必要性を訴える意見が多くみられ、特に共働き世帯では子どもが自宅で過ごすことが多くなることからネットや動画の視聴時間等が長くなるという声もあがっています。また、「何をしているかわからないから」という回答も1割あることから、内容や利用方法を含めた周知とともに、子ども達が気軽に安心して利用したくなるような環境整備が必要です。

世帯の経済状況について

経済的な理由で子どもの学習意欲にこたえられなかった経験については、小・中学生ともに「ない」が7割を超えていますが、約3割は「ある」と回答しています。

経済的な理由で食料品や衣服等が購入できなかった経験については、小・中学生ともに8割前後が「まったくなかった」と回答していますが、1割は『あった』と回答しています。

教育関連支出の負担感については、小・中学生ともに「学校外教育費（塾・習い事等の費用）」が最も高く、小学生では「給食費」が3割を超えており、中学生では約3割が「教材費」「修学旅行費」と回答しています。

世帯全体のおおよその年間収入（税込）については、小学生では「500～600万円未満」、中学生では「700～800万円未満」が最も高くなっています。

現在の暮らしの状況については、小・中学生ともに「ふつう」が最も高く6割を超えていますが、『ゆとりがある』は1割を切っており、小学生では2割、中学生では3割が『苦しい』と回答しています。

自由記述では町の取組に感謝しながらも、物価高による教育費の負担感、将来の進学に対する不安を訴える意見や経済的支援を求める意見が多く寄せられているため、町民のニーズを把握し、さらに支援策を拡充していくことが必要です。

ふだんの生活と必要な支援について

1か月間の自身の感情の状態について、小・中学生ともに「神経過敏に感じた」「何をするのも面倒だと感じた」では『ある』が5割を超えています。それ以外の「絶望的だと感じた」「落ち着かなく感じた」「気分が沈みがち」「自分は価値のない人間だと感じた」では「まったくない」が5割を超えています。また、最近の生活の満足度については、小・中学生ともに『満足度が高い』は1割台となっています。

頼れる人の存在については、小・中学生ともに「子育てに関する相談」は9割、「重要な相談ごと」は8割が「頼れる人がいる」と回答しています。また、「いざという時のお金の援助」では「頼れる人がいる」が6割台と低くなっており、約3割は「いない+そのことでは人に頼らない」と回答しています。

頼れる相手について、小・中学生ともにどの相談内容も「家族・親族」が最も高く9割を超えています。また、「子育てに関する相談」は友人・知人や職場の人、「重要な相談ごと」では友人・知人に相談する割合が3割を超えています。また、「いざという時のお金の援助」は家族以外に相談する割合がいずれも1割以下となっており、相談内容が深くなるにつれて、家族等身近な人以外に頼る割合が低くなっています。

身近にあると良いと思うことについては、小・中学生ともに5割前後が「支援制度など必要な情報を届けてくれること」と回答しており、「保護者同士で気軽に話せる場」「家事の援助が受けられること」が2割を超えています。また、「経済的に困っている世帯」では「経済的に困っていない世帯」と比べて「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が10ポイント以上高くなっています。

各支援制度の利用状況については、小・中学生ともに「利用したことがない」が最も高く、7割を超えており、「就学援助」「児童扶養手当」は、「現在利用している+現在利用していないが、以前利用したことがある」が1割台と他の支援制度と比べて利用率が高くなっています。

町の相談窓口に望むこととして、小・中学生ともに5割が「匿名性がある」、3割が「ゆっくり相談できる」「同じ人に相談できる」「1か所でいろいろな相談ができる」「いつでも相談できる」と回答しています。

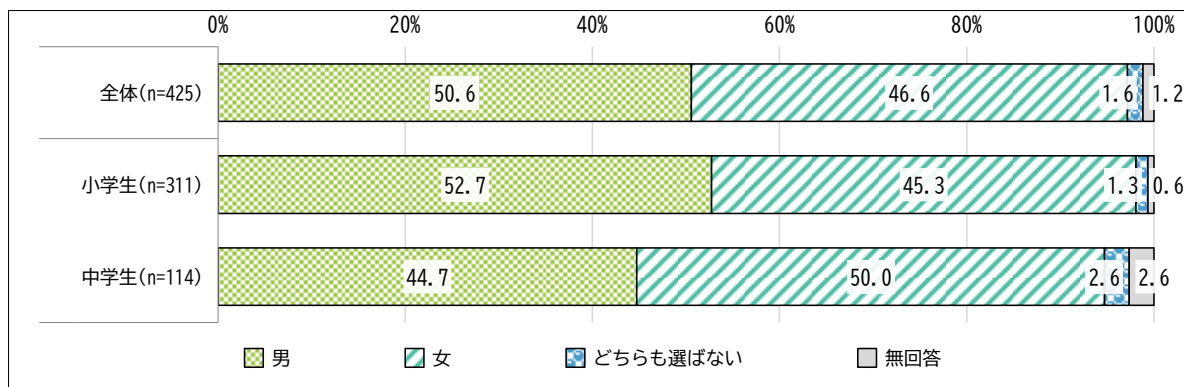
相談内容が漏れるのではないかと不安もあるせいか、身近な家族・友人以外への相談する割合が低くなっています。子育てに悩みを持つ保護者の孤立化を防ぐためにも、相談するというハードルを下げるための工夫、気軽に安心して相談できる支援体制（SNS等での相談含む）の整備、関連機関との情報共有等、安心して子育てができる環境づくりと切れ目のない支援を行うことが必要です。

第3章 調査結果（小学生・中学生）

1. あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(単数回答)

○小学生では「男」52.7%が「女」45.3%をやや上回っていますが、中学生では「女」50.0%が「男」44.7%をやや上回っています。

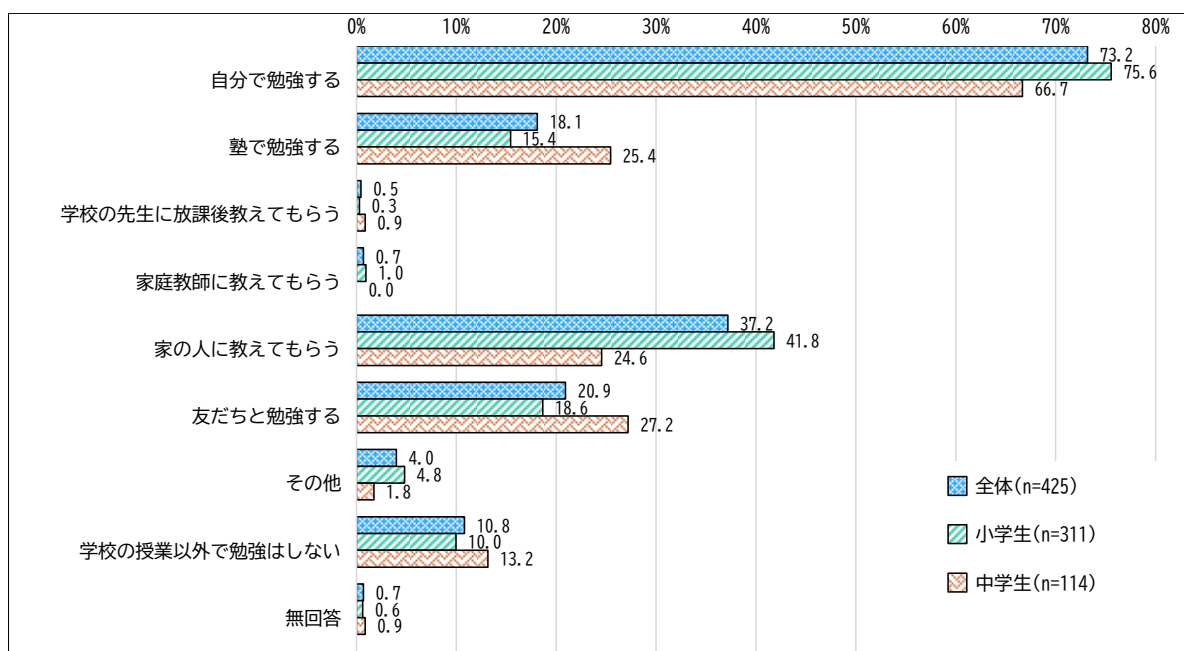


2. 学校生活について

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。(複数回答)

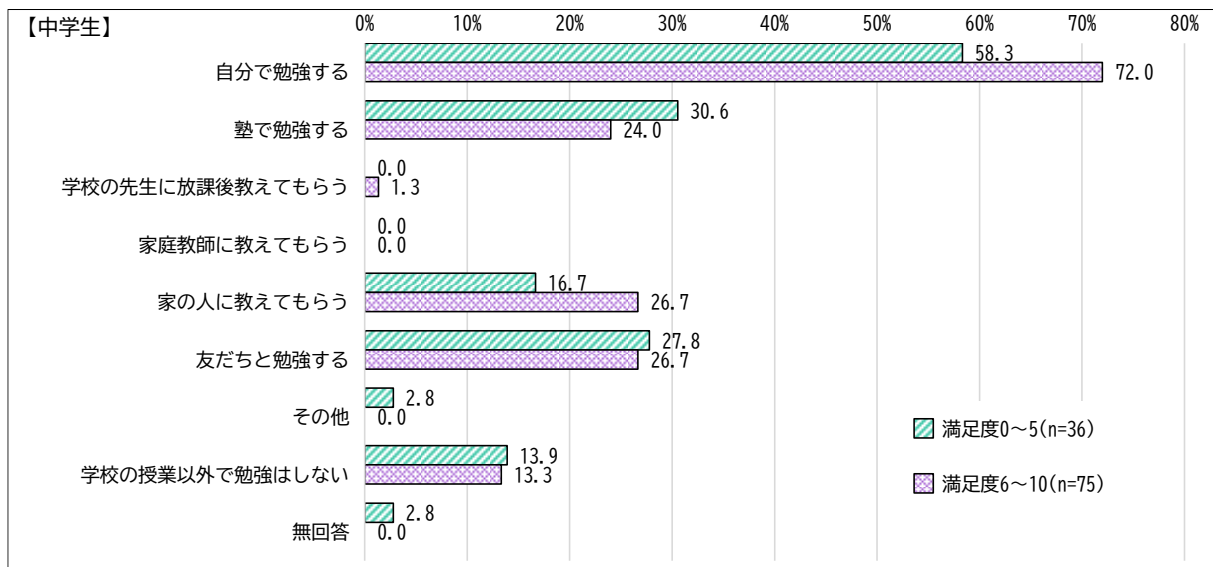
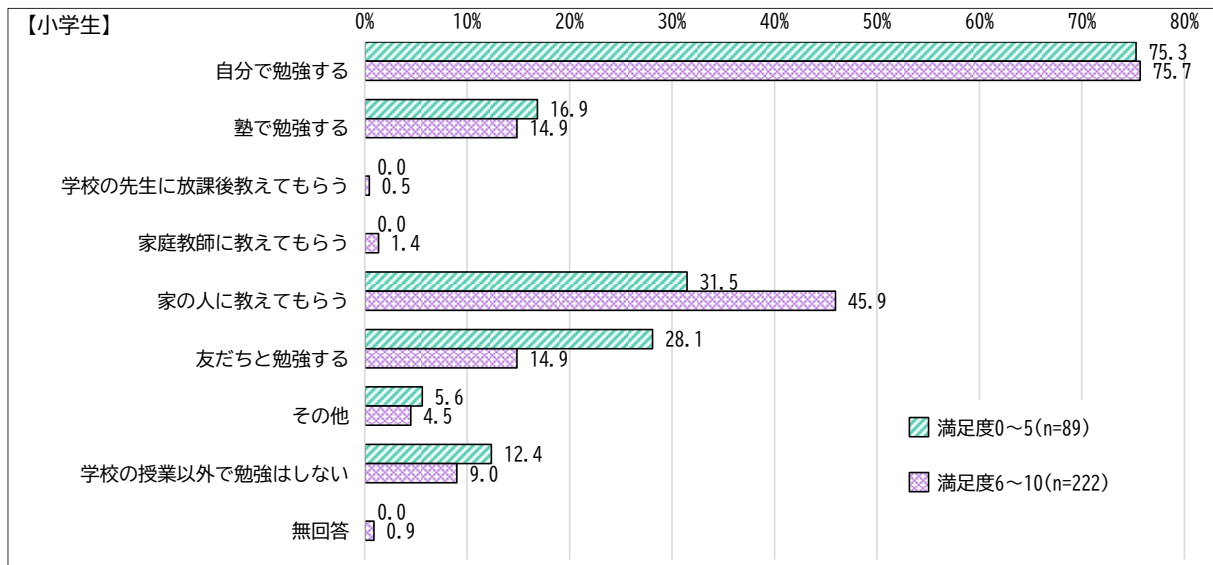
○小・中学生ともに「自分で勉強する」(小：75.6%、中：66.7%)が最も高く、次いで、小学生では「家の人に教えてもらう」41.8%、中学生では「友だちと勉強する」27.2%となっています。

○中学生は小学生と比べて「塾で勉強する」が高く、「家の人に教えてもらう」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



○生活満足度でみると、「満足度 0～5」は「満足度 6～10」と比べて、小学生では「友だちと勉強する」が高く、「家の人に教えてもらう」が低く、中学生では「自分で勉強する」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

【勉強方法×生活満足度】



**問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらい勉強しますか。
(単数回答)**

◆学校がある日(平日:月～金曜日)

○小学生では「30分以上、1時間より少ない」が43.4%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」24.1%、「30分より少ない」19.3%となっています。

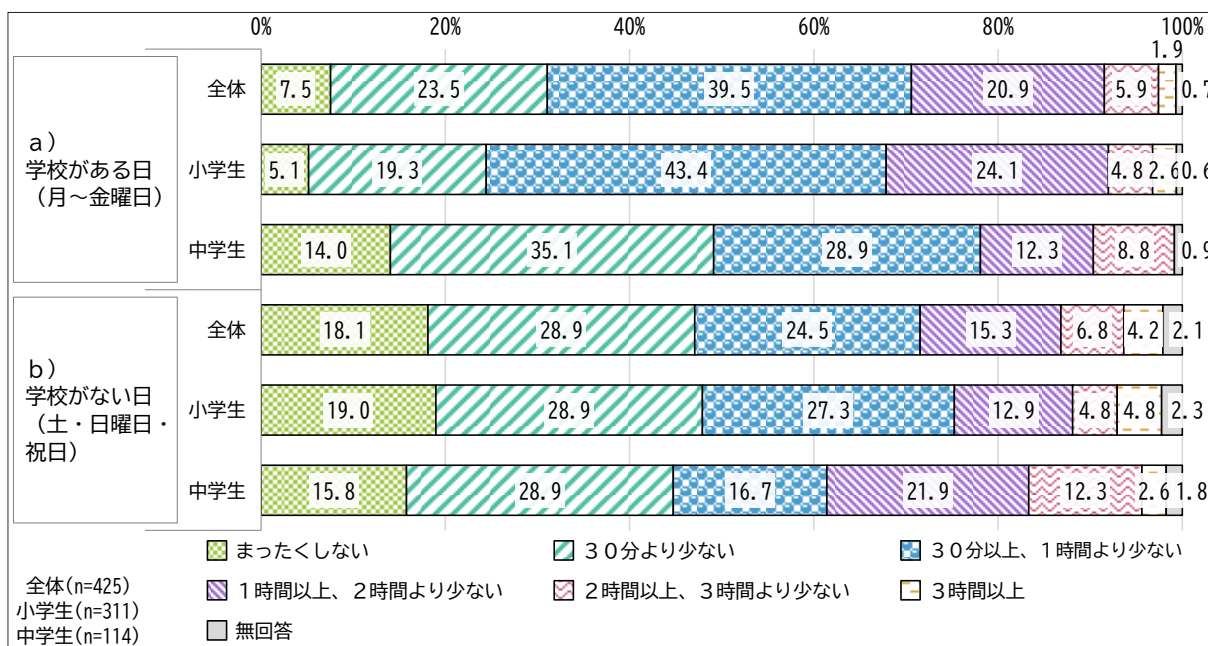
○中学生では「30分より少ない」が35.1%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」28.9%、「まったくしない」14.0%となっています。

◆学校がない日(土・日・祝日)

○小・中学生ともに「30分より少ない」が28.9%と最も高く、次いで、小学生では「30分以上、1時間より少ない」27.3%、中学生では「1時間以上、2時間より少ない」21.9%となっています。

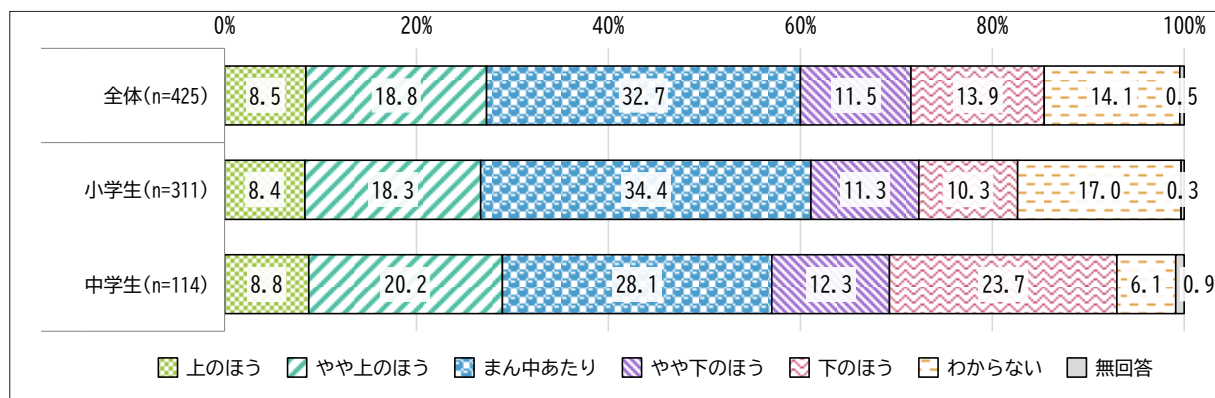
◆学校がある日とない日の勉強時間の比較

○中学生の勉強の割合が、『1時間未満』(平日:78.0%、休日:61.4%)、『1時間以上』(平日:21.1%、休日:36.8%)となっていることから、中学生では休日の勉強時間の割合が高くなっていることがうかがえます。



問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(単数回答)

○小・中学生ともに「まん中あたり」(小：34.4%、中：28.1%)が最も高く、次いで、小学生では「やや上のほう」18.3%、中学生では「下のほう」23.7%となっています。

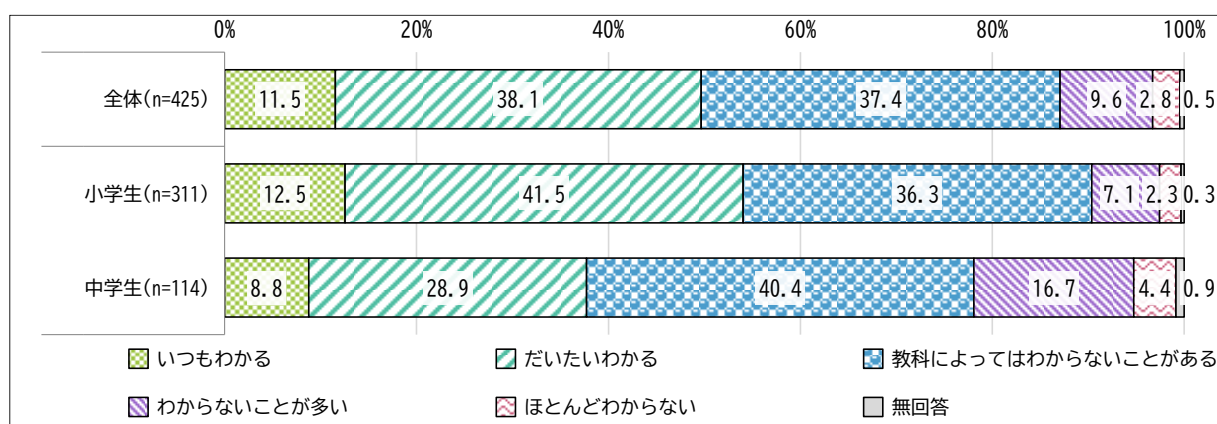


問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

○小学生では「だいたいわかる」が41.5%と最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」36.3%、「いつもわかる」12.5%となっています。

○中学生では「教科によってはわからないことがある」が40.4%と最も高く、次いで「だいたいわかる」28.9%、「わからないことが多い」16.7%となっています。

○小学生では「わかる：いつもわかる+だいたいわかる」が5割を超えていますが、中学生では6割が「わからない：教科によってはわからないことがある+わからないことが多い+ほとんどわからない」と回答しています。

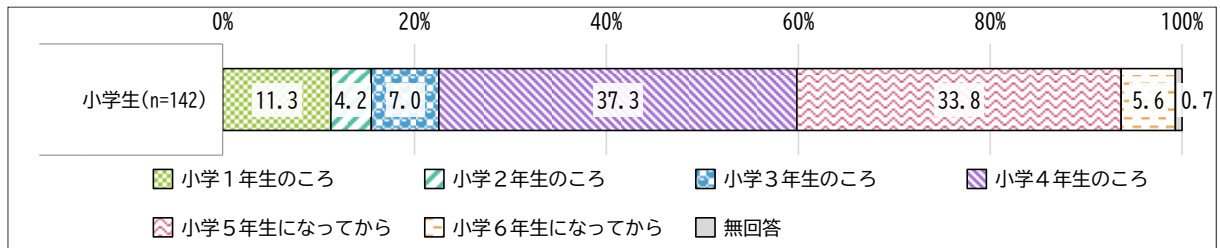


問6 いつごろから授業がわからないことがあるようになりましたか。(単数回答)

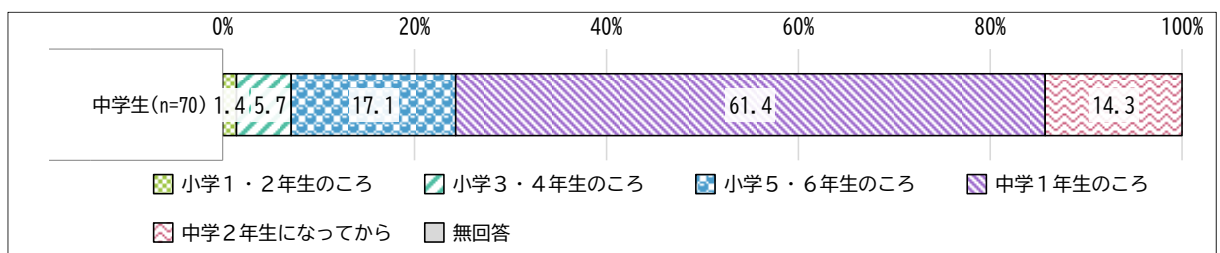
○小学生では「小学4年生のころ」が37.3%と最も高く、次いで「小学5年生になってから」33.8%、「小学1年生のころ」11.3%となっています。

○中学生では「中学1年生のころ」が61.4%と最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」17.1%、「中学2年生になってから」14.3%となっています。

【小学生】

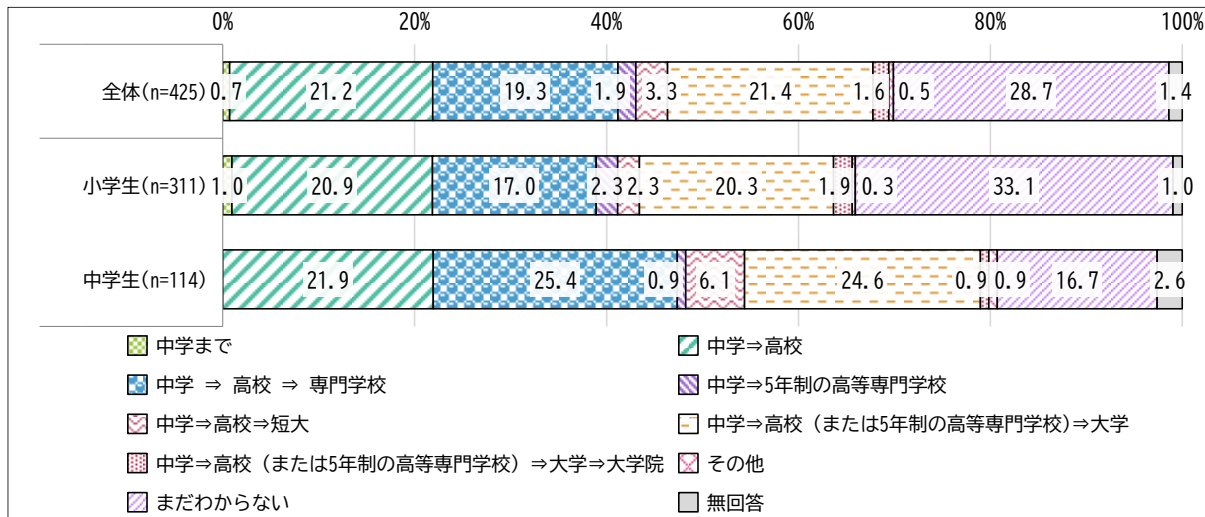


【中学生】

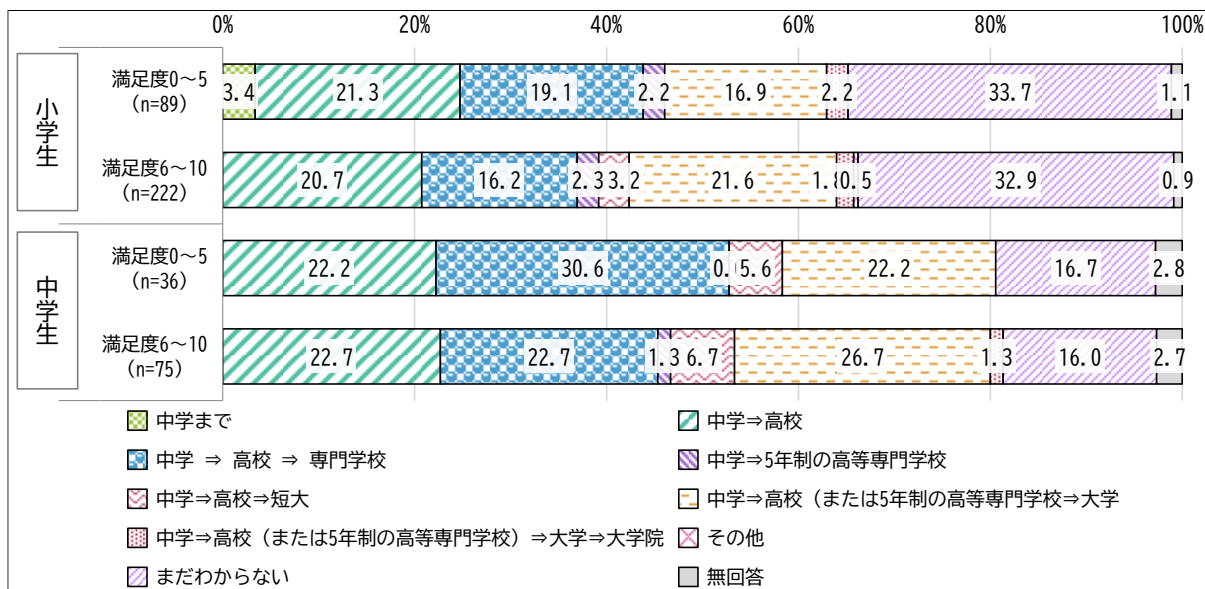


問7 あなたは、将来どのような進路を希望していますか。(単数回答)

- 小学生では「まだわからない」が33.1%と最も高く、次いで「中学⇒高校」20.9%、「中学⇒高校（または5年制の高等専門学校）⇒大学」20.3%となっています。
- 中学生では「中学⇒高校⇒専門学校」が25.4%と最も高く、次いで「中学⇒高校（または5年制の高等専門学校）⇒大学」24.6%、「中学⇒高校」21.9%となっています。
- 生活満足度でみると、小学生では満足度に関わらず「まだわからない」が最も高くなっていますが、中学生では「満足度0～5」は「中学⇒高校⇒専門学校」、「満足度6～10」は「中学⇒高校（または5年制の高等専門学校）⇒大学」が最も高くなっています。

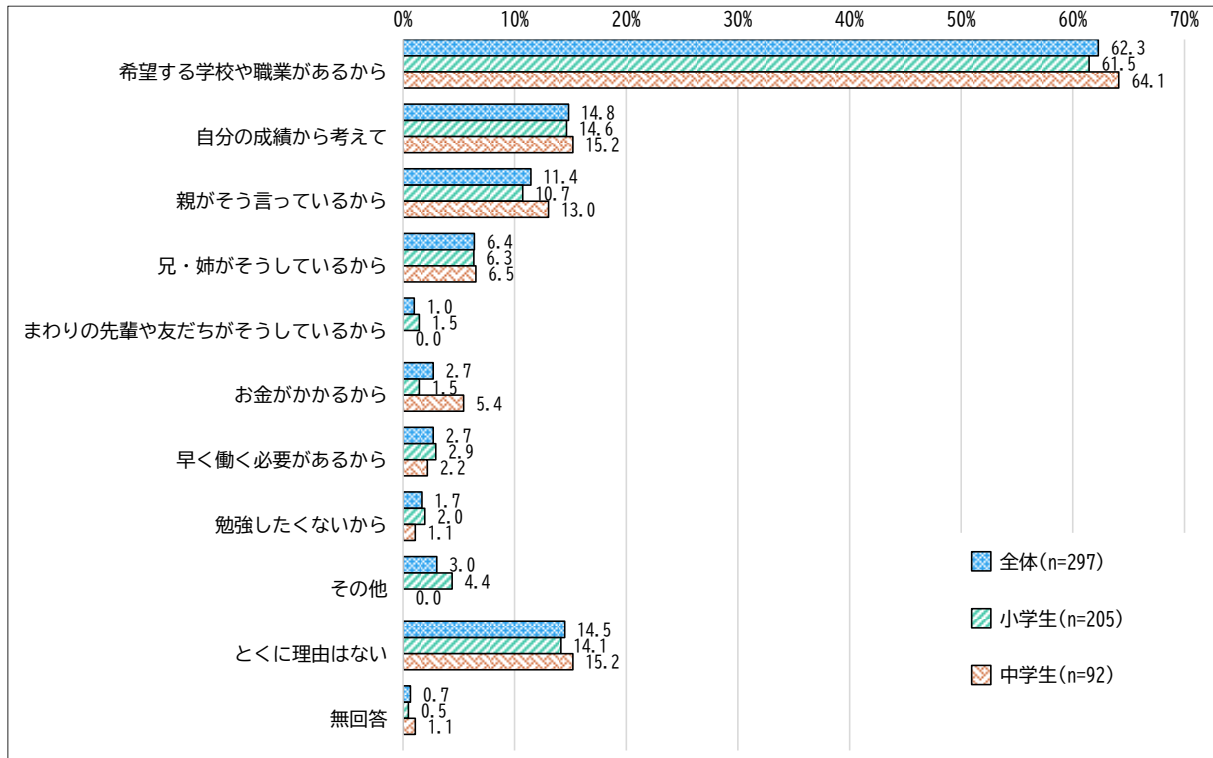


【進路希望×生活満足度】



問8 その理由を教えてください。(複数回答)

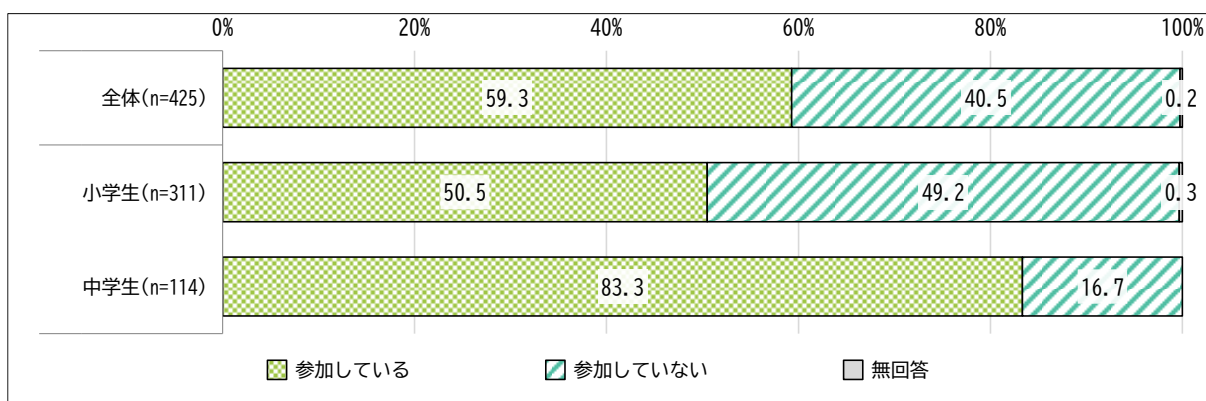
○小・中学生ともに「希望する学校や職業があるから」(小:61.5%、中:64.1%)が最も高く、6割を超えています。また、「自分の成績から考えて」「親がそう言っているから」「とくに理由はない」が1割台となっています。



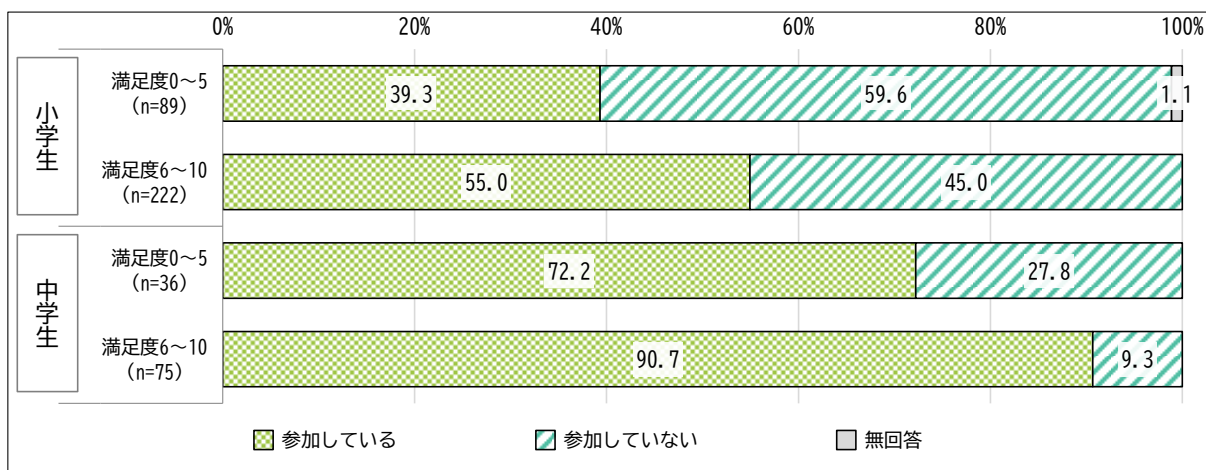
問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ及びスポーツ少年団、学校の部活動に参加していますか。(単数回答)

○「参加している」(小：50.5%、中：83.3%)、「参加していない」(小：49.2%、中：16.7%)となっており、地域のスポーツクラブや学校の部活等への加入率は小学生で5割、中学生で8割となっています。

○生活満足度でみると、小・中学生ともに「満足度0～5」は「満足度6～10」と比べて「参加している」が低く、「参加していない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



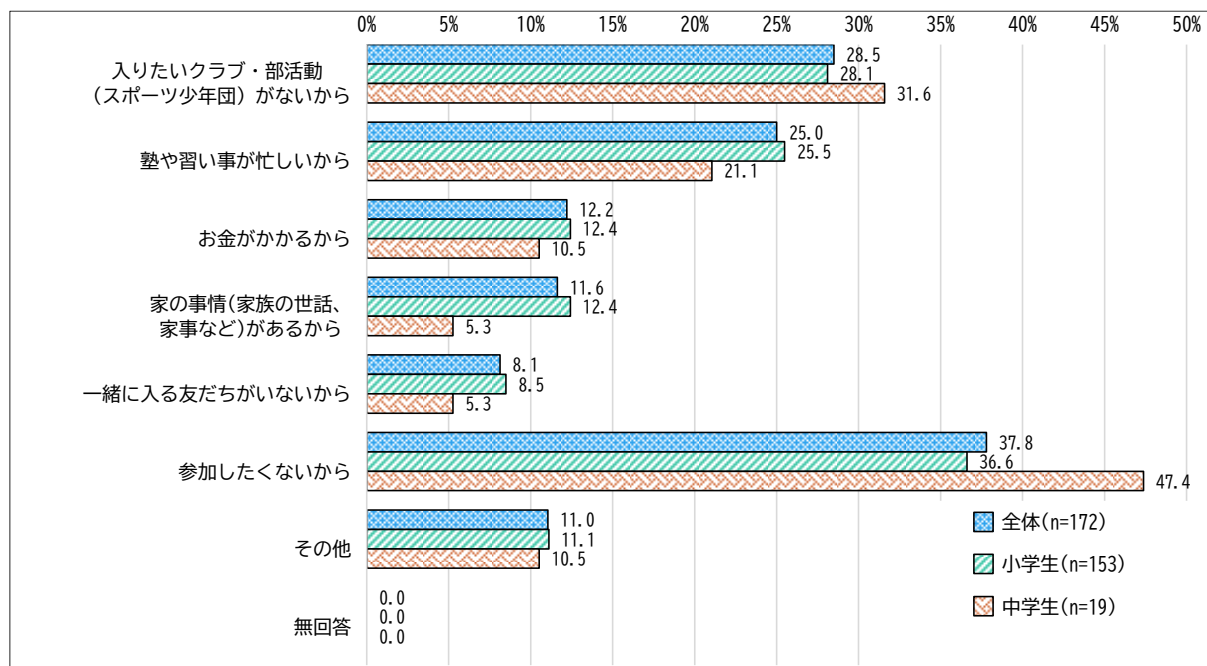
【部活等への参加可否×生活満足度】



問10 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

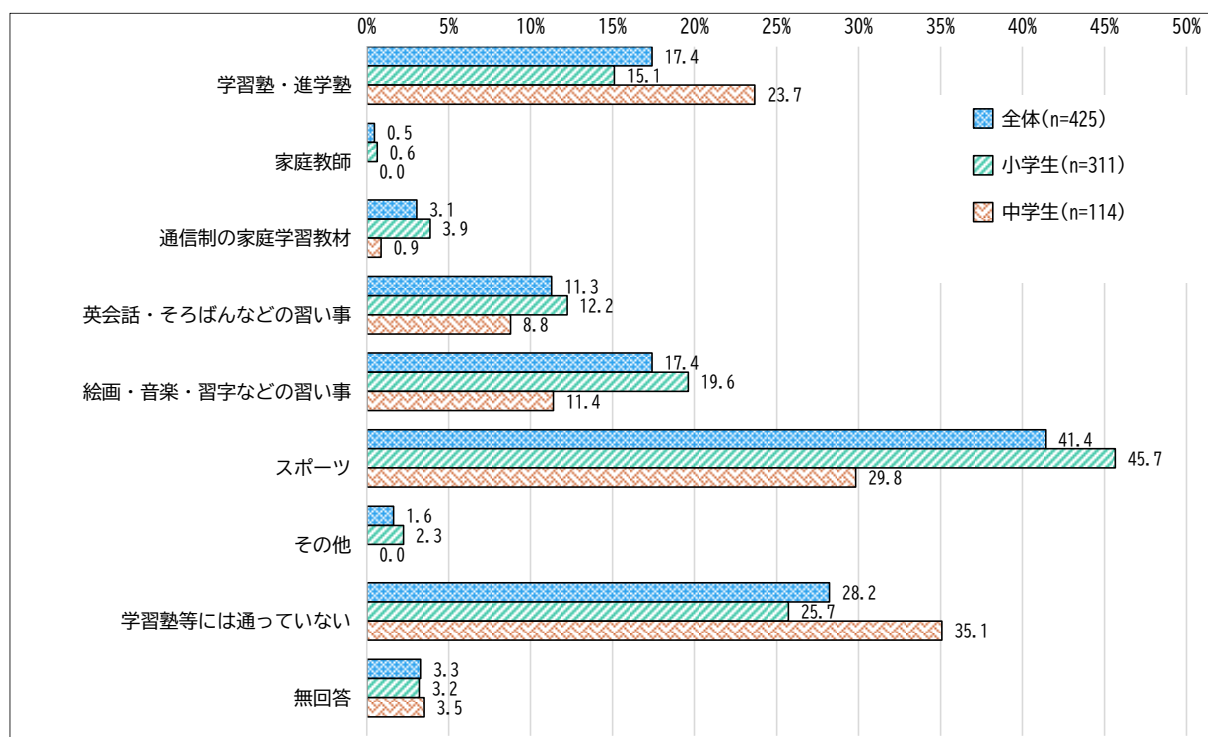
○小・中学生ともに「参加したくないから」(小：36.6%、中：47.4%)が最も高く、次いで「入りたいクラブ・部活動(スポーツ少年団)がないから」(小：28.1%、中：31.6%)、「塾や習い事が忙しいから」(小：25.5%、中：21.1%)となっています。

○中学生は小学生と比べて「参加したくないから」が10.8ポイント高くなっています。

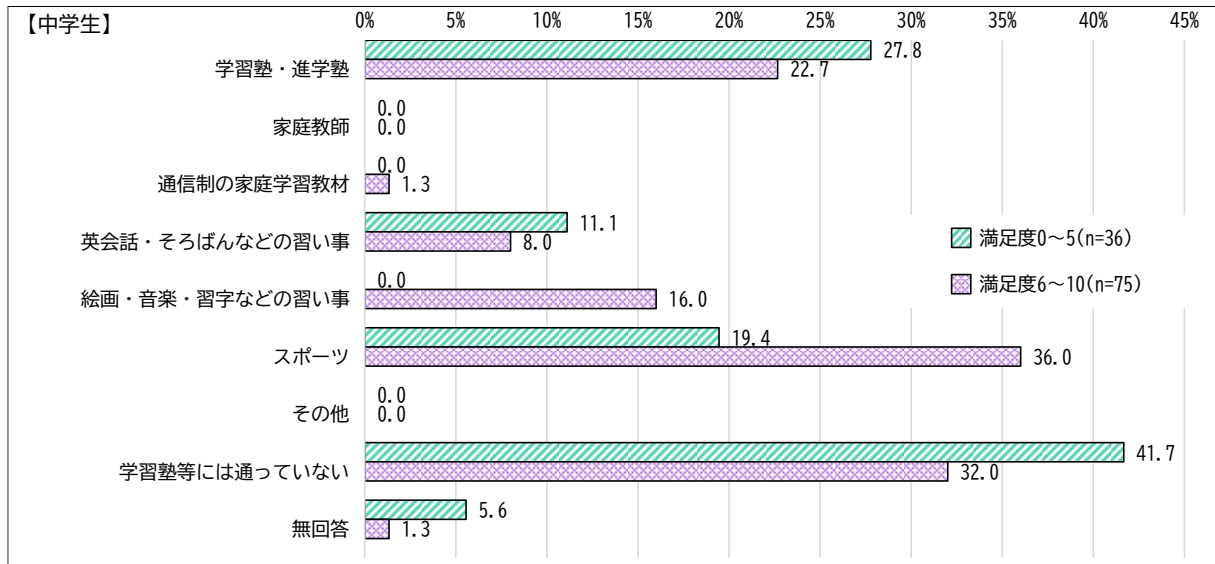
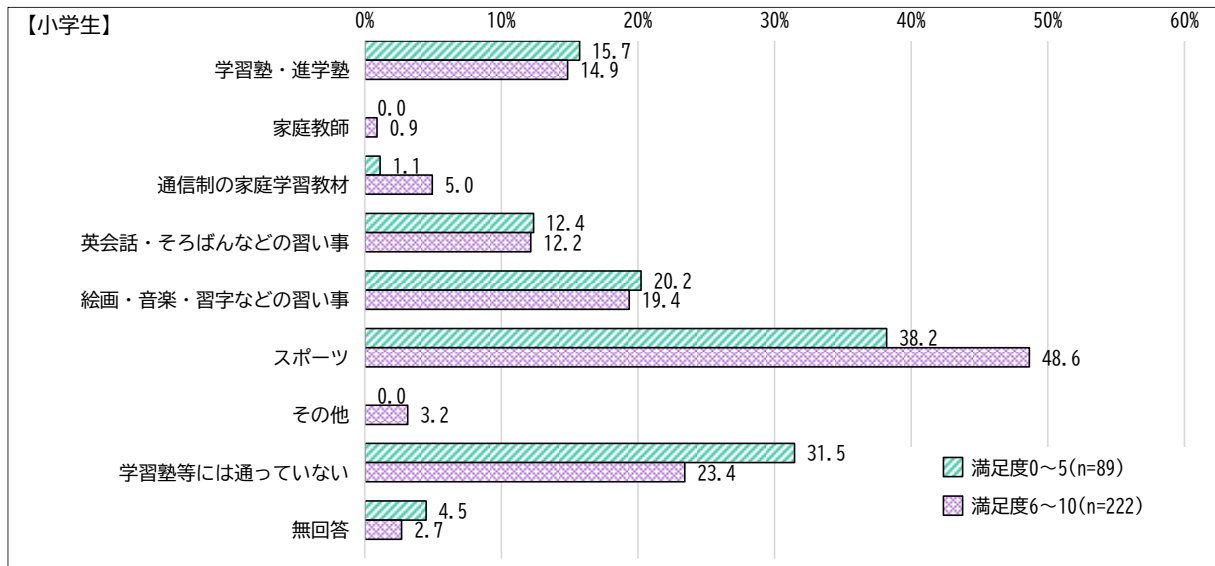


問11 あなたは、放課後等に学習塾や家庭教師、民間の文化・スポーツ教室等に通っていますか。(複数回答)

- 小学生では「スポーツ」が45.7%と最も高く、次いで「学習塾等には通っていない」25.7%、「絵画・音楽・習字などの習い事」19.6%となっています。
- 中学生では「学習塾等には通っていない」が35.1%と最も高く、次いで「スポーツ」29.8%、「学習塾・進学塾」23.7%となっています。
- 小学生は中学生と比べて「スポーツ」が15.9ポイント高くなっています。
- 生活満足度でみると、小・中学生ともに「満足度0～5」は「満足度6～10」と比べて「スポーツ」が10ポイント以上低くなっています。



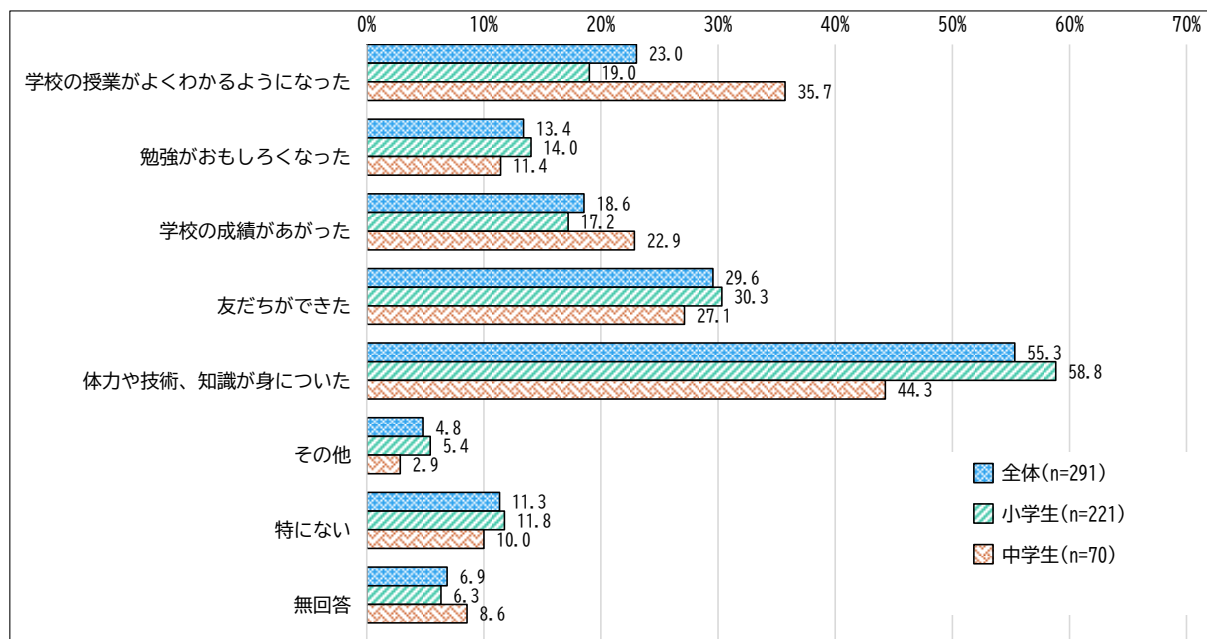
【塾・習い事等×生活満足度】



問12 学習塾等に通っていて、良かったと思うことはありますか。(複数回答)

○小・中学生ともに「体力や技術、知識が身についた」(小：58.8%、中：44.3%)が最も高く、次いで、小学生では「友だちができた」30.3%、中学生では「学校の授業がよくわかるようになった」35.7%となっています。

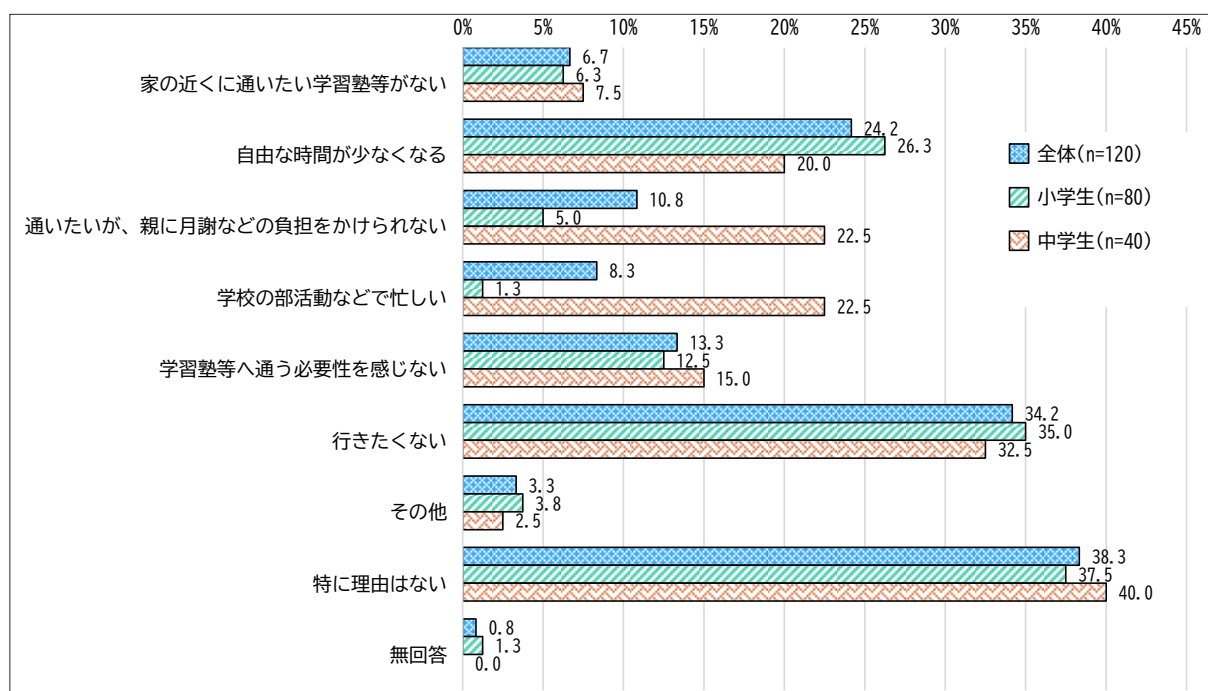
○中学生は小学生と比べて「学校の授業がよくわかるようになった」が高く、「体力や技術、知識が身についた」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



問13 学習塾等に通っていない理由は何ですか。(複数回答)

○小・中学生ともに「特に理由はない」(小：37.5%、中：40.0%)が最も高く、次いで「行きたくない」(小：35.0%、中：32.5%)、小学生では「自由な時間が少なくなる」26.3%、中学生では「通いたい、親に月謝などの負担をかけられない」「学校の部活動などで忙しい」22.5%となっています。

○中学生は小学生と比べて「通いたい、親に月謝などの負担をかけられない」「学校の部活動などで忙しい」が15ポイント以上高くなっています。

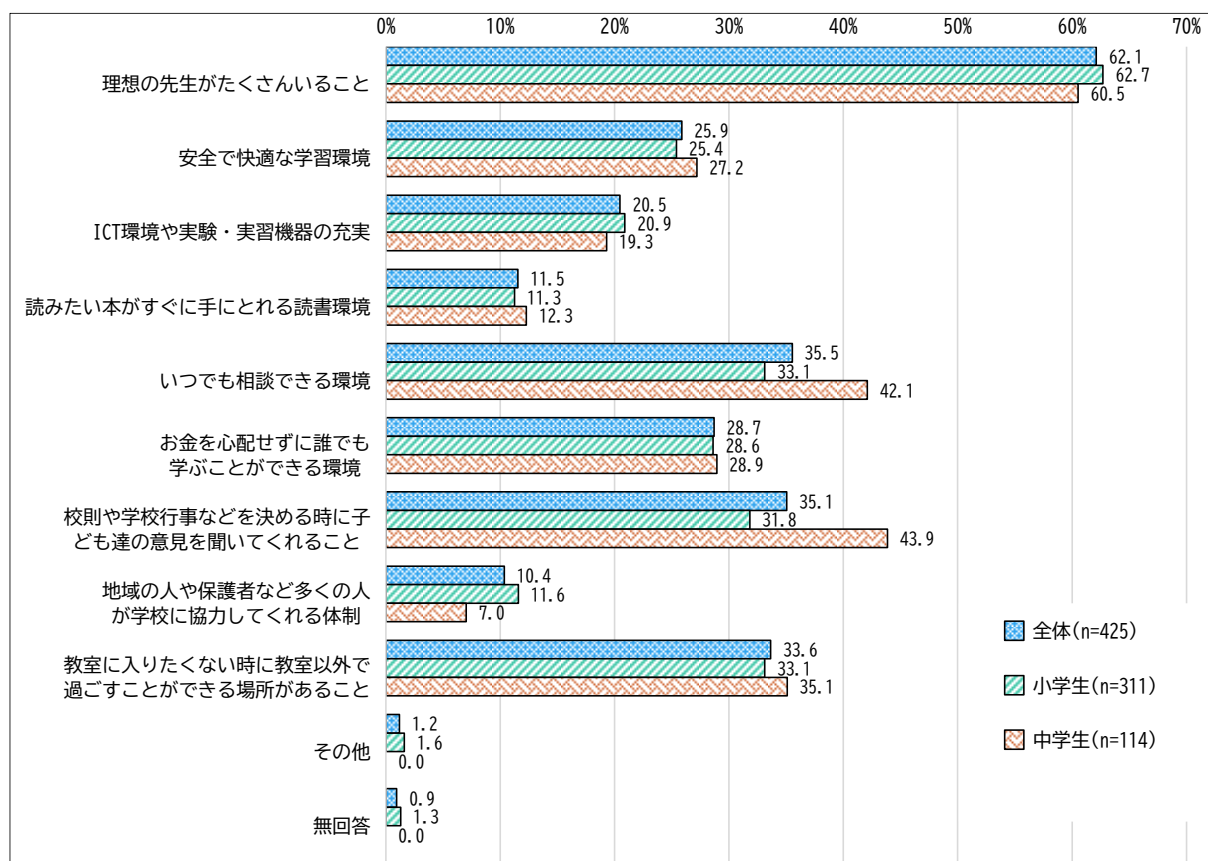


問14 より良い学校・教育のために何が必要だと思いますか。(複数回答)

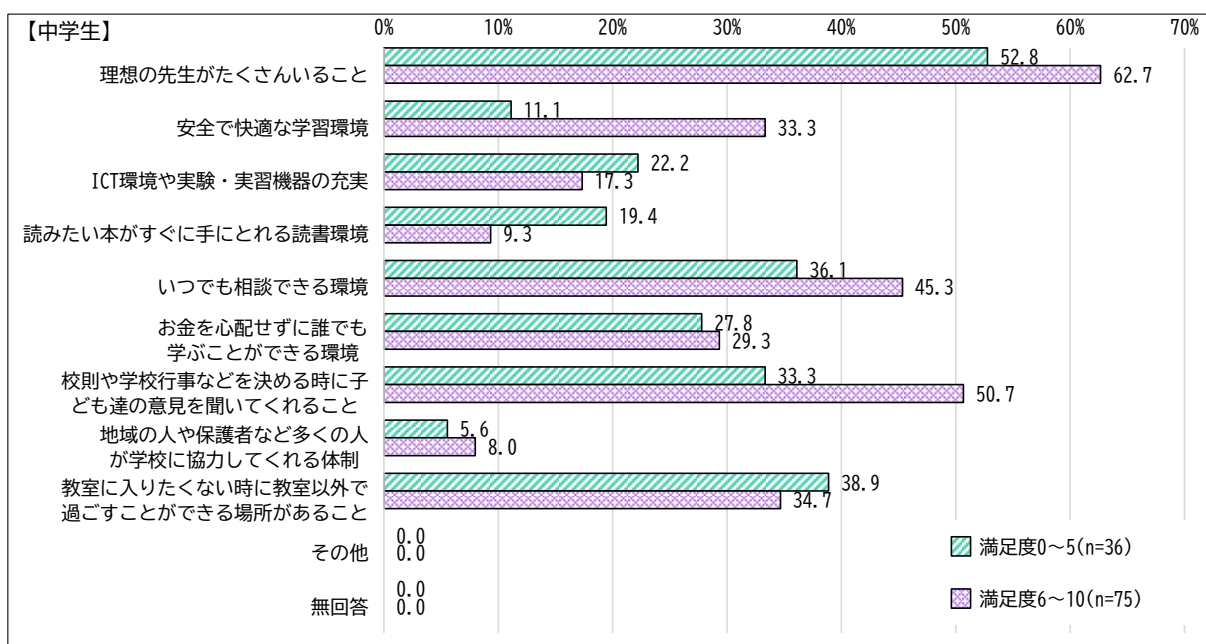
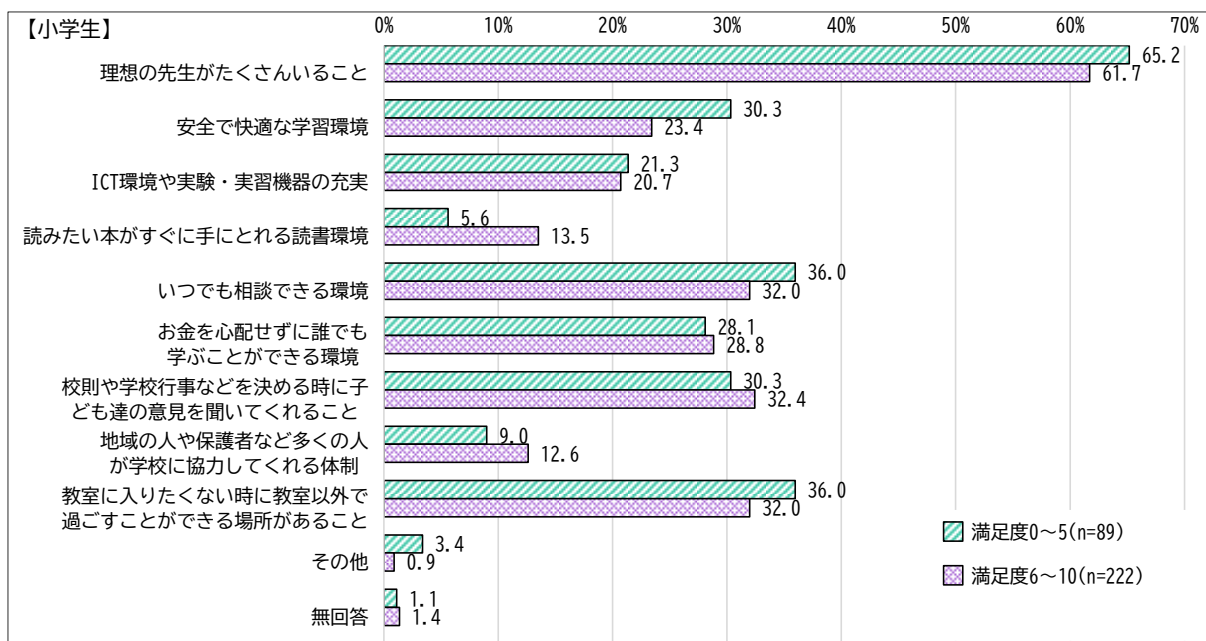
○小・中学生ともに「理想の先生がたくさんいること」(小：62.7%、中：60.5%)が最も高く、次いで、小学生では「いつでも相談できる環境」「教室に入りたくない時に教室以外で過ごすことができる場所があること」33.1%、中学生では「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」43.9%となっています。

○中学生は小学生と比べて「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」が12.1ポイント高くなっています。

○生活満足度でみると、「満足度6～10」は「満足度0～5」と比べて、中学生では「安全で快適な学習環境」「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」が高く、「読みたい本がすぐに手にとれる読書環境」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



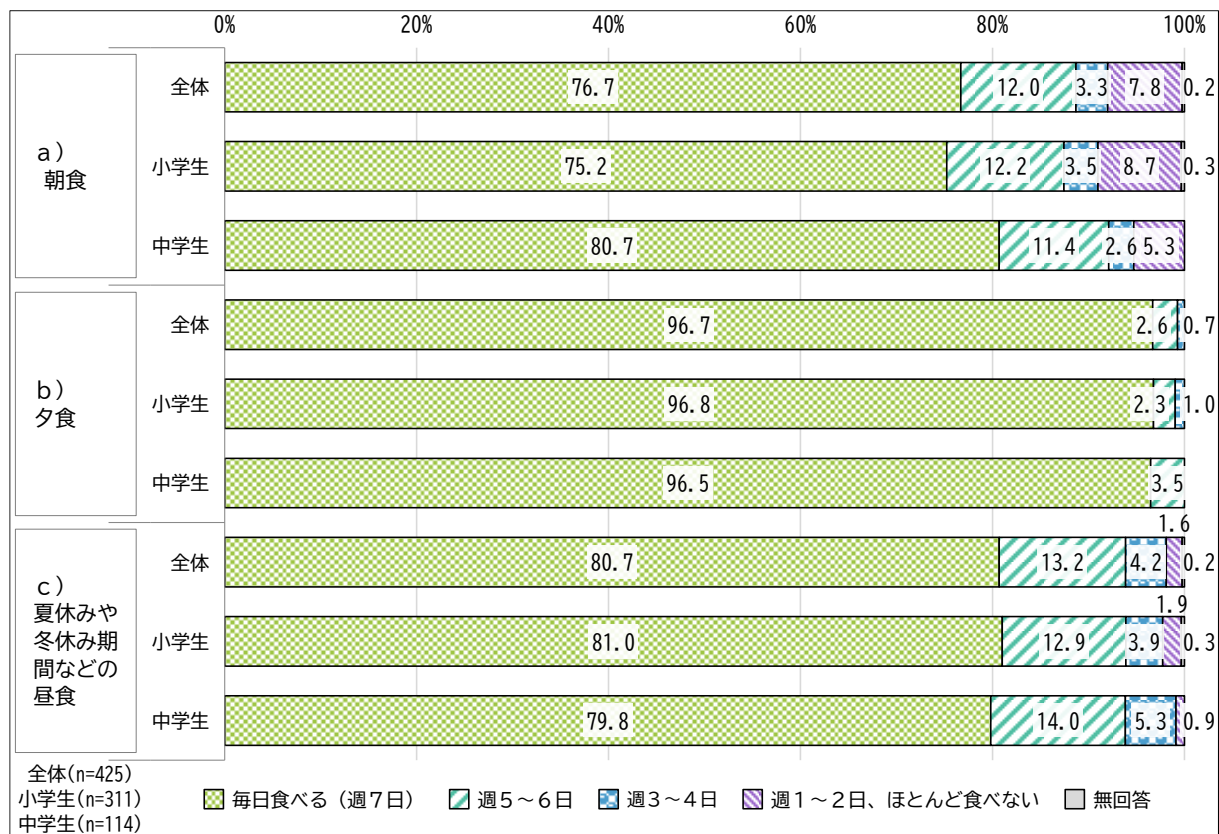
【学校・教育のために必要なこと×生活満足度】



3. ふだんの生活について

問15 あなたは、週にどのくらい食事をしていますか。(単数回答)

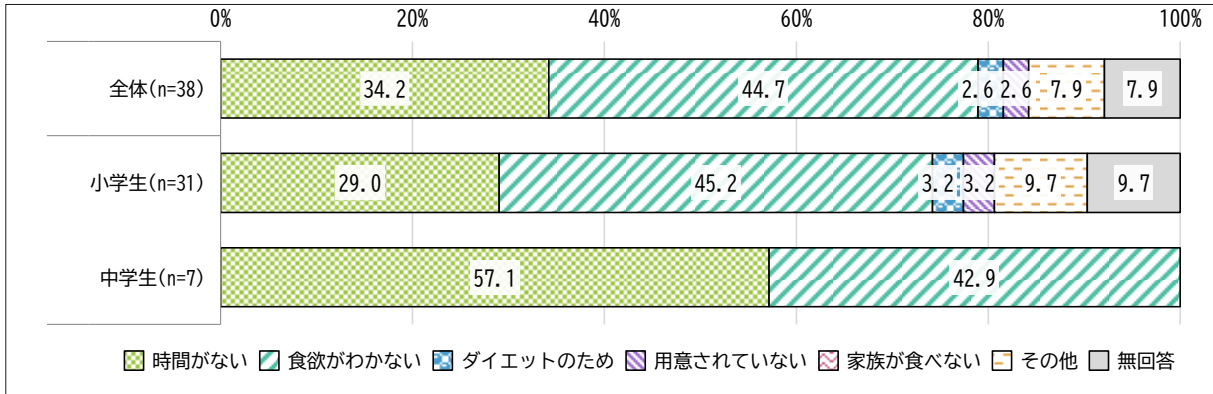
○小・中学生ともに、朝食及び夏休みや冬休み期間などの昼食は8割前後、夕食については9割が「毎日食べる(週7日)」と回答しています。



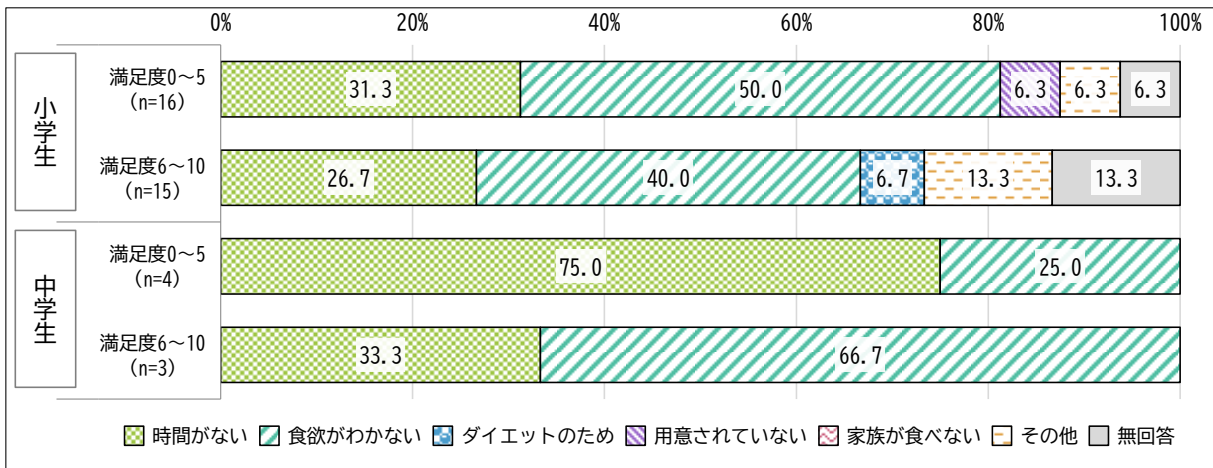
問16 あなたが食事をしない理由を教えてください。(単数回答)

○全体では「食欲がわかない」が44.7%と最も高く、次いで「時間がない」34.2%、「その他」7.9%となっています。

○生活満足度でみると、「満足度0～5」は「満足度6～10」と比べて、小学生では「食欲がわかない」が10.0ポイント高くなっています。(中学生：サンプル数が少ないため参考程度)

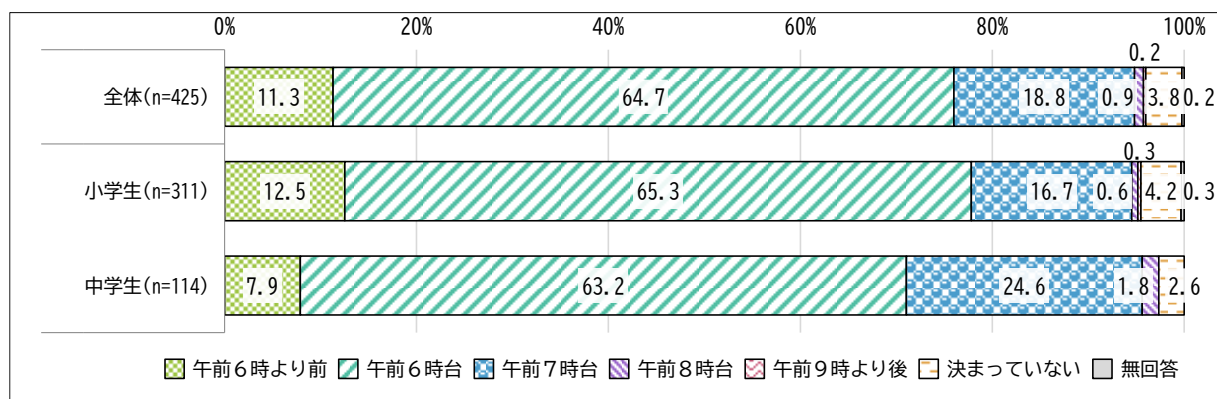


【食事をしない理由×生活満足度】



問17 あなたは、ふだん（月～金曜日）何時に起きていますか。（単数回答）

○小・中学生ともに、「午前6時台」（小：65.3%、中：63.2%）が最も高く、次いで「午前7時台」（小：16.7%、中：24.6%）、「午前6時より前」（小：12.5%、中：7.9%）となっています。

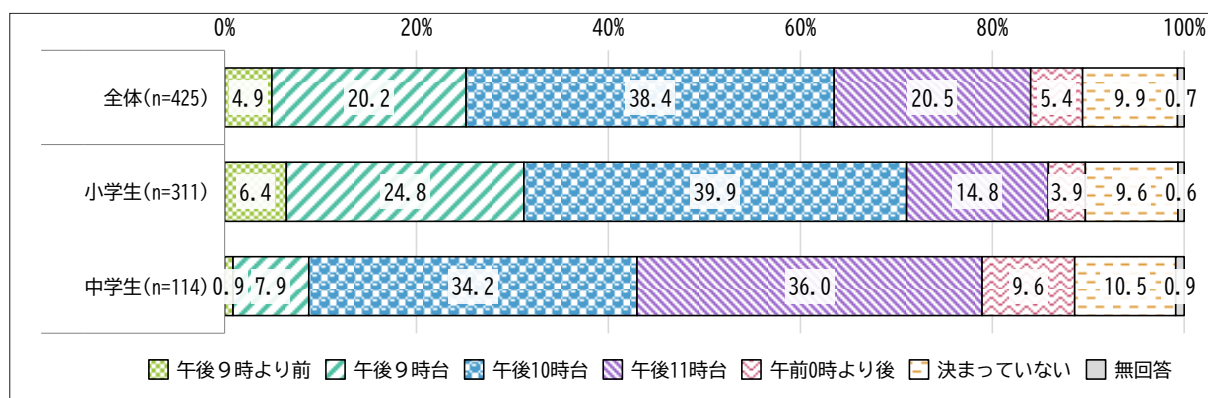


問18 あなたは、ふだん（月～金曜日）何時に寝ていますか。（単数回答）

○小学生では「午後10時台」が39.9%と最も高く、次いで「午後9時台」24.8%、「午後11時台」14.8%となっており、小学生では7割が「午後10時台」までに就寝していると回答しています。

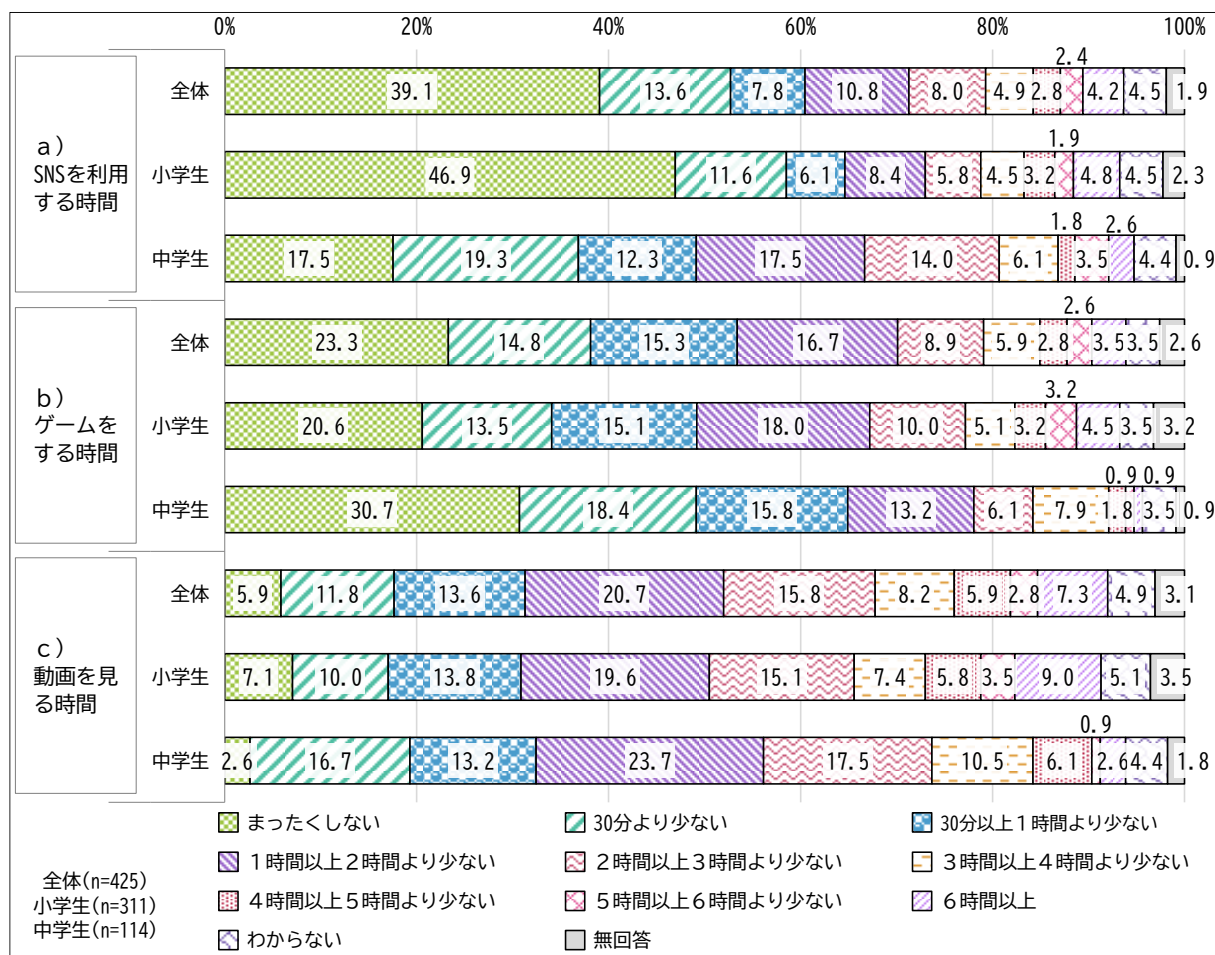
○中学生では「午後11時台」が36.0%と最も高く、次いで「午後10時台」34.2%、「決まっていない」10.5%となっています。

○中学生は小学生と比べて「午後9時台」が低く、「午後11時台」が高くなっており、15ポイント以上差が生じています。



問19 あなたは、平日（月～金曜日）1日にだいたいどのくらいの時間を、インターネットを使ってSNSやゲーム、動画を見ることに使いますか。（単数回答）

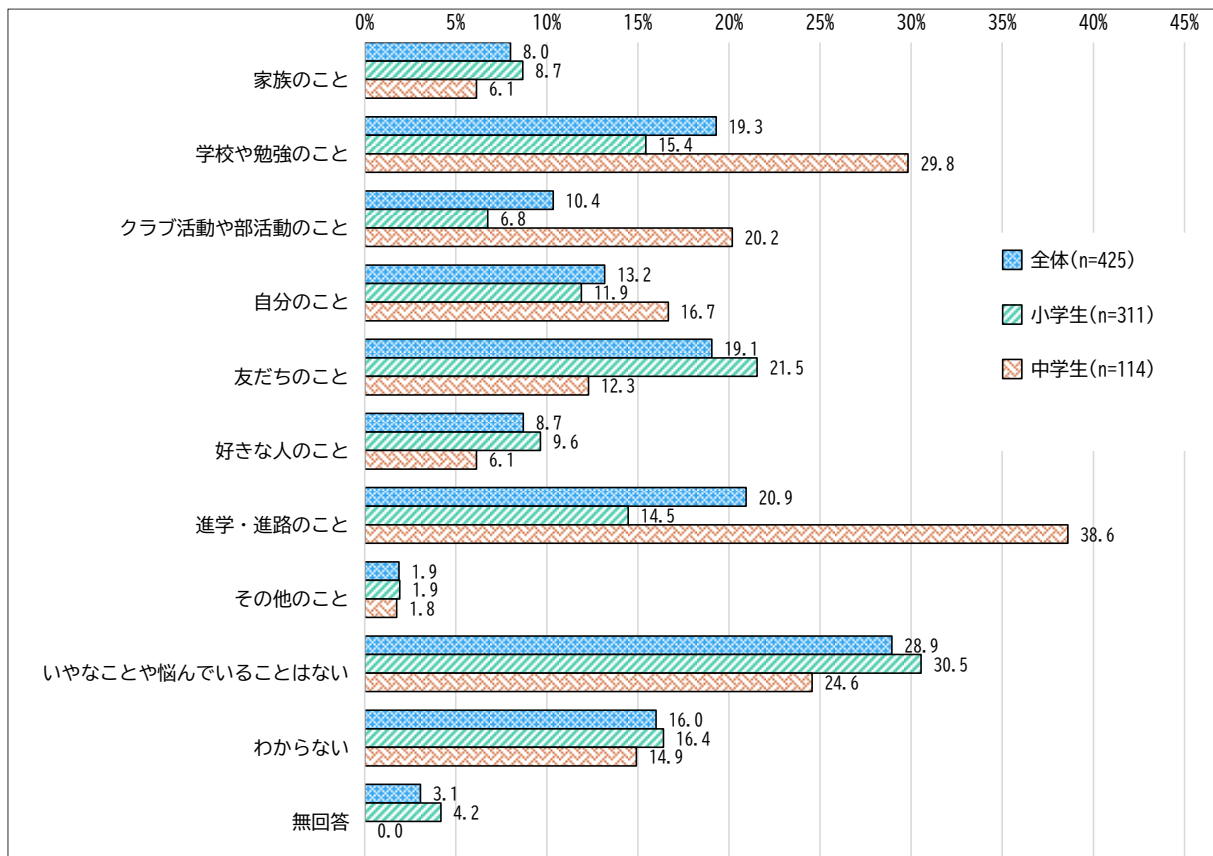
- 「SNSを利用する時間」について、小学生では「まったくしない」が46.9%、中学生では「30分より少ない」が19.3%と最も高くなっています。
- 「ゲームをする時間」については、小・中学生ともに「まったくしない」（小：20.6%、中：30.7%）が最も高くなっています。
- 「動画を見る時間」については、小・中学生ともに「1時間以上2時間より少ない」（小：19.6%、中：23.7%）が最も高くなっています。
- 『1時間以上』の割合が最も高いのは、「動画を見る時間」となっており、小・中学生ともに6割を超えています。また、中学生は小学生と比べて「SNSを利用する時間」が高く、「ゲームをする時間」が低い傾向がみられます。



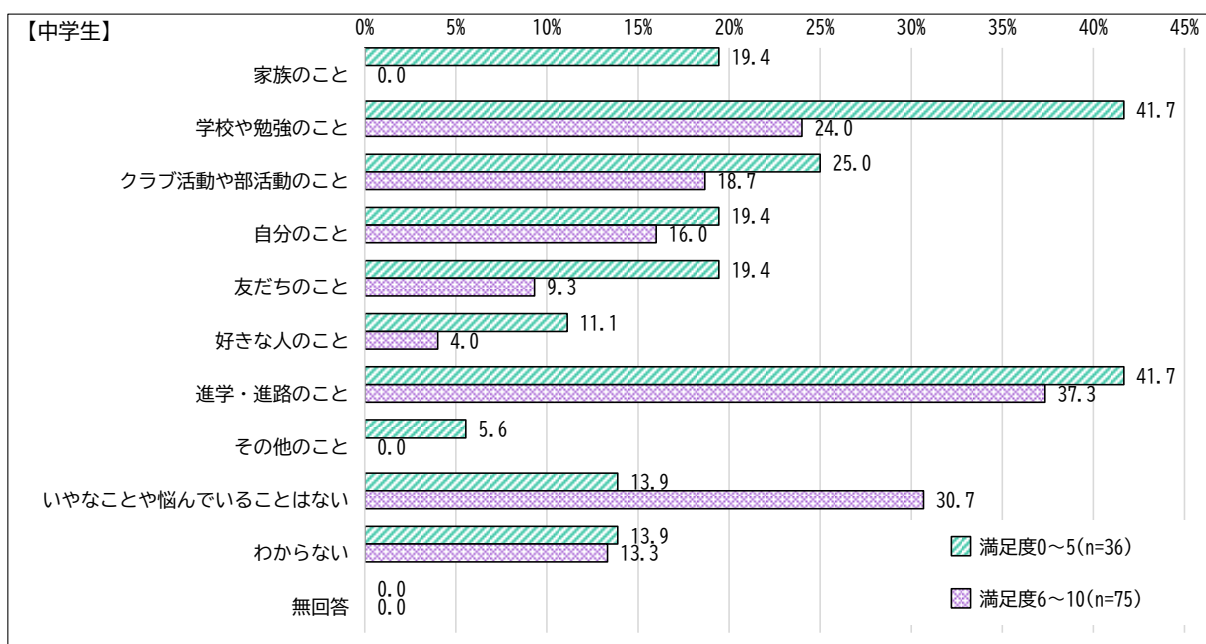
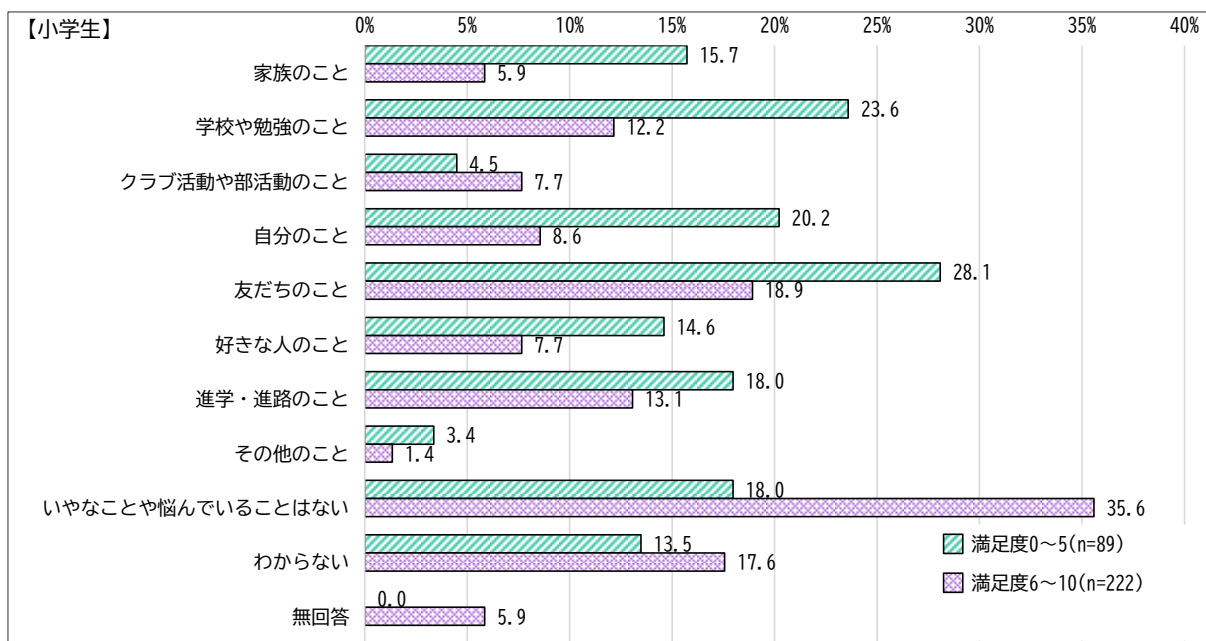
4. 困っていることや悩みについて

問20 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。(複数回答)

- 小学生では「いやなことや悩んでいることはない」が 30.5%と最も高く、次いで「友だちのこと」21.5%、「わからない」16.4%となっています。
- 中学生では「進学・進路のこと」が 38.6%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」29.8%、「いやなことや悩んでいることはない」24.6%となっています。
- 中学生は小学生と比べて「学校や勉強のこと」「クラブ活動や部活動のこと」「進学・進路のこと」が10ポイント以上高くなっています。
- 生活満足度でみると、「満足度 0~5」は「満足度 6~10」と比べて、小・中学生ともに「学校や勉強のこと」が高く、「いやなことや悩んでいることはない」が低くなっています。また、小学生では「自分のこと」、中学生では「家族のこと」も高くなっており、10ポイント以上差が生じています。

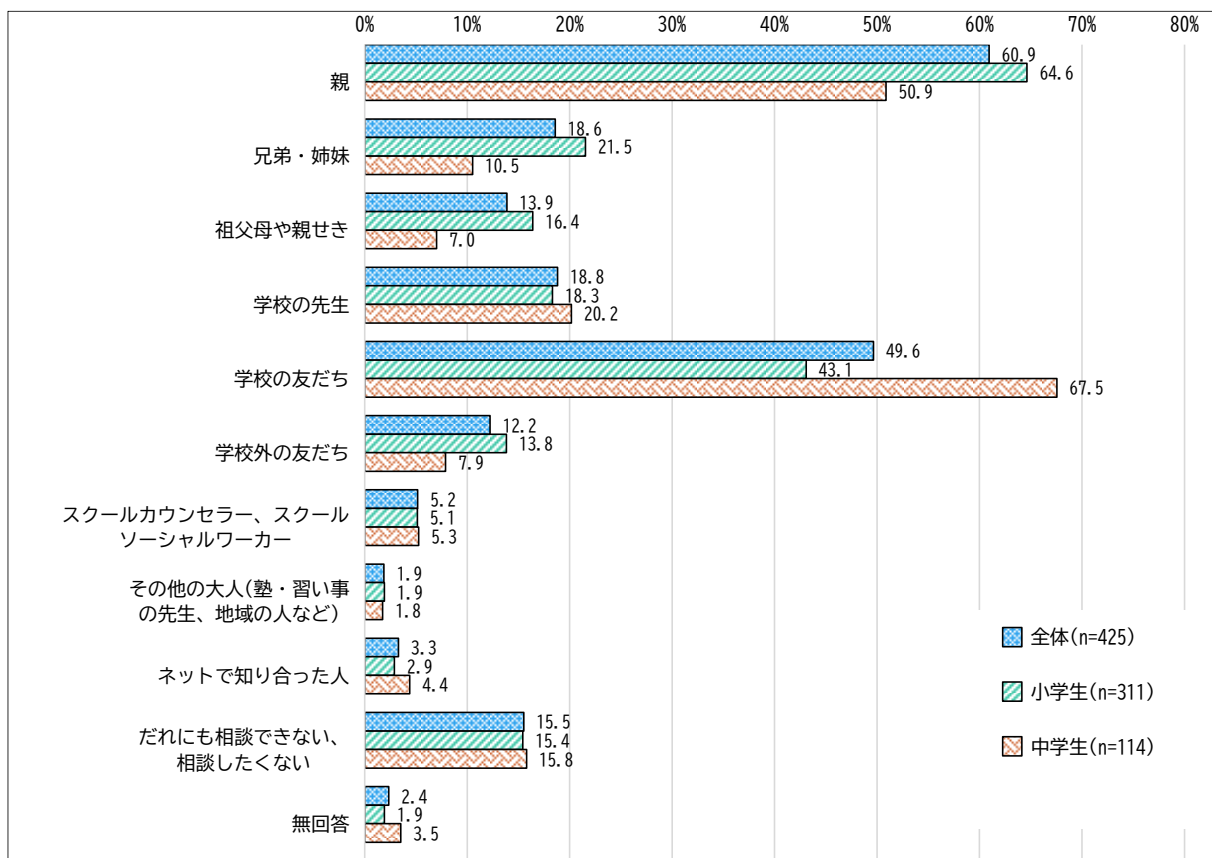


【いやなことや悩んでいること×生活満足度】



問21 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

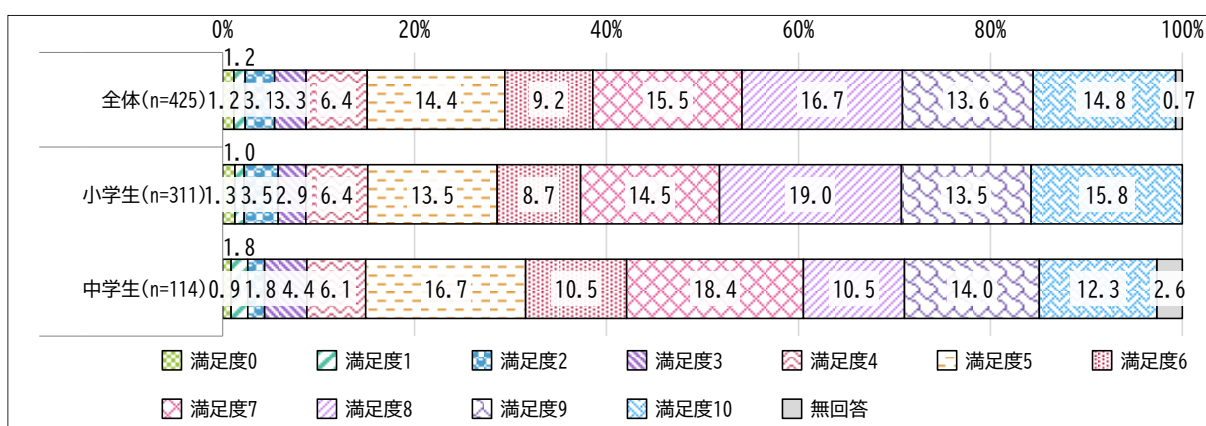
- 小学生では「親」が64.6%と最も高く、次いで「学校の友だち」43.1%、「兄弟・姉妹」21.5%となっています。
- 中学生では「学校の友だち」が67.5%と最も高く、次いで「親」50.9%、「学校の先生」20.2%となっています。
- 小学生は中学生と比べて「親」「兄弟・姉妹」が高く、「学校の友だち」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



5. ふだん考えていることについて

問22 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
(単数回答)

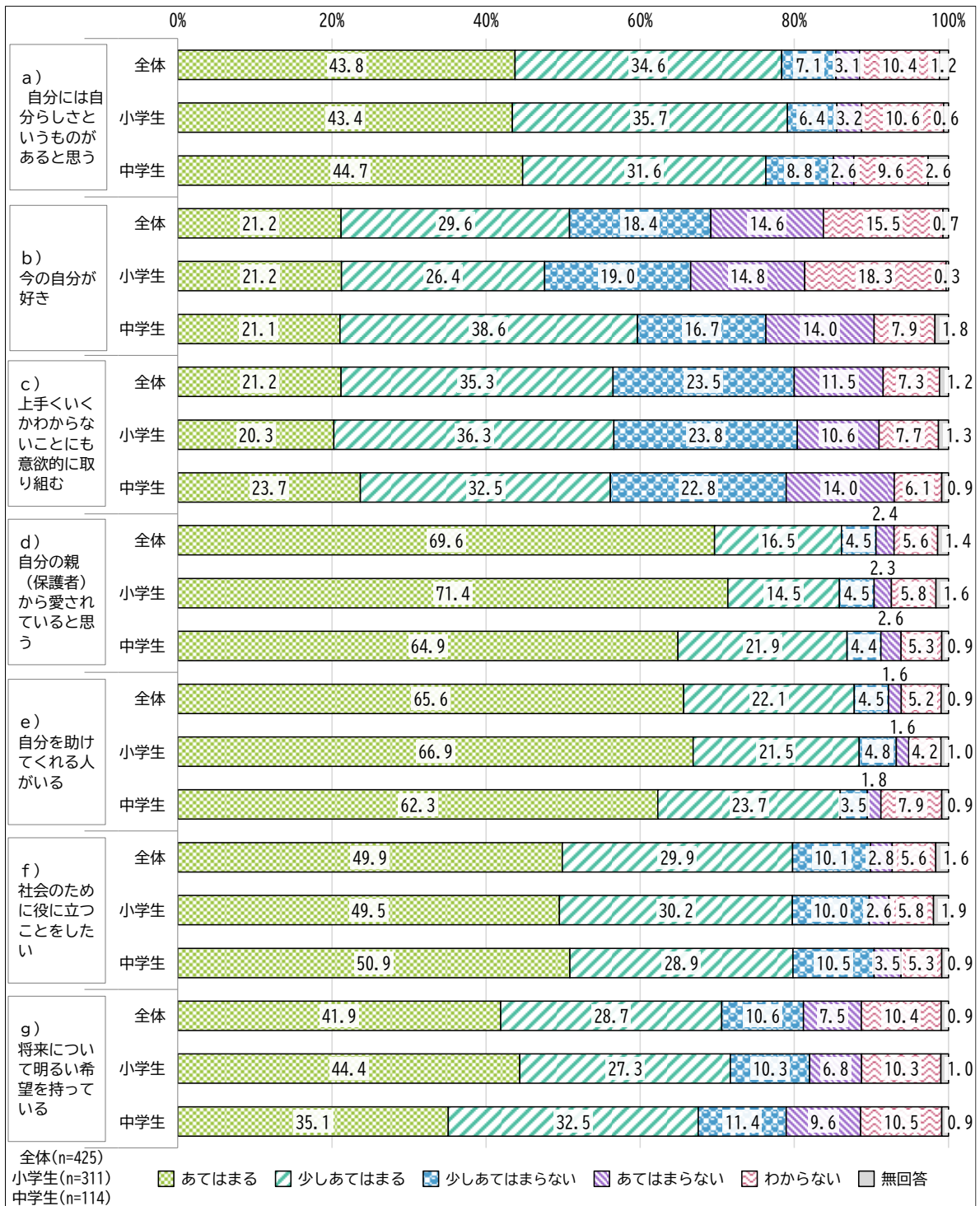
- 小学生では「満足度8」が19.0%と最も高く、次いで「満足度10」15.8%、「満足度7」14.5%となっています。
- 中学生では「満足度7」が18.4%と最も高く、次いで「満足度5」16.7%、「満足9」14.0%となっています。
- 「満足度が高い：満足度9+満足度10」の割合は、小・中学生ともに約3割となっています。



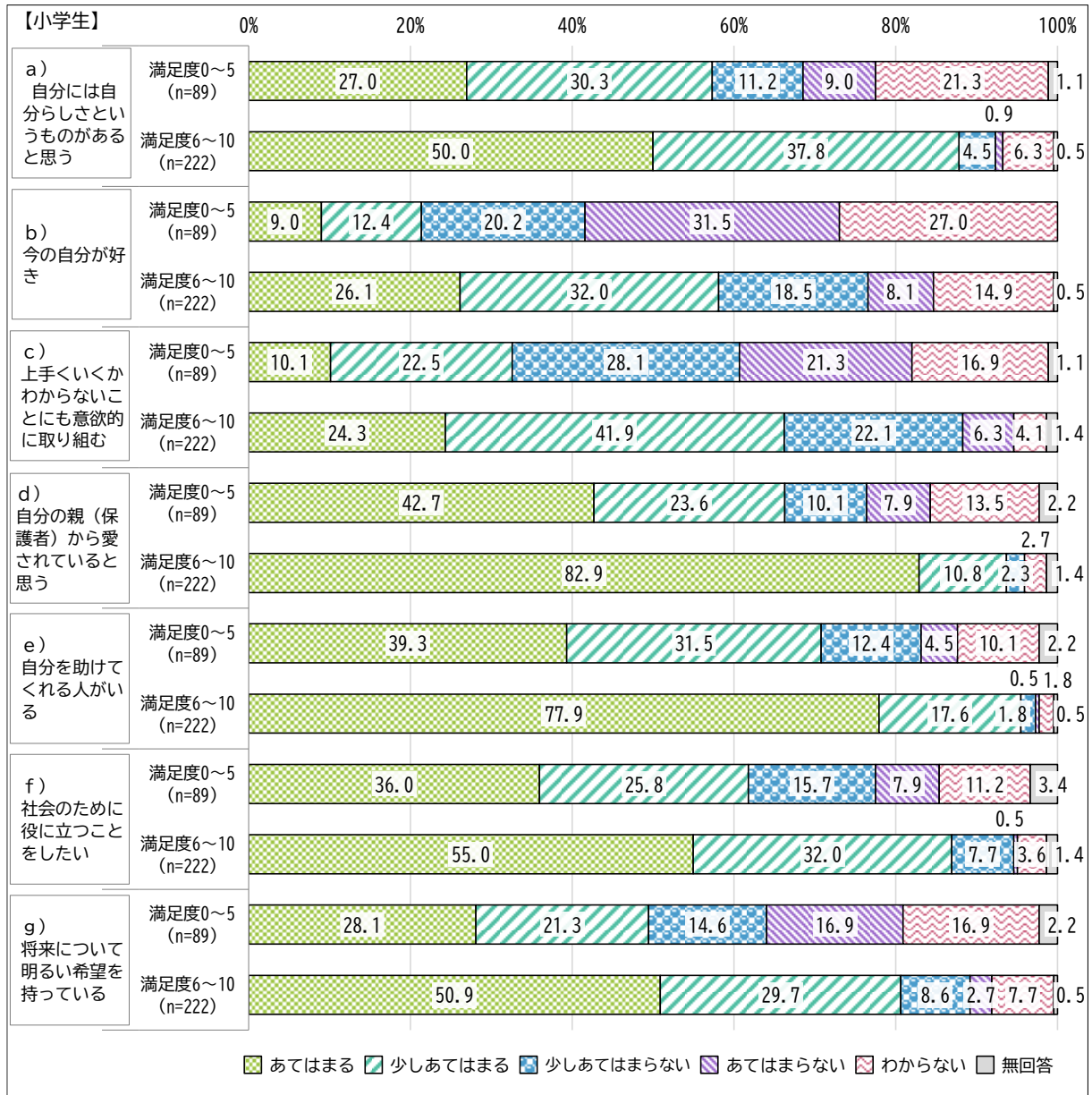
問23 あなた自身について次のことはどのくらいあてはまりますか。(単数回答)

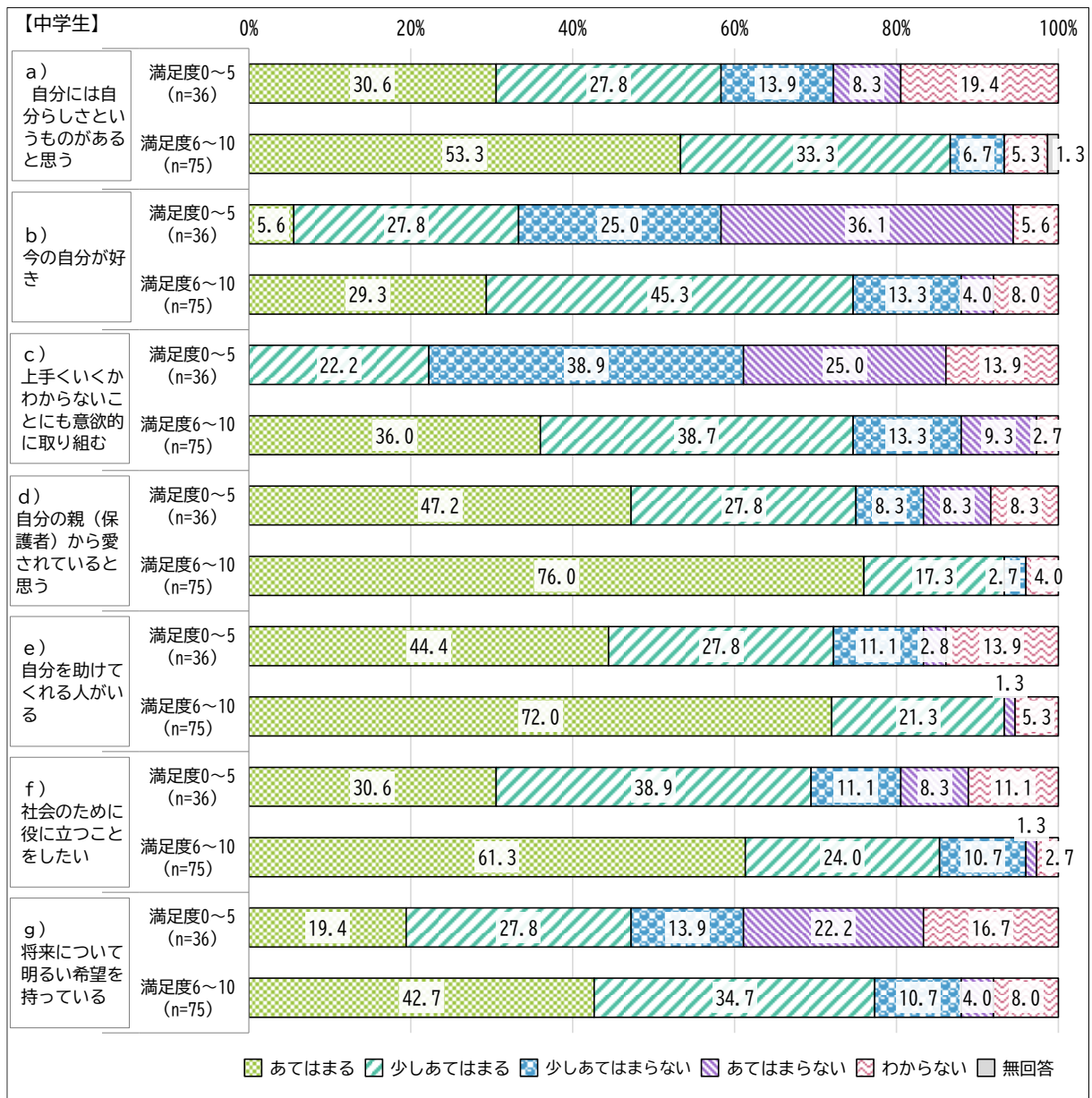
○小・中学生ともに、どの項目も「あてはまる：あてはまる+少しあてはまる」が「あてはまらない：少しあてはまらない+あてはまらない」を上回っており、特に「自分の親（保護者）から愛されていると思う」（小：85.9%、中：86.8%）、「自分を助けてくれる人がいる」（小：88.4%、中：86.0%）が8割を超えて高くなっています。また、「今の自分が好き」「上手くいくかわからないことにも意欲的(いよくてき)に取り組む」では『あてはまらない』が3割台となっています。

○生活満足度でみると、小・中学生ともに「満足度 0~5」は「満足度 6~10」と比べて、「今の自分が好き」「上手くいくかわからないことにも意欲的(いよくてき)に取り組む」では『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っています。



【自身のことについて×生活満足度】

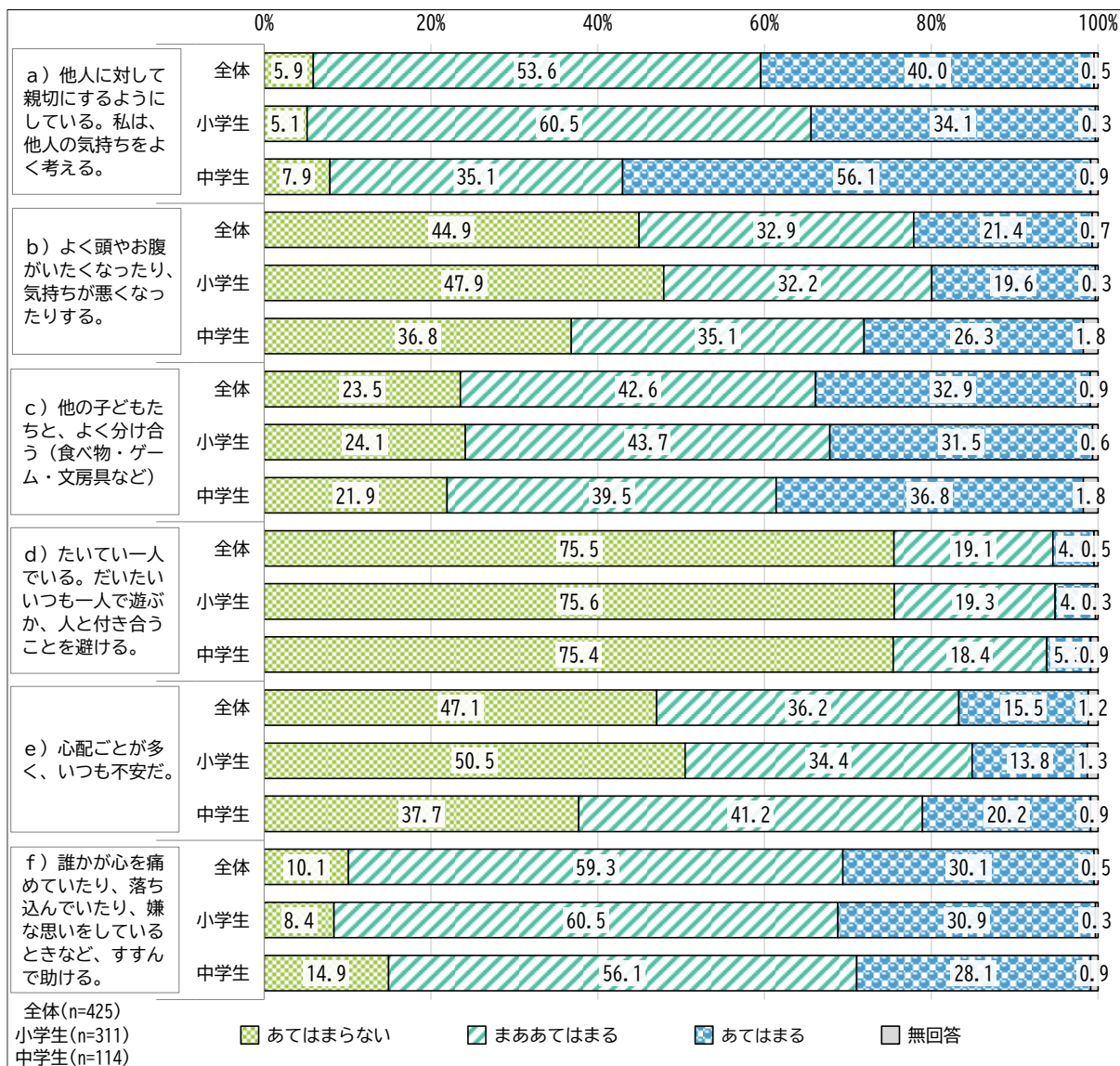


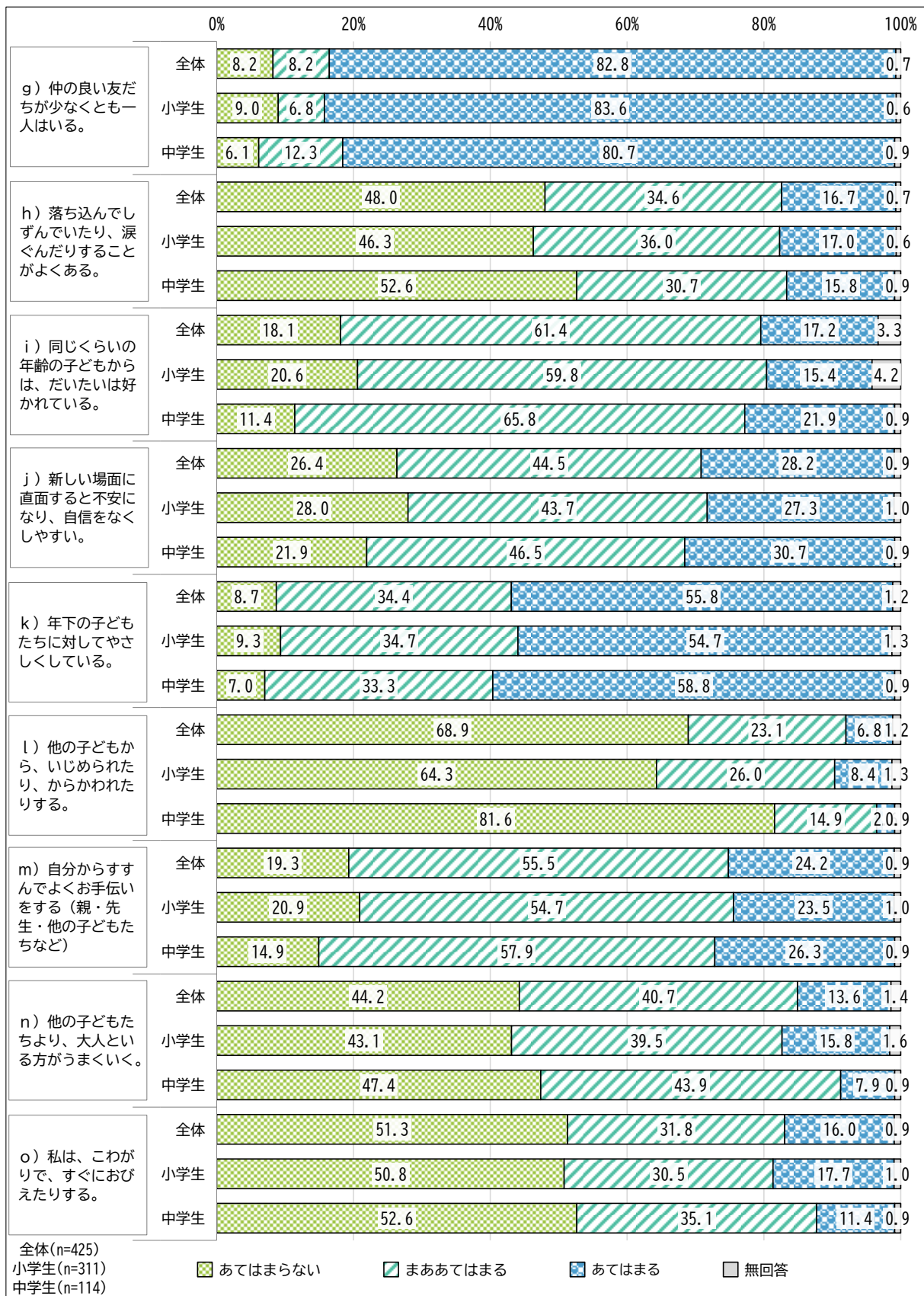


問24 あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。(単数回答)

○「あてはまる：まああてはまる+あてはまる」では、小・中学生ともに9割前後が「私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える」(小：94.6%、中：91.2%)、「私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる」(小：90.4%、中：93.0%)、「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている」(小：89.4%、中：92.1%)と回答しています。

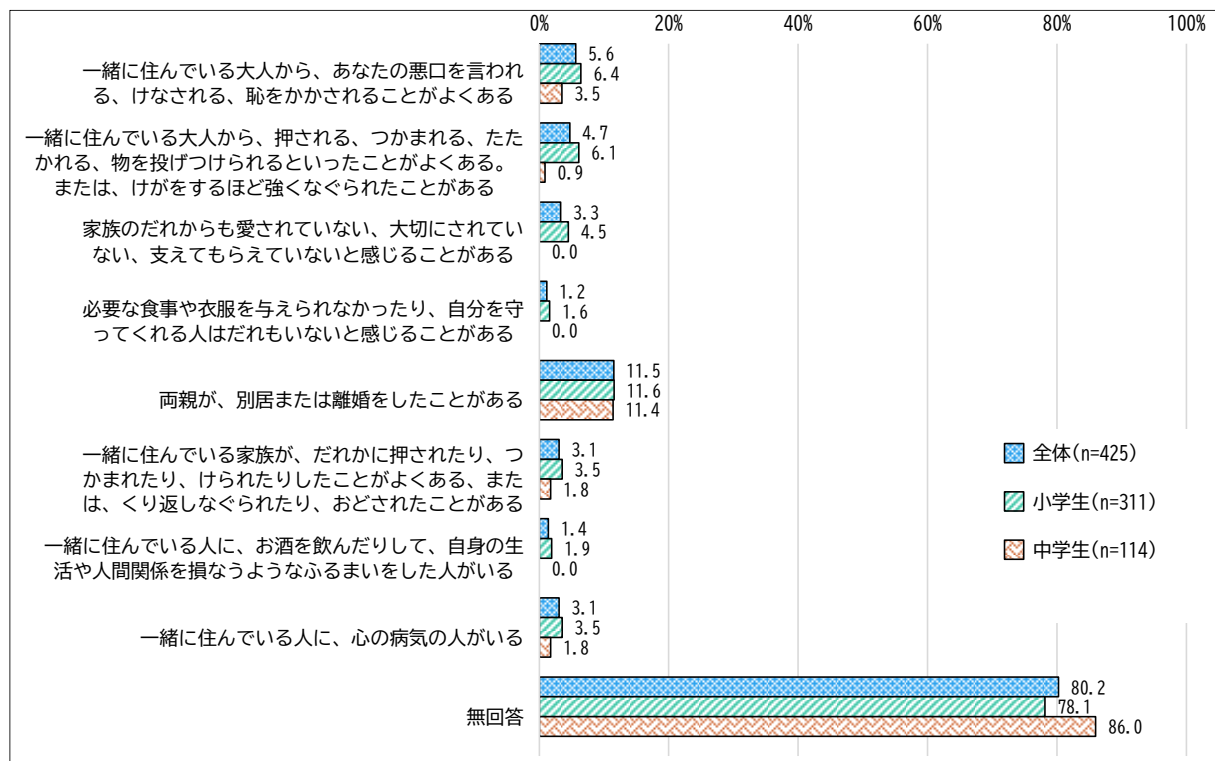
○小・中学生ともに「私は、たいいて一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける」「私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする」「私は、こわがりで、すぐにおびえたりする」では「あてはまらない」が『あてはまる』を上回っています。また、小学生では「私は、心配ごとが多く、いつも不安だ」、中学生では「私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある」についても「あてはまらない」の割合が高くなっています。





問25 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。(複数回答)

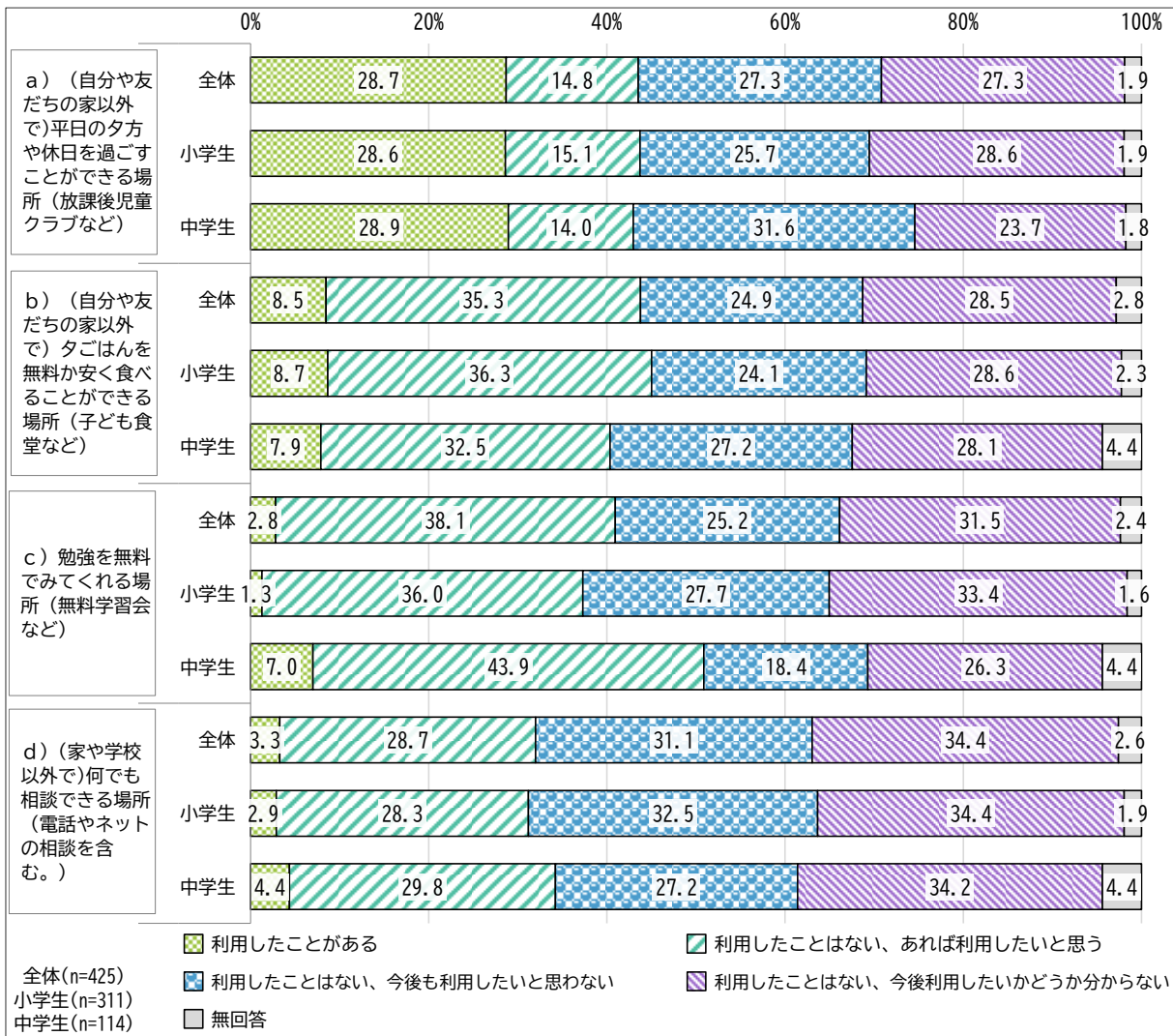
○小・中学生ともに「両親が、別居または離婚をしたことがある」(小：11.6%、中：11.4%)が最も高くなっており、それ以外は1割を切っています。



問26 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

○小・中学生の約3割が「(自分や友だちの家以外で)平日の夕方や休日を過ごすことができる場所(放課後児童クラブなど)」を「利用したことがある」と回答していますが、それ以外の利用経験は1割を切っています。

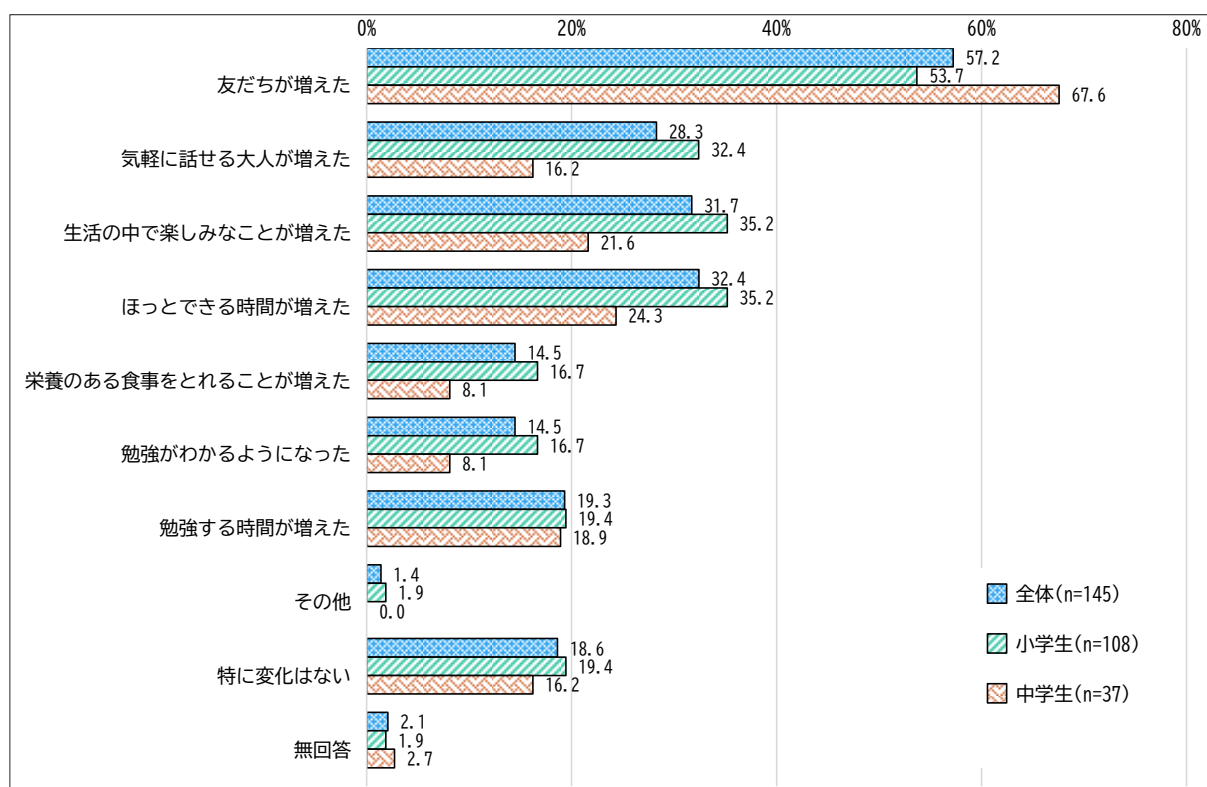
○今後の利用意向「利用したことはない、あれば利用したいと思う」が最も高いのは、小学生では「(自分や友だちの家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」36.3%、中学生では「勉強を無料でみてくれる場所(無料学習会など)」43.9%となっています。



問27 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

○小・中学生ともに「友だちが増えた」(小：53.7%、中：67.6%)が最も高く、次いで、小学生では「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」35.2%、中学生では「ほっとできる時間が増えた」24.3%となっています。

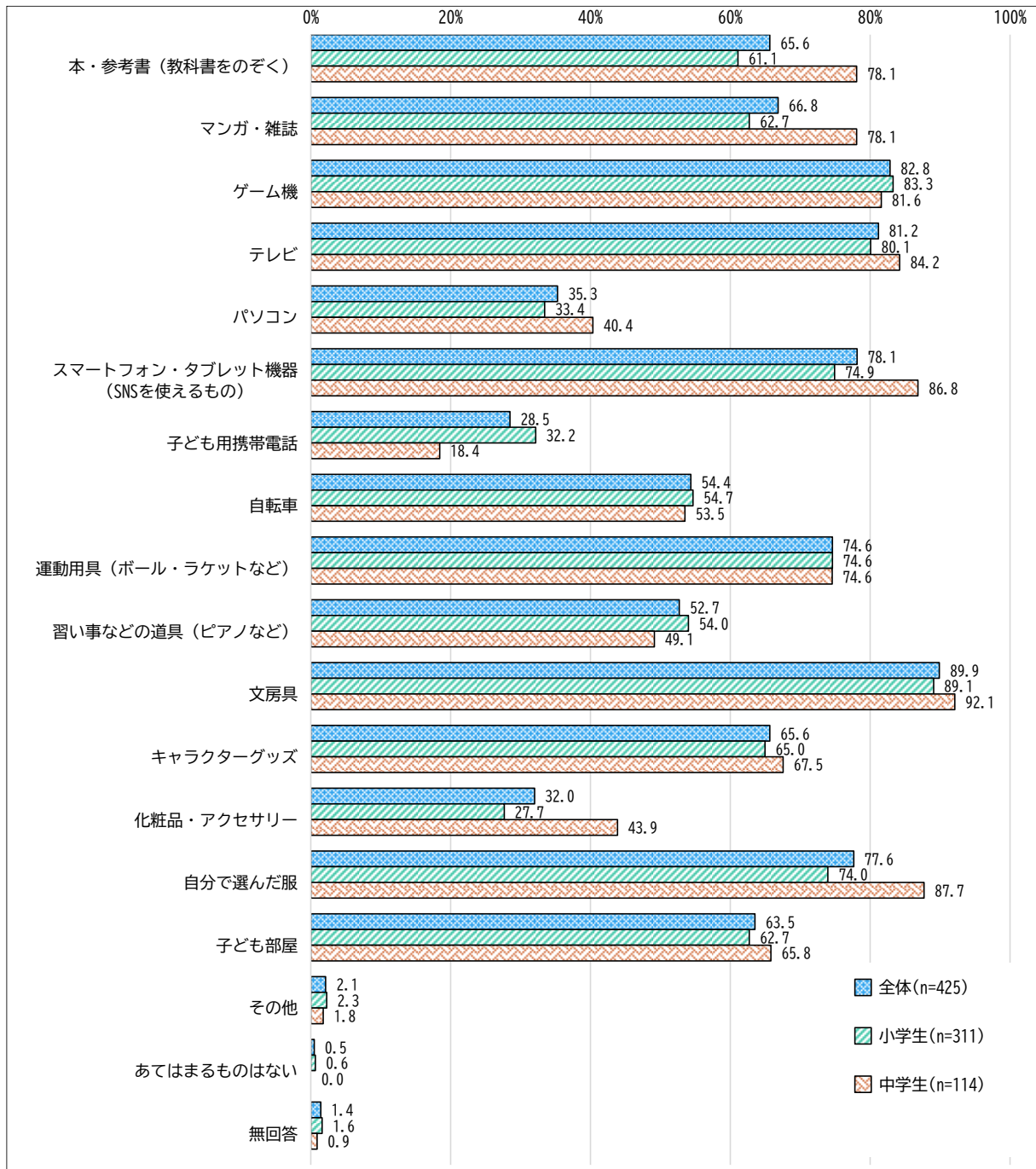
○小学生は中学生と比べて「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」が高く、「友達が増えた」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



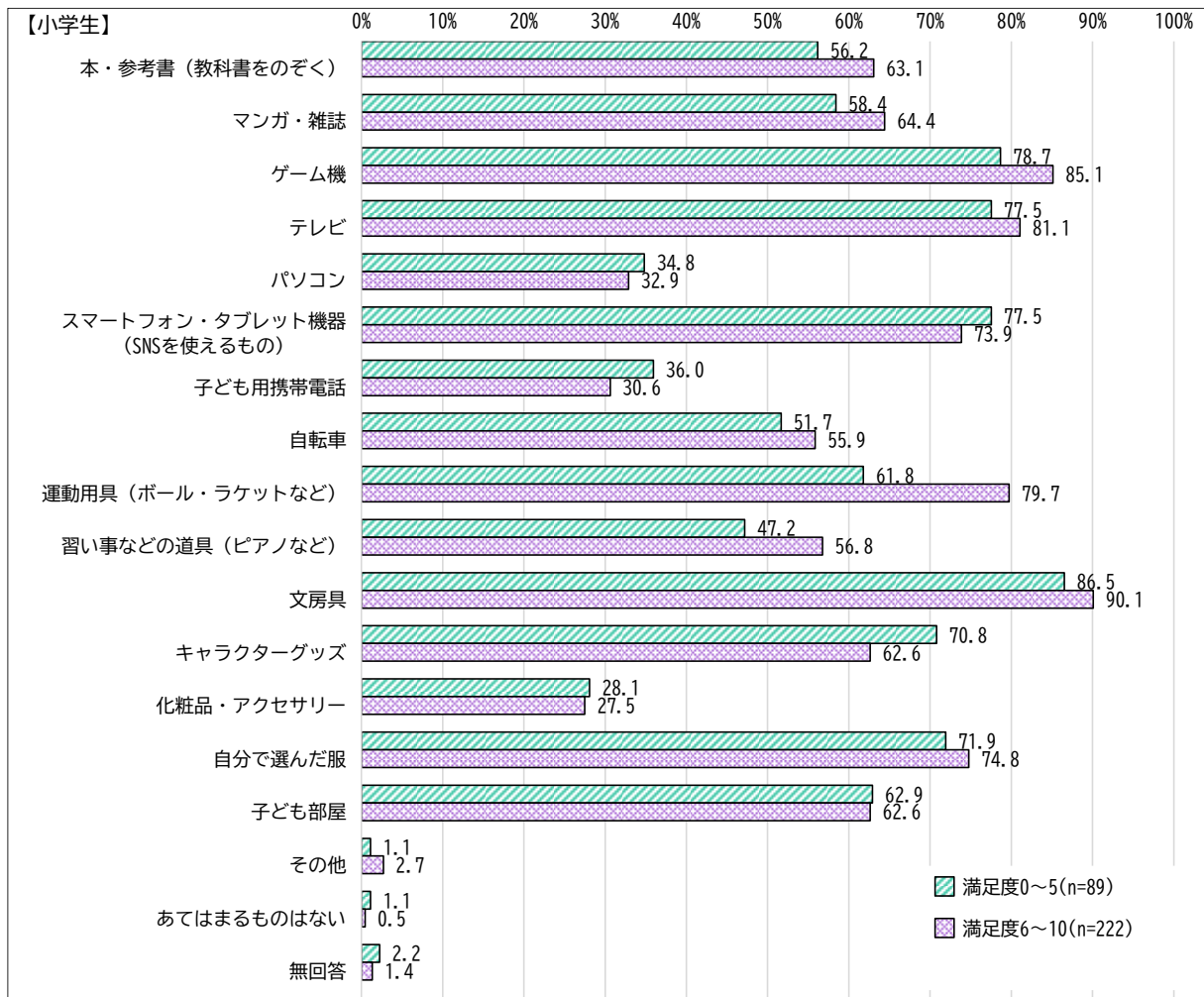
6. 持ち物やおこづかいについて

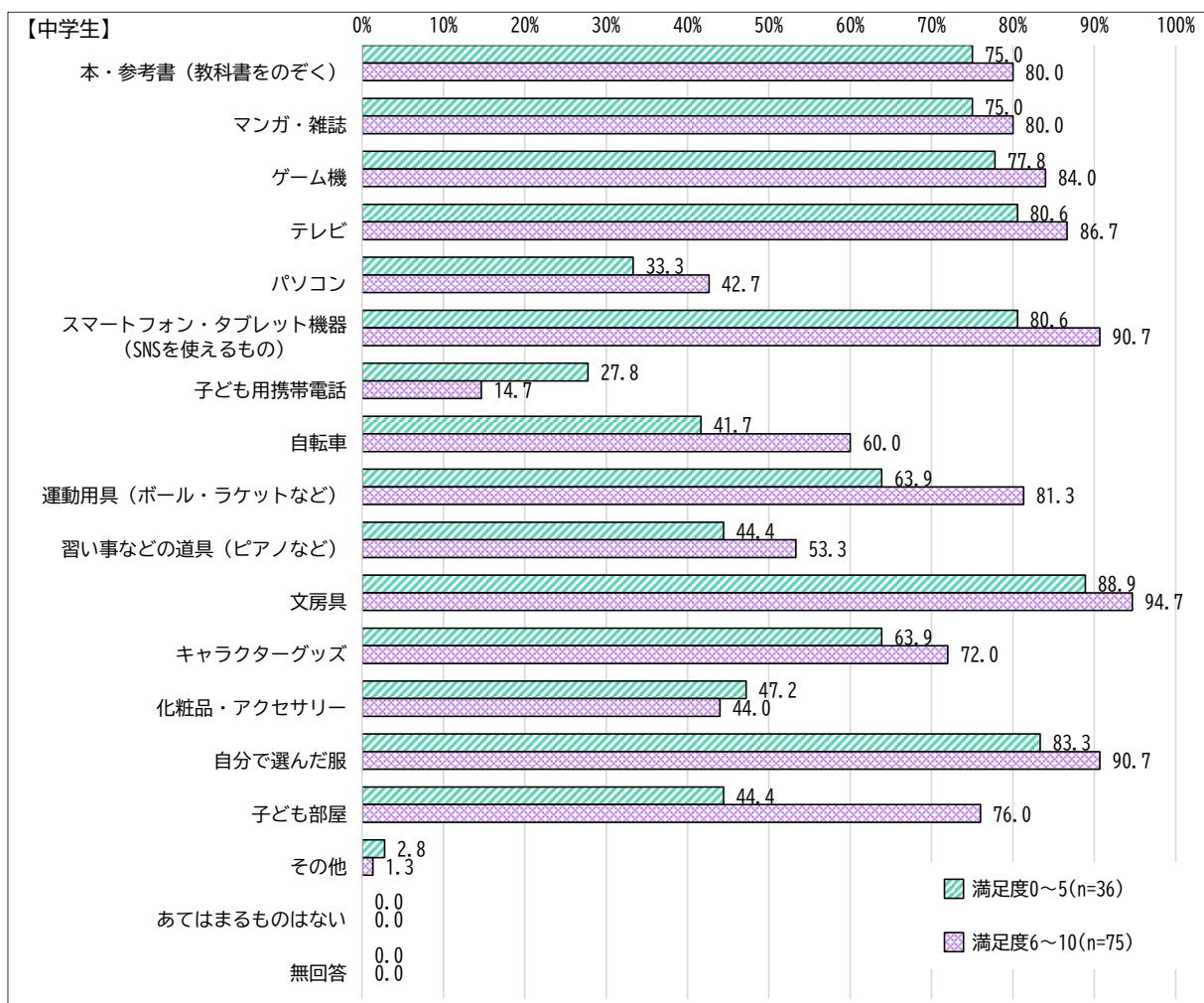
問28 あなたが持っているものや使うことができるものを答えてください。
(複数回答)

- 小学生では「文房具」が 89.1%と最も高く、次いで「ゲーム機」83.3%、「テレビ」80.1%となっています。
- 中学生では「文房具」が 92.1%と最も高く、次いで「自分で選んだ服」87.7%、「スマートフォン・タブレット機器 (SNS を使えるもの)」86.8%となっています。
- 中学生は小学生と比べて「本・参考書 (教科書をのぞく)」「マンガ・雑誌」「スマートフォン・タブレット機器 (SNS を使えるもの)」「化粧品・アクセサリー」「自分で選んだ服」が高く、「子ども用携帯電話」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。
- 生活満足度でみると、「満足度 6~10」は「満足度 0~5」と比べて、小学生では「運動用具 (ボール・ラケットなど)」が 17.9ポイント高くなっています。また、中学生では「スマートフォン・タブレット機器 (SNS を使えるもの)」「自転車」「運動用具 (ボール・ラケットなど)」「子ども部屋」が高く、「子ども用携帯電話」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



【所持・使用できるもの×生活満足度】

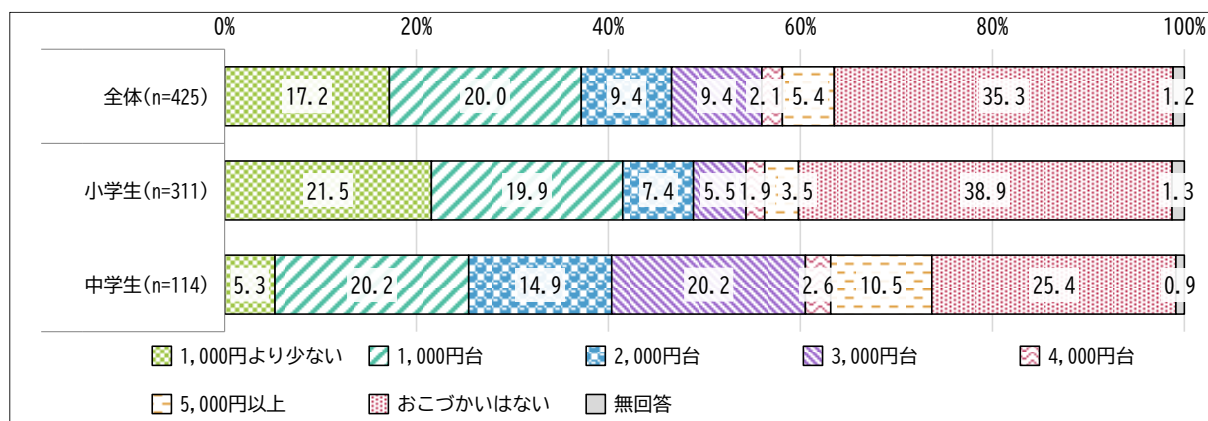




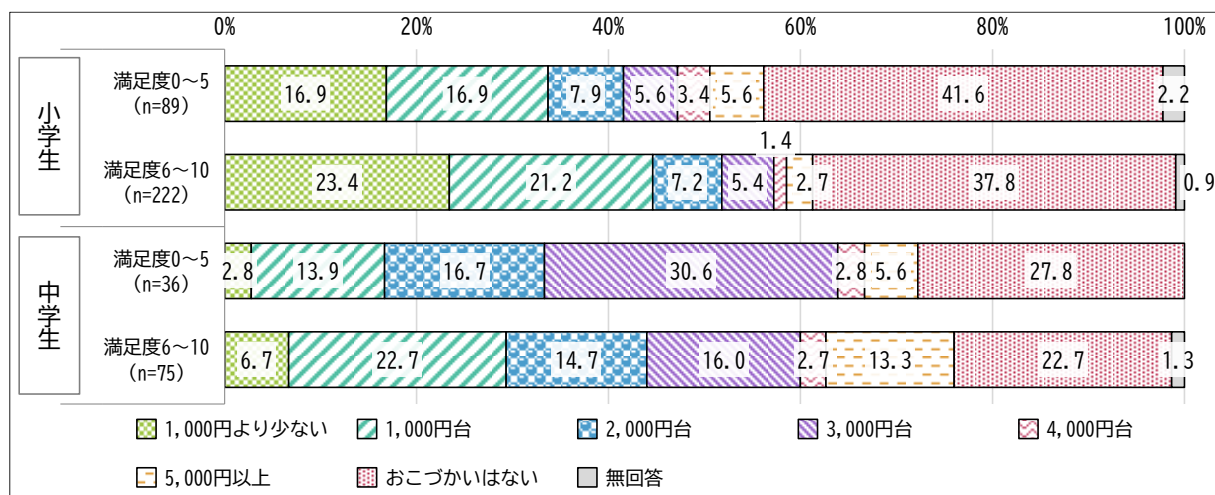
問29 あなたの毎月のおこづかいはいくらですか。(単数回答)

○小・中学生ともに「おこづかいはない」(小：38.9%、中：25.4%)が最も高く、次いで、小学生では「1,000円より少ない」21.5%、中学生では「1,000円台」「3,000円台」20.2%となっています。

○生活満足度でみると、中学生では「満足度0～5」は「満足度6～10」と比べて「3,000円台」が14.6ポイント高くなっています。

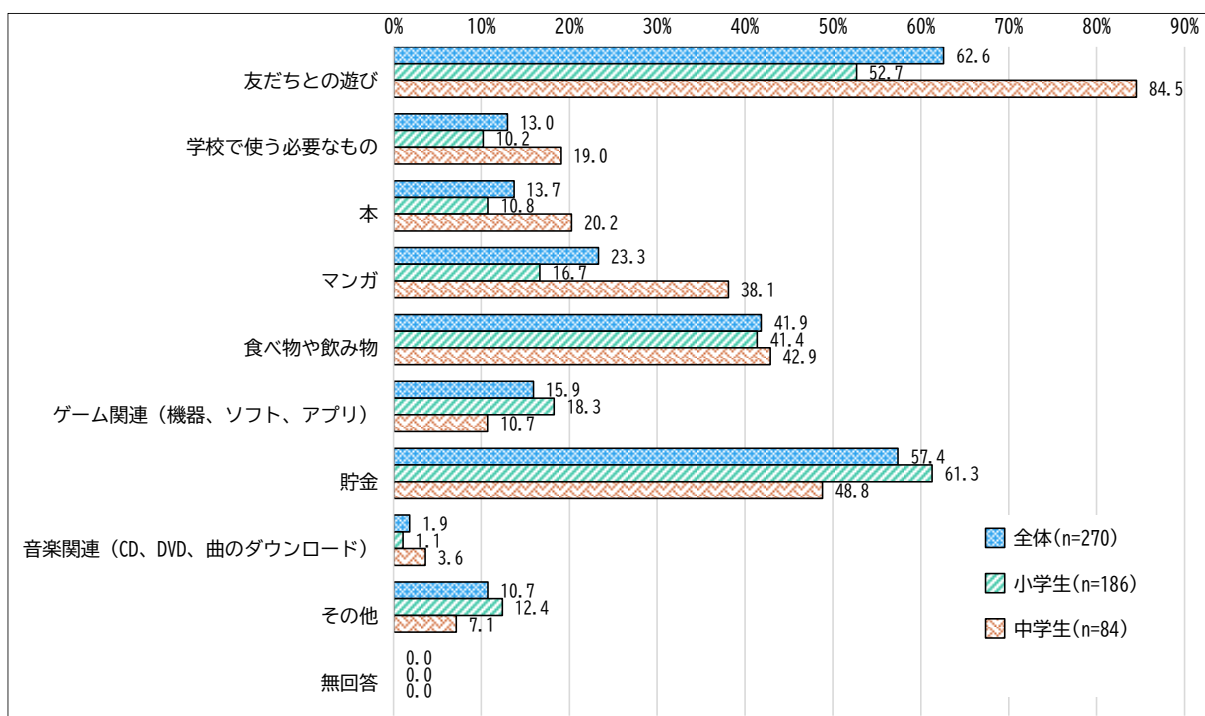


【毎月のおこづかい×生活満足度】



問30 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。(複数回答)

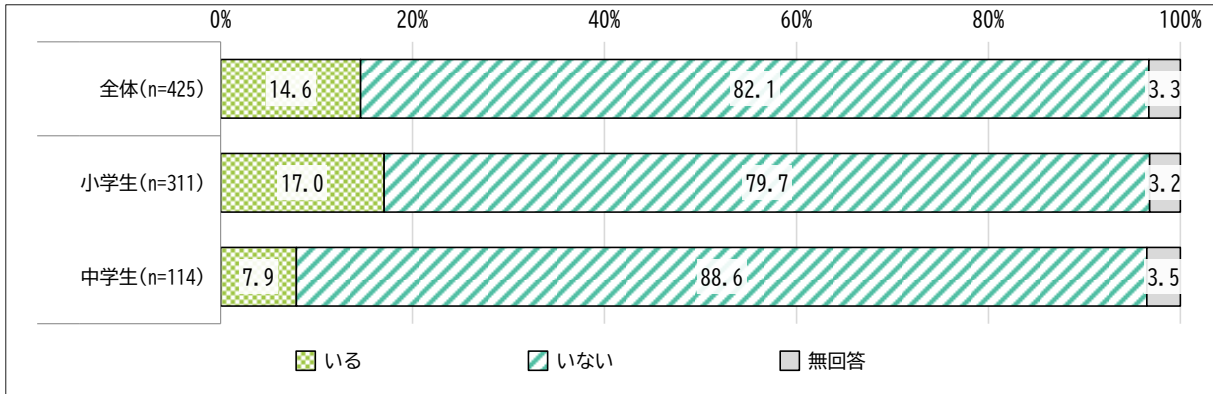
- 小学生では「貯金」が61.3%と最も高く、次いで「友達との遊び」52.7%、「食べ物や飲み物」41.4%となっています。
- 中学生では「友だちとの遊び」が84.5%と最も高く、次いで「貯金」48.8%、「食べ物や飲み物」42.9%となっています。
- 中学生では小学生と比べて「友だちとの遊び」「マンガ」が高く、「貯金」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



7. 家族について

問31 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(単数回答)

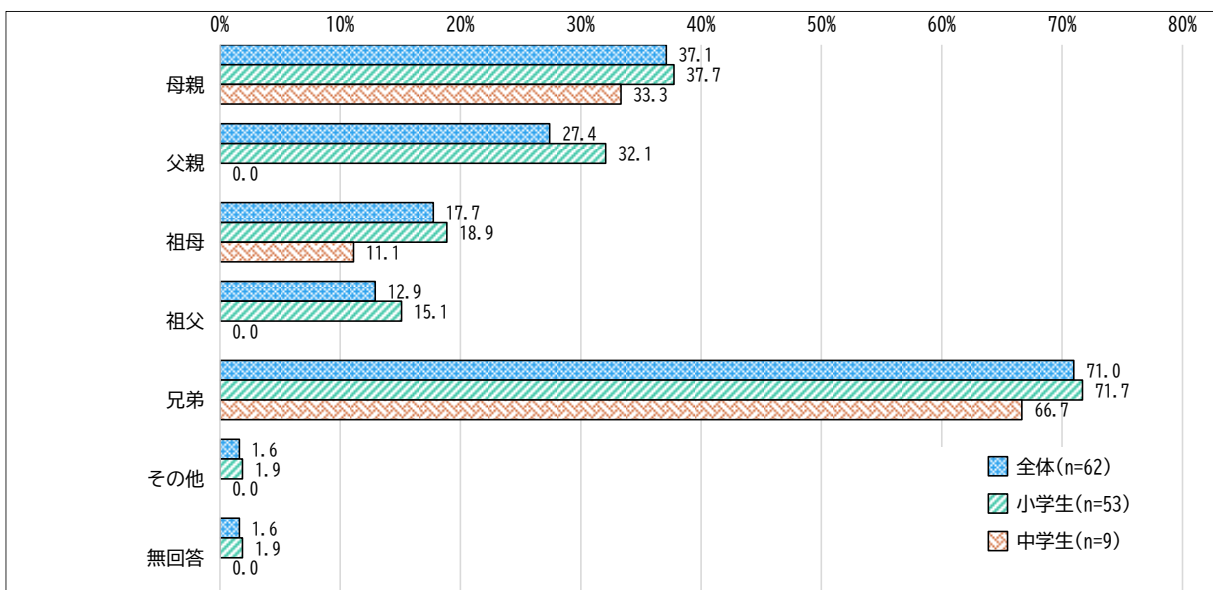
○小・中学生ともに約8割が「いない」(小:79.7%、中:88.6%)と回答しており、「いない」が「いる」を大きく上回っていますが、小学生では約2割は家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答しています。



問31で「1.いると回答した方のみ

問32 誰のお世話をしていますか。(複数回答)

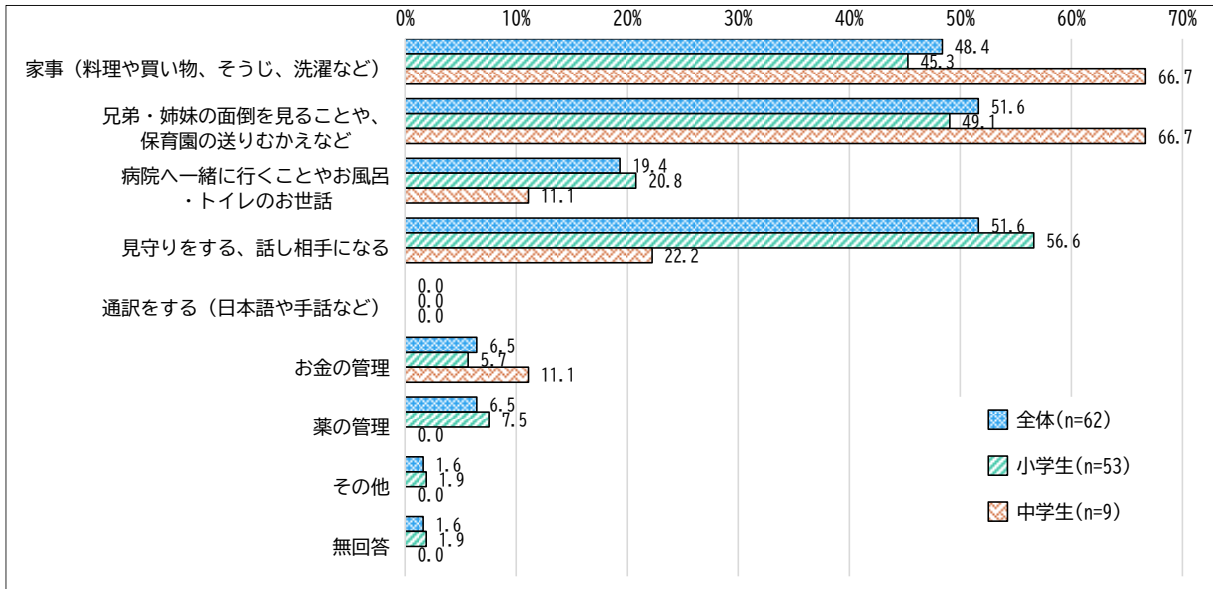
○全体では「兄弟」が71.0%と最も高く、次いで「母親」37.1%、「父親」27.4%となっています。



問31で「1.いると回答した方のみ

問33 あなたがしているお世話の内容を教えてください。(複数回答)

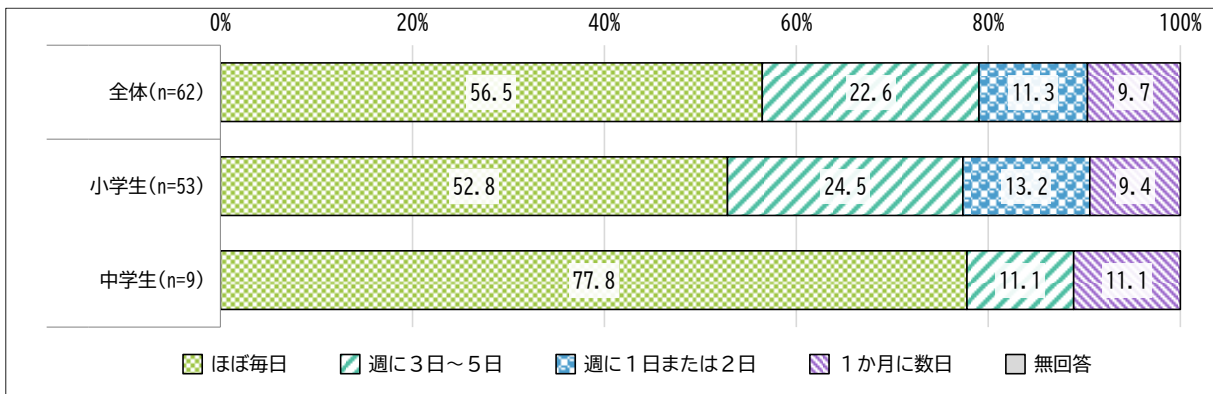
○全体では「兄弟・姉妹の面倒を見ることや、保育園の送りむかえなど」「見守りをする、話し相手になる」が51.6%と最も高く、次いで「家事（料理や買い物、そうじ、洗濯など）」48.4%、「病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話」19.4%となっています。



問31で「1.いると回答した方のみ

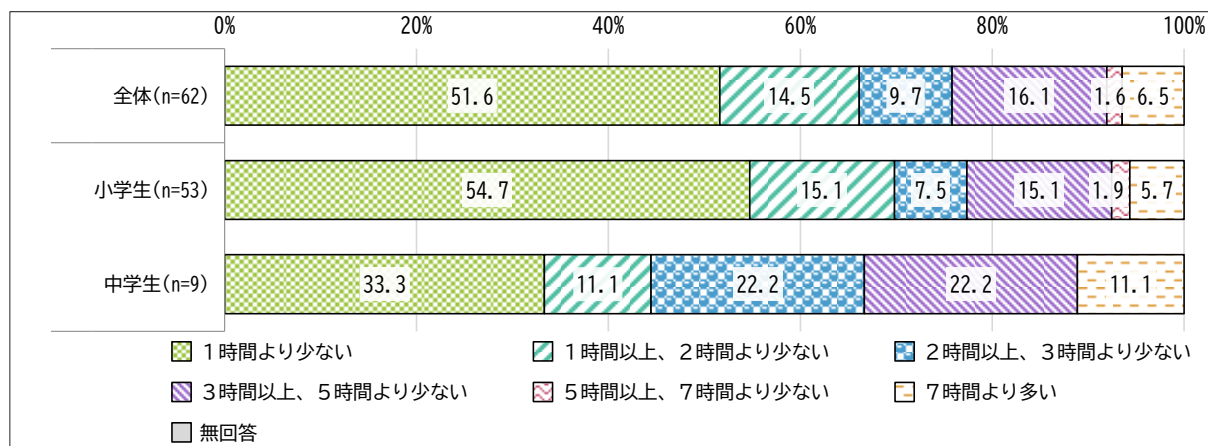
問34 お世話をすることはどれくらいありますか。(単数回答)

○全体では「ほぼ毎日」が56.5%と最も高く、次いで「週に3日～5日」22.6%、「週に1日または2日」11.3%、「週に1日または2日」11.3%となっています。



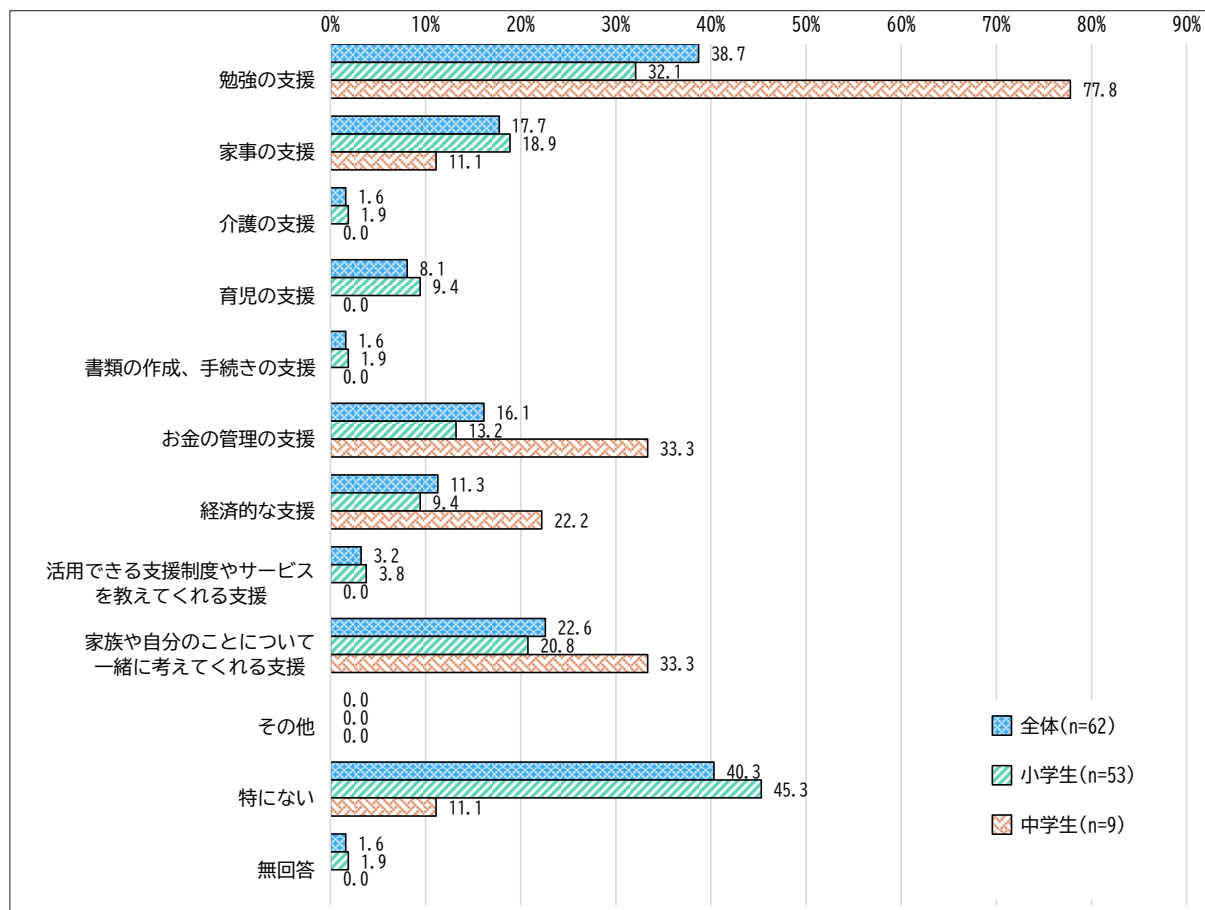
問35 学校に行く日に、お世話を1日のうちどれくらいしていますか。(単数回答)

○全体では「1時間より少ない」が51.6%と最も高く、次いで「3時間以上、5時間より少ない」16.1%、「1時間以上、2時間より少ない」14.5%となっています。



問36 あなたが今欲しいと思う支援はありますか。(複数回答)

○全体では「特にない」が40.3%と最も高く、次いで「勉強の支援」38.7%、「家族や自分のことについて一緒に考えてくれる支援」22.6%となっています。



問37 あなたが毎日の生活で感じていることや必要な支援などを自由に記入してください。(自由回答)

※詳細は、

別紙「佐々町 子ども・子育て及び子どもの生活状況アンケート調査 結果報告書(自由記述)」

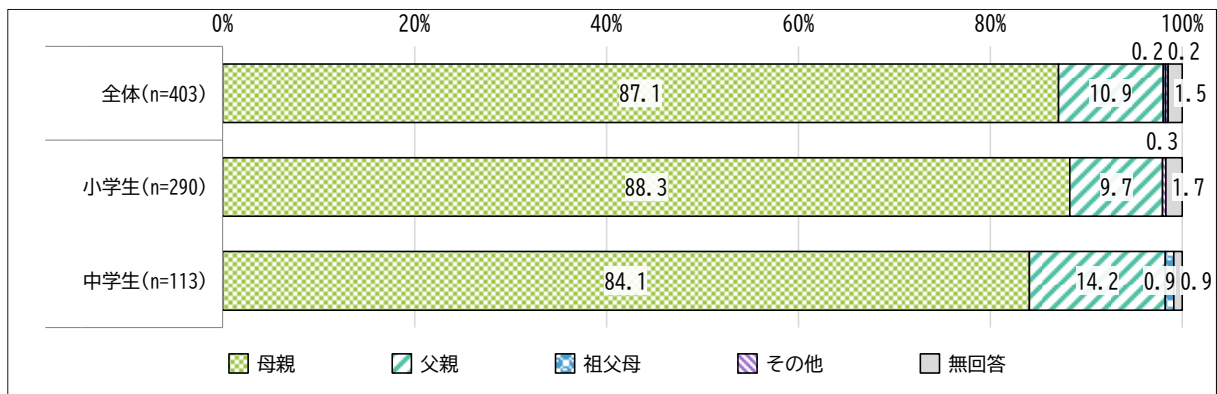
に掲載

第4章 調査結果（保護者）

1. お子さんとの関係

問1 お子さんとあなたとの関係についてお答えください。(単数回答)

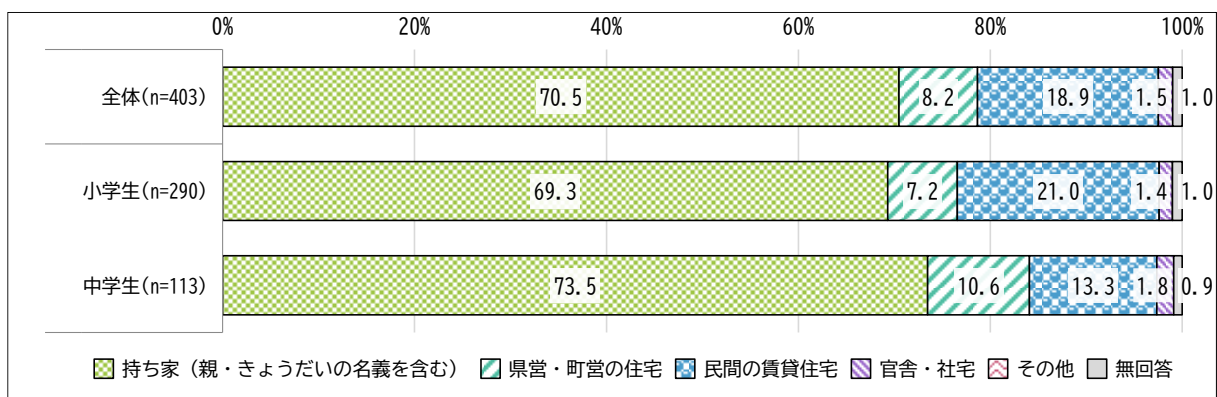
○小・中学生ともに「母親」(小：88.3%、中：84.1%)が最も高く、次いで「父親」(小：9.7%、中：14.2%)となっており、8割は「母親」と回答しています。



2. 世帯の状況について

問2 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(単数回答)

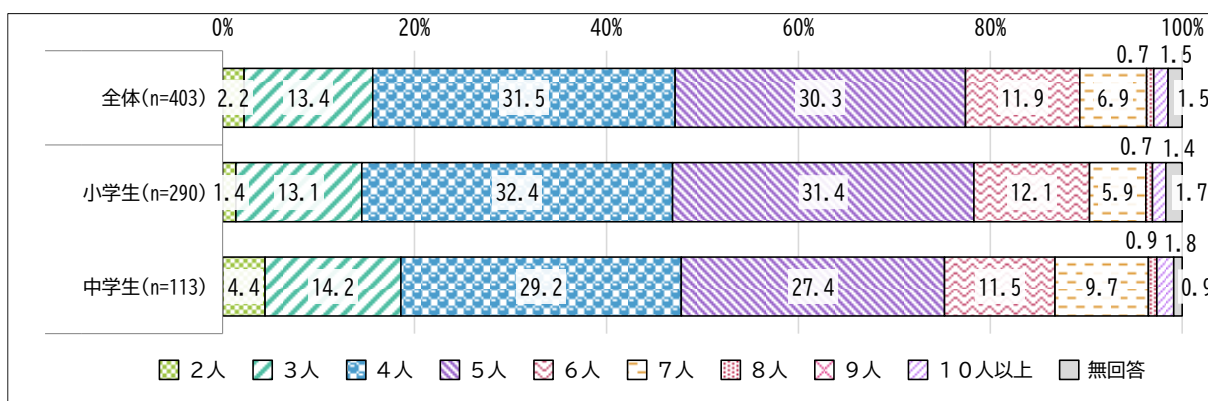
○小・中学生ともに「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」(小：69.3%、中：73.5%)が最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」(小：21.0%、中：13.3%)、「県営・町営の住宅」(小：7.2%、中：10.6%)となっており、7割前後が「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」と回答しています。



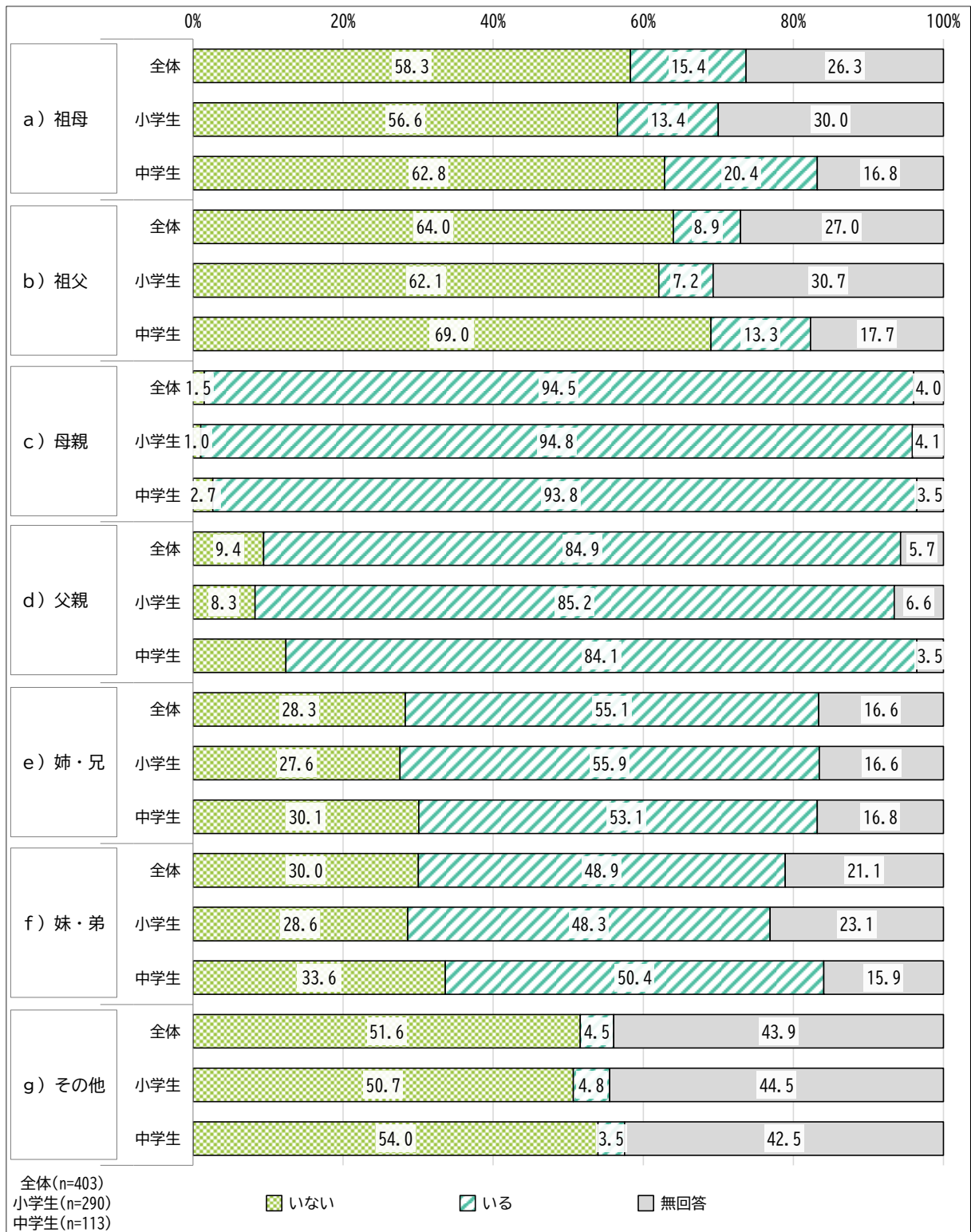
問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。(単数回答)

○家族構成人数については、小・中学生ともに「4人」(小：32.4%、中：29.2%)が最も高く、次いで「5人」(小：31.4%、中：27.4%)、「3人」(小：13.1%、中：14.2%)となっています。

○家族構成については、小・中学生ともに「母親・父親」は8～9割台、「兄弟・姉妹」は5割前後が「いる」と回答していますが、「祖父母」「その他」は「いない」が「いる」を上回っています。



【家族構成】



問4 お子さんの両親の現在の年齢についてお答えください。

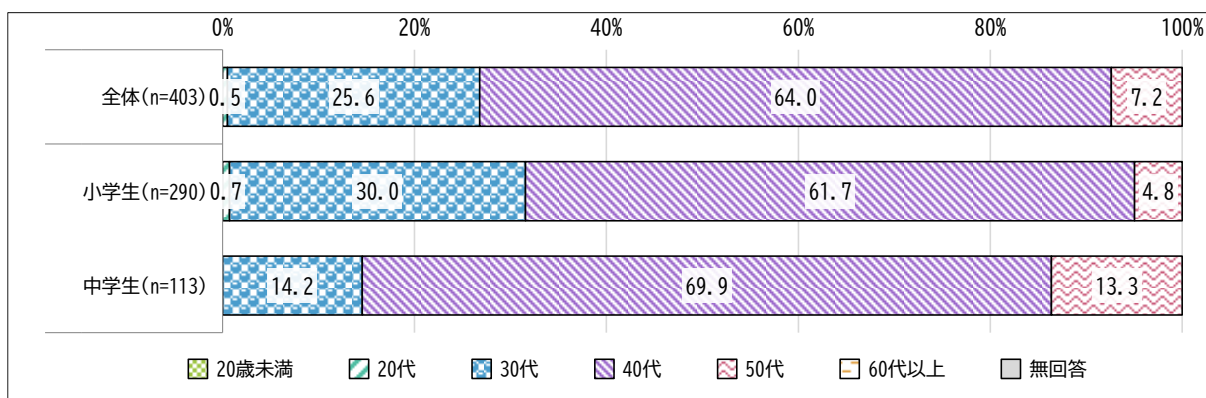
◆母親

○小・中学生ともに「40代」(小：61.7%、中：69.9%)が最も高く、次いで「30代」(小：30.0%、中：14.2%)、「50代」(小：4.8%、中：13.3%)となっています。

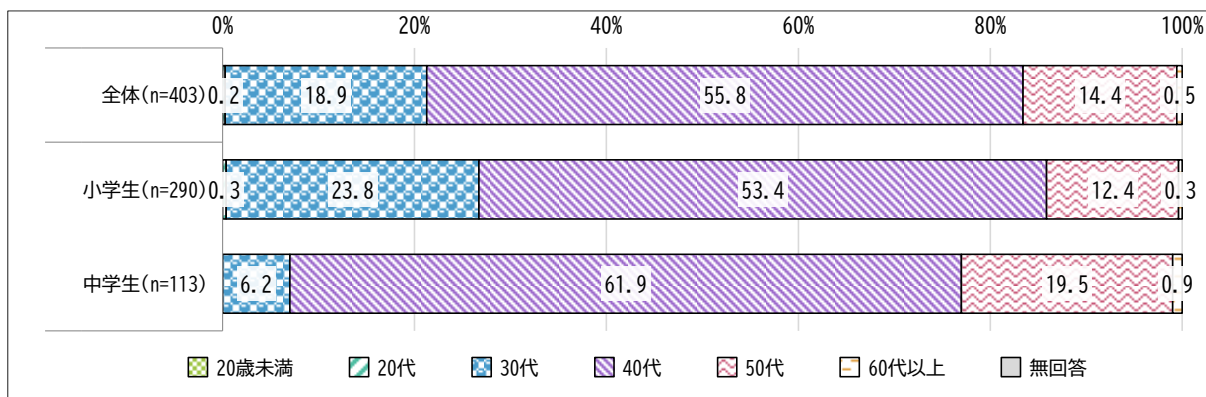
◆父親

○小・中学生ともに「40代」(小：53.4%、中：61.9%)が最も高く、次いで、小学生では「30代」23.8%、中学生では「50代」19.5%となっています。

【母親】

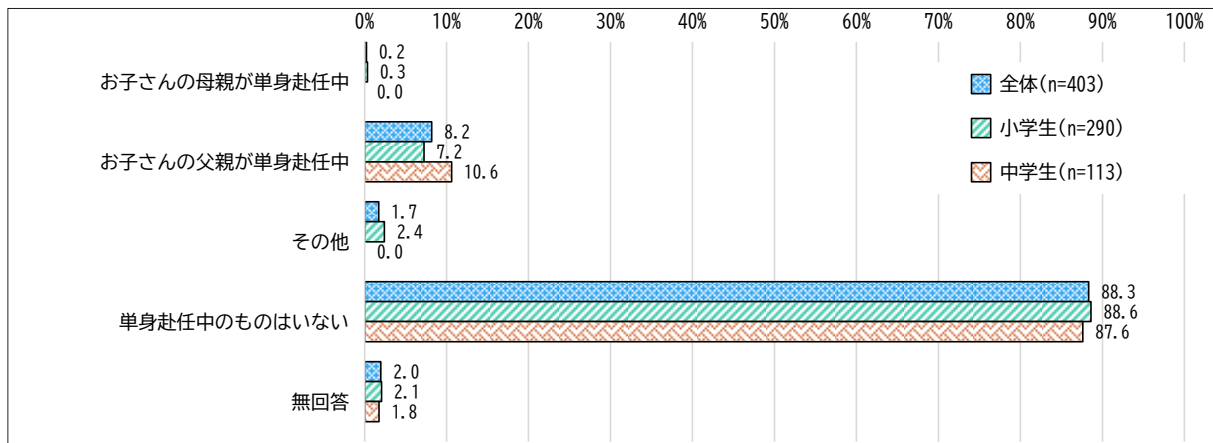


【父親】



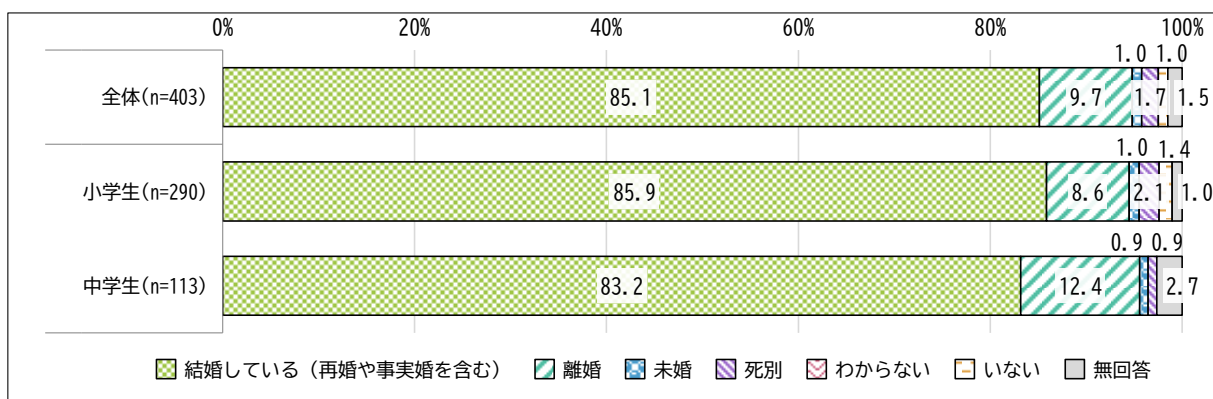
問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(複数回答)

○小・中学生ともに「単身赴任中のものはいない」(小：88.6%、中：87.6%)が8割を超えており、「お子さんの父親が単身赴任中」は1割前後となっています。



問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(単数回答)

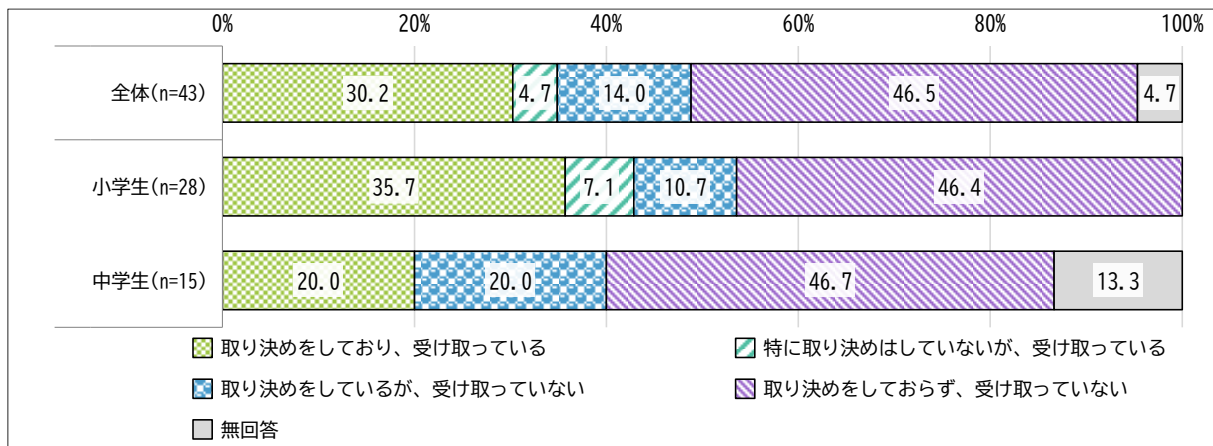
○小・中学生ともに「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」(小：85.9%、中：83.2%)が最も高く、次いで「離婚」が1割前後となっており、8割が「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」と回答しています。



問7 離婚相手などと子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(単数回答)

○小・中学生ともに「取り決めをしておらず、受け取っていない」(小：46.4%、中：46.7%)が最も高く、次いで、小学生では「取り決めをしており、受け取っている」35.7%、中学生では「取り決めをしており、受け取っている」「取り決めをしているが、受け取っていない」20.0%となっています。

○小学生では中学生と比べて「受け取っている：取り決めをしており、受け取っている+特に取り決めはしていないが、受け取っている」が22.8ポイント高くなっています。



問8 お子さんの両親が卒業・修了した学校をお答えください。(単数回答)

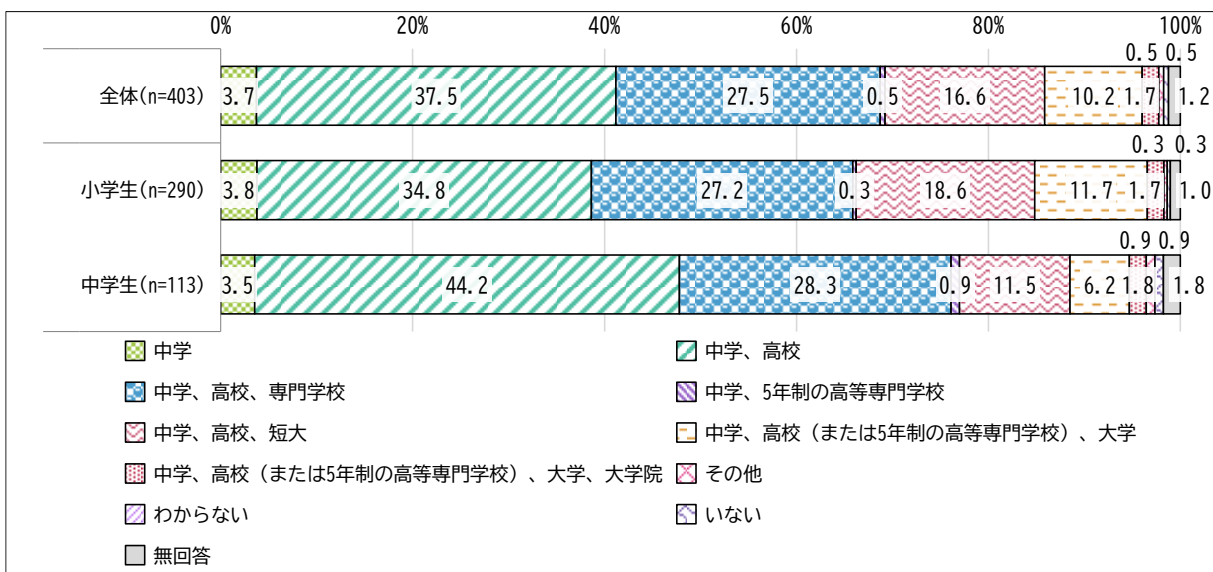
◆母親

○小・中学生ともに「中学、高校」(小：34.8%、中：44.2%)が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」(小：27.2%、中：28.3%)、「中学、高校、短大」(小：18.6%、中：11.5%)となっています。

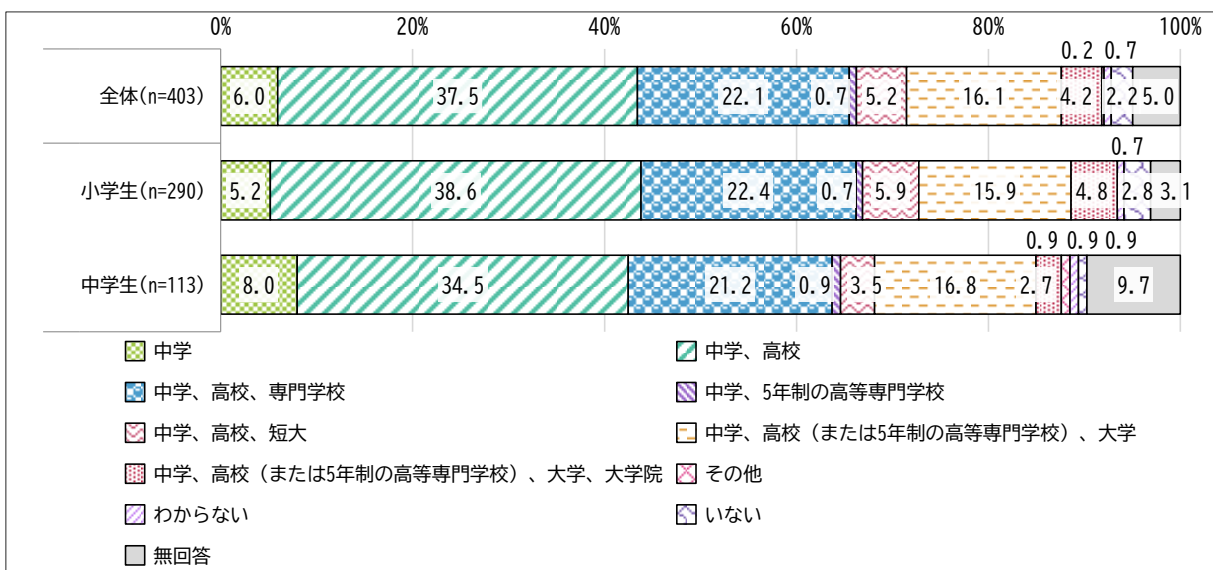
◆父親

○小・中学生ともに「中学、高校」(小：38.6%、中：34.5%)が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」(小：22.4%、中：21.2%)、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(小：15.9%、中：16.8%)となっています。

【母親】



【父親】



問9 お子さんの両親の就労状況についてお答えください。(単数回答)

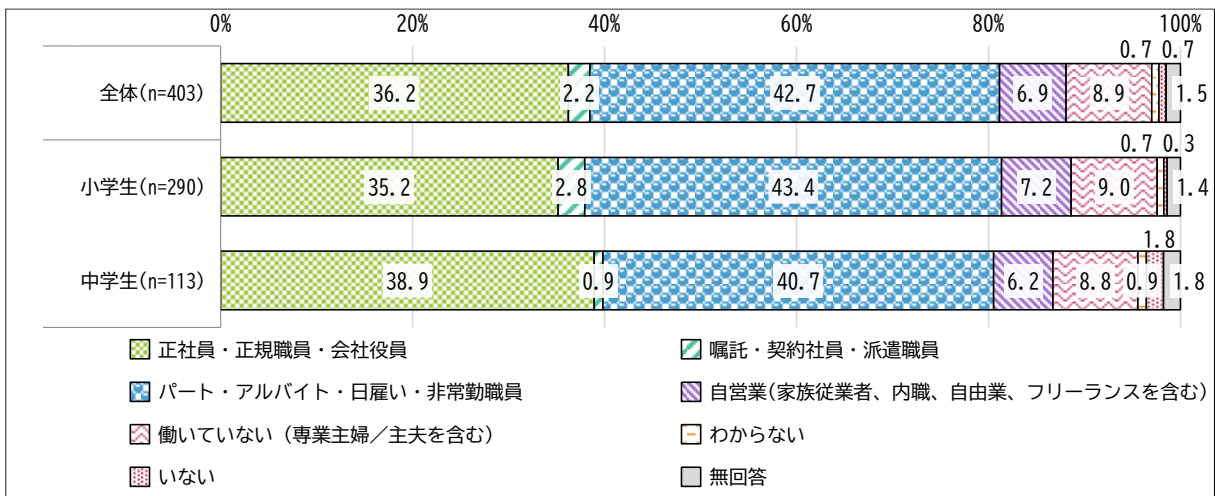
◆母親

○小・中学生ともに「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」(小：43.4%、中：40.7%)が最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」(小：35.2%、中：38.9%)、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」(小：9.0%、中：8.8%)となっています。

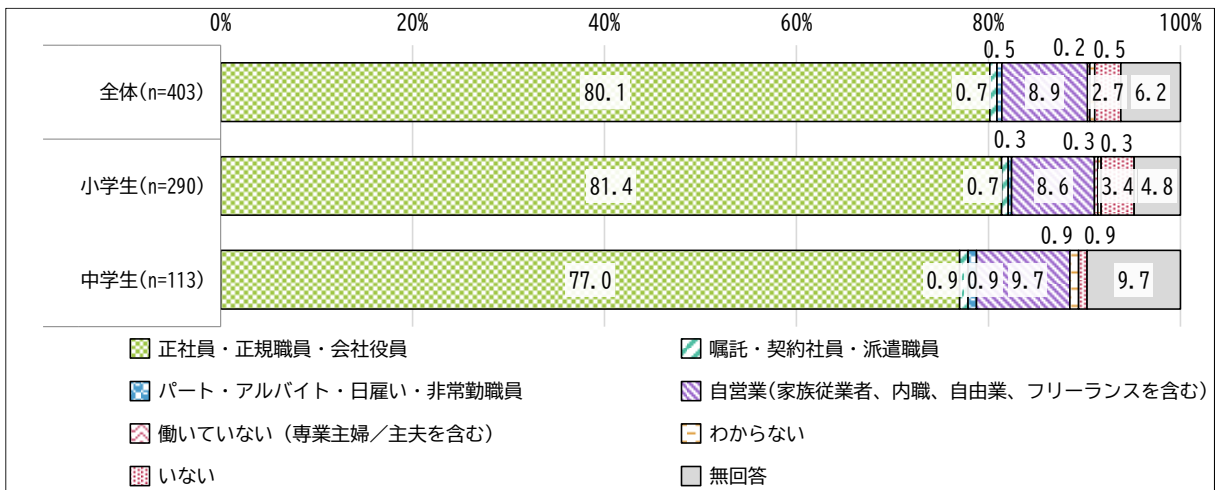
◆父親

○小・中学生ともに約8割が「正社員・正規職員・会社役員」と回答しています。

【母親】



【父親】



問10 働いていない最も主な理由を教えてください。(単数回答)

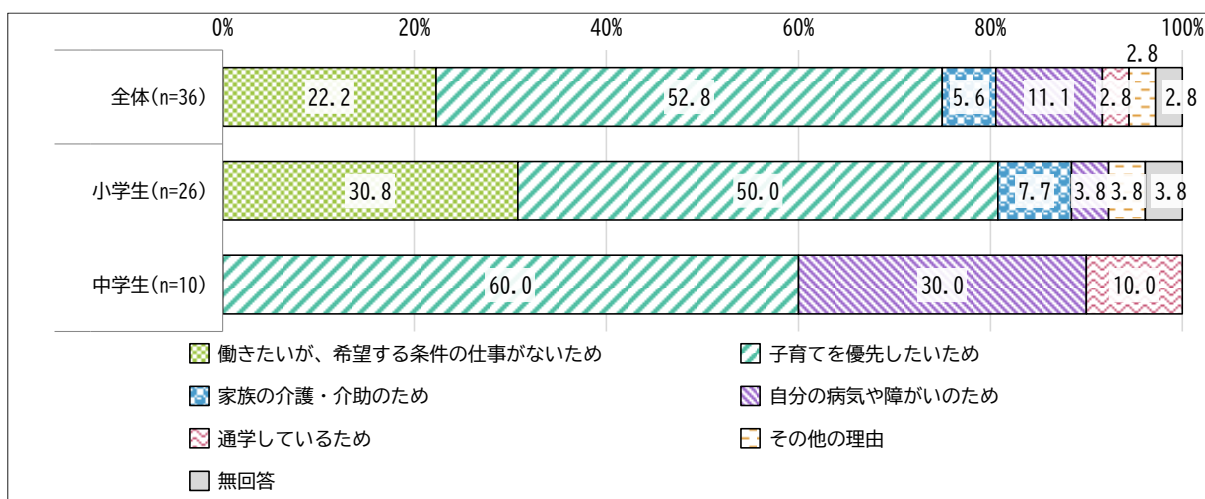
◆母親

○小・中学生ともに「子育てを優先したいため」(小：50.0%、中：60.0%)が最も高く、次いで、小学生では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」30.8%、中学生では「自分の病気や障がいのため」30.0%となっています。

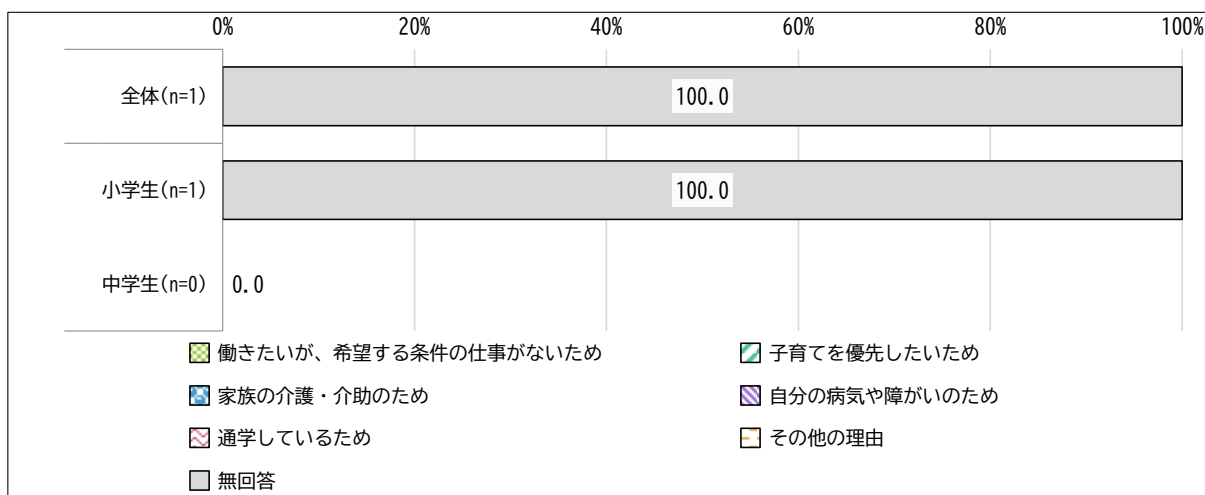
◆父親

○父親については、サンプル数が少ないため参考程度。

【母親】



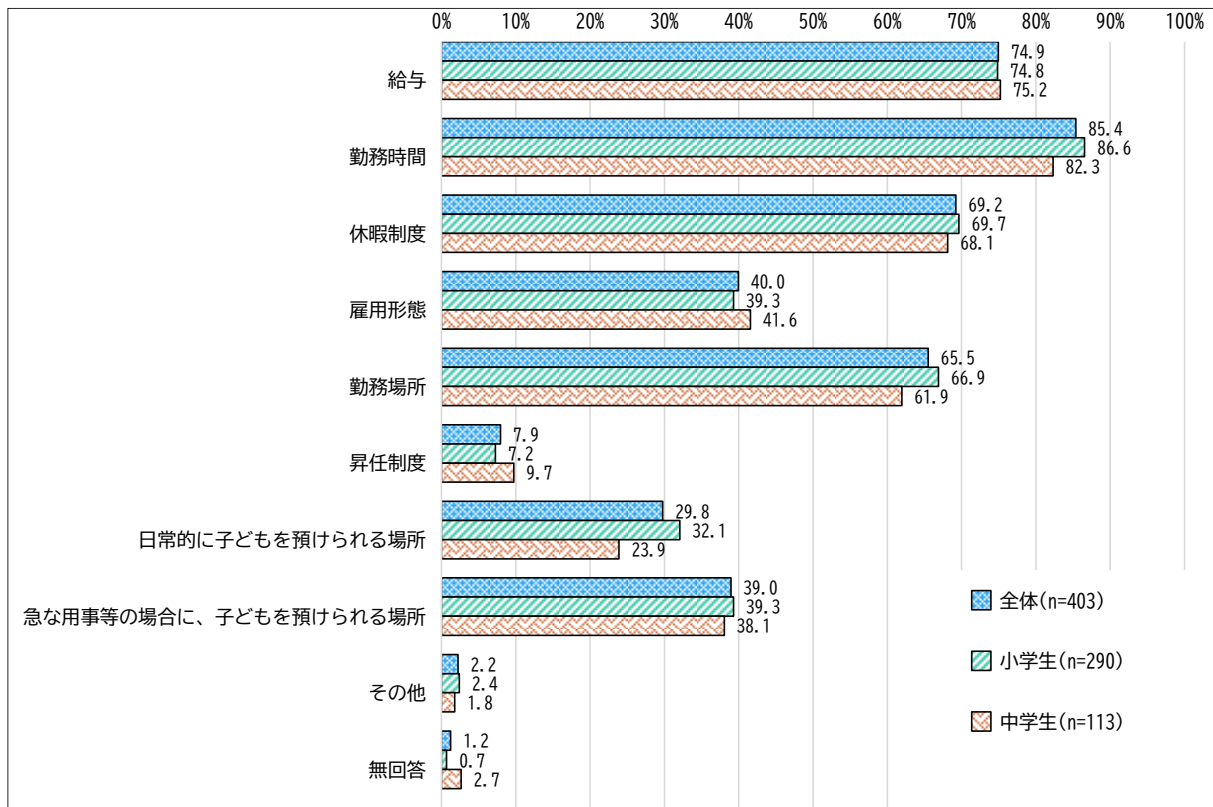
【父親】



問11 あなたが子育てと仕事を両立するうえで、重要だと思うことは何ですか。
(複数回答)

○全体では「勤務時間」が85.4%と最も高く、次いで「給与」74.9%、「休暇制度」69.2%となっています。

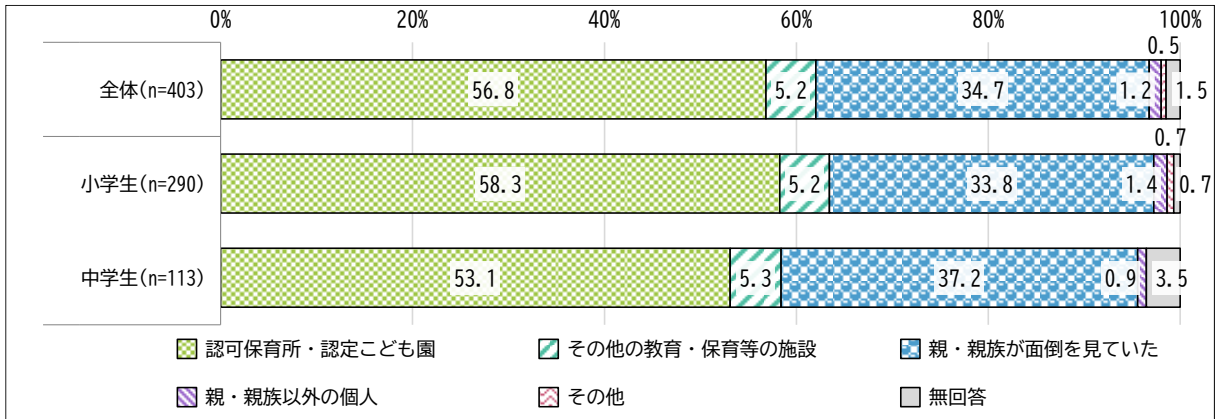
○小・中学生ともに「勤務時間」(小：86.6%、中：82.3%)が最も高く、次いで「給与」(小：74.8%、中：75.2%)、「休暇制度」(小：69.7%、中：68.1%)となっています。また、「勤務場所」(小：66.9%、中：61.9%)も6割を超えています。



3. 小学校入学前の教育・保育状況について

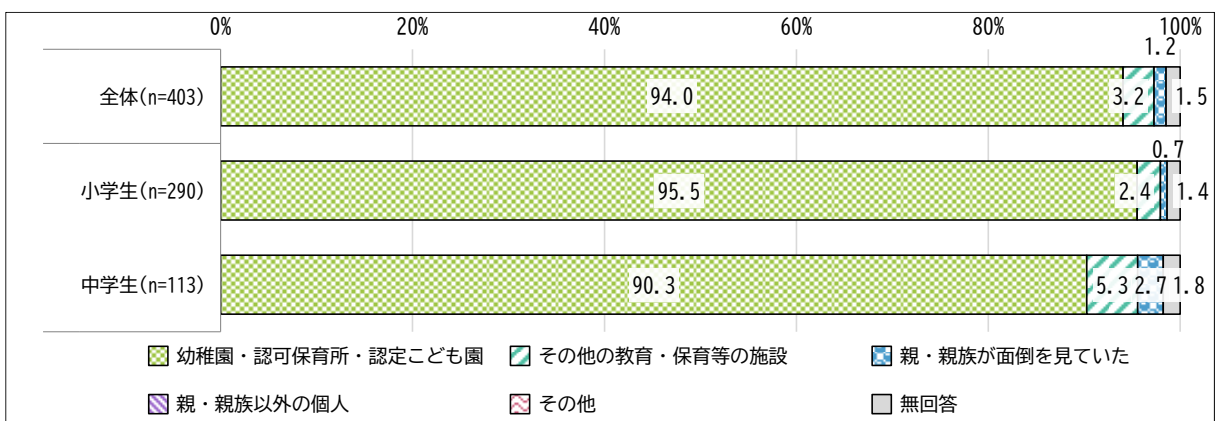
問12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

○小・中学生ともに「認可保育所・認定こども園」（小：58.3%、中：53.1%）が最も高く、次いで「親・親族が面倒を見ていた」（小：33.8%、中：37.2%）、「その他の教育・保育等の施設」（小：5.2%、中：5.3%）となっています。



問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

○小・中学生ともに9割が「幼稚園・認可保育所・認定こども園」（小：95.5%、中：90.3%）と回答しています。

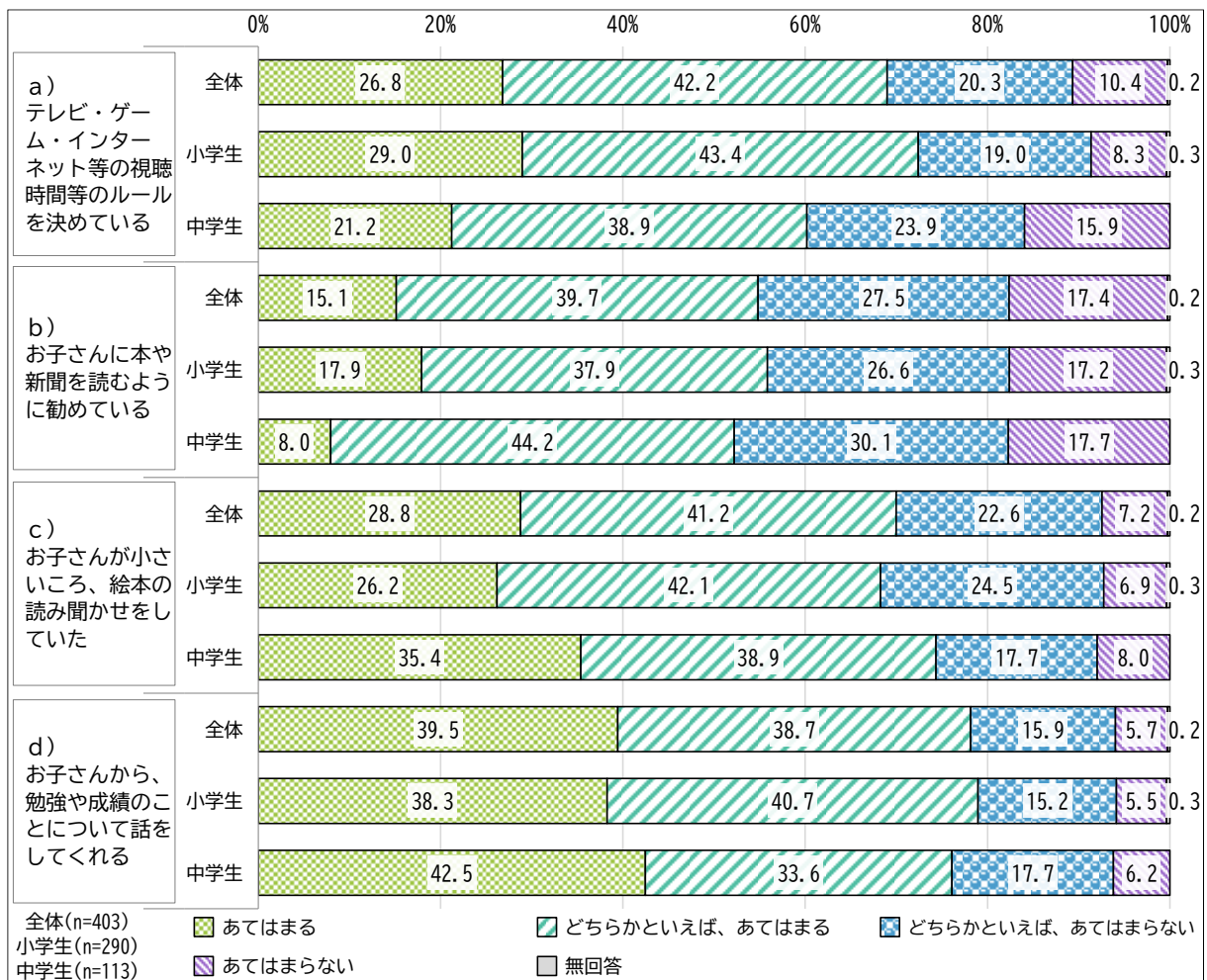


4. お子さんへの関わり方について

問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

○どの項目も「あてはまる：あてはまる+どちらかといえば、あてはまる」が「あてはまらない：どちらかといえば、あてはまらない+あてはまらない」を上回っており、特に「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」(小：79.0%、中：76.1%)では約8割が『あてはまる』と回答しています。また、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」では『あてはまらない』が4割を超えています。

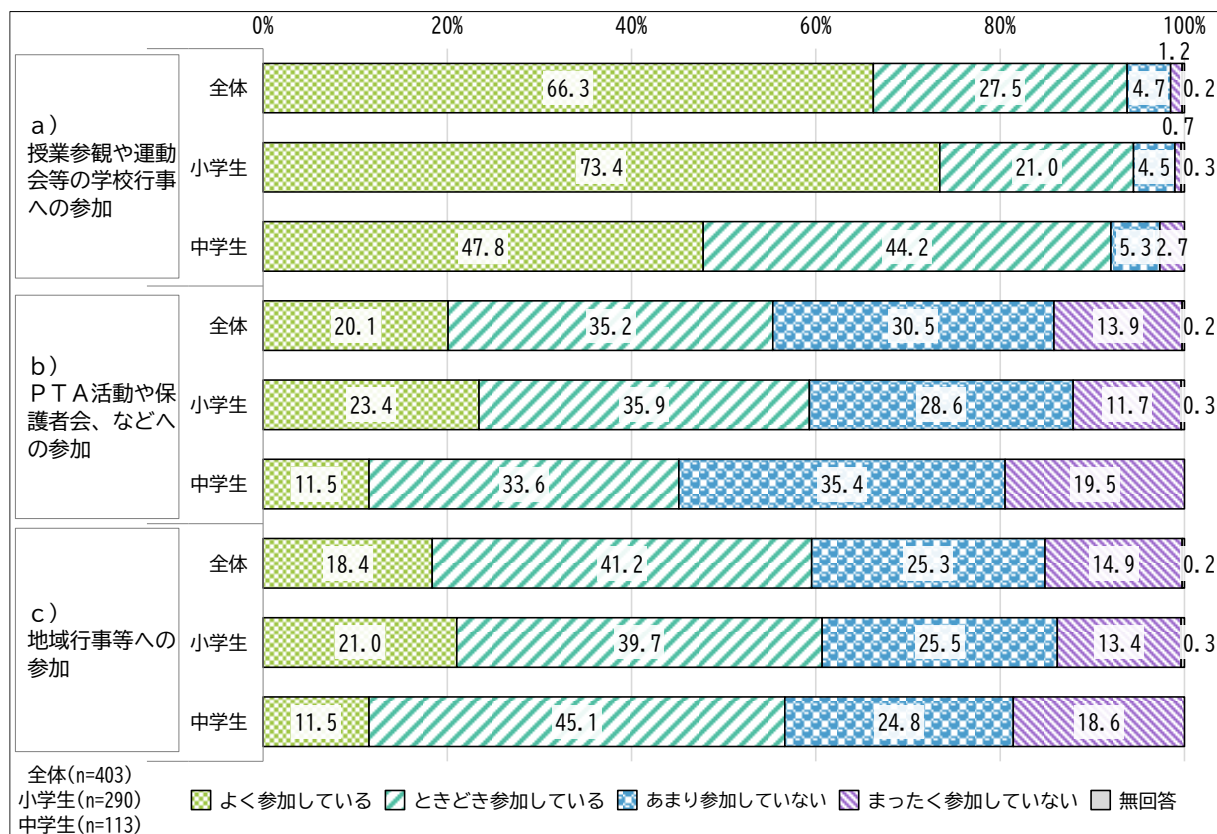
○「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」の『あてはまる』割合が、小学生では中学生と比べて12.3ポイント高くなっています。



問15 あなたは次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

○参加率が高い「参加している：よく参加している+ときどき参加している」のは、小・中学生ともに「授業参観や運動会等の学校行事への参加」(小：94.4%、中：92.0%)が最も高く9割を超えており、次いで「地域行事等への参加」(小：60.7%、中：56.6%)、「PTA活動や保護者会などへの参加」(小：59.3%、中：45.1%)となっています。

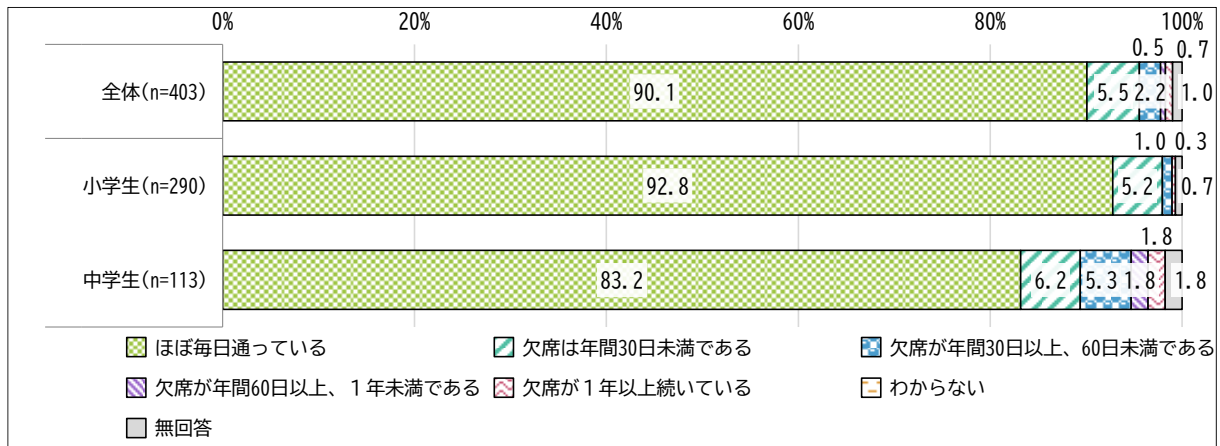
○中学生では「PTA活動や保護者会、などへの参加」の「参加していない：あまり参加していない+まったく参加していない」(54.9%)が『参加している』を上回っています。



5. お子さんの学校生活について

問16 お子さんの通学状況について、教えてください。(単数回答)

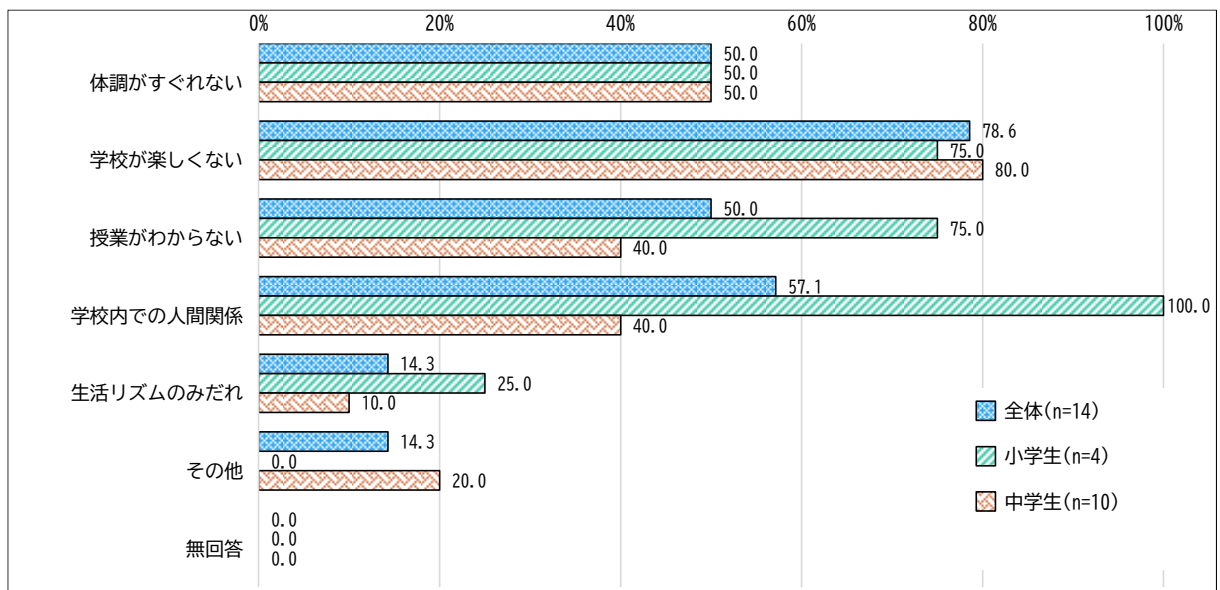
○小・中学生ともに8～9割が「ほぼ毎日通っている」(小：92.8%、中：83.2%)と回答しています。



問16で「3.」～「5.」と回答した方のみ

問17 欠席の主な理由は何ですか。(複数回答)

○全体では「学校が楽しくない」が78.6%と最も高く、次いで「学校内での人間関係」57.1%、「体調がすぐれない」「授業がわからない」50.0%となっています。



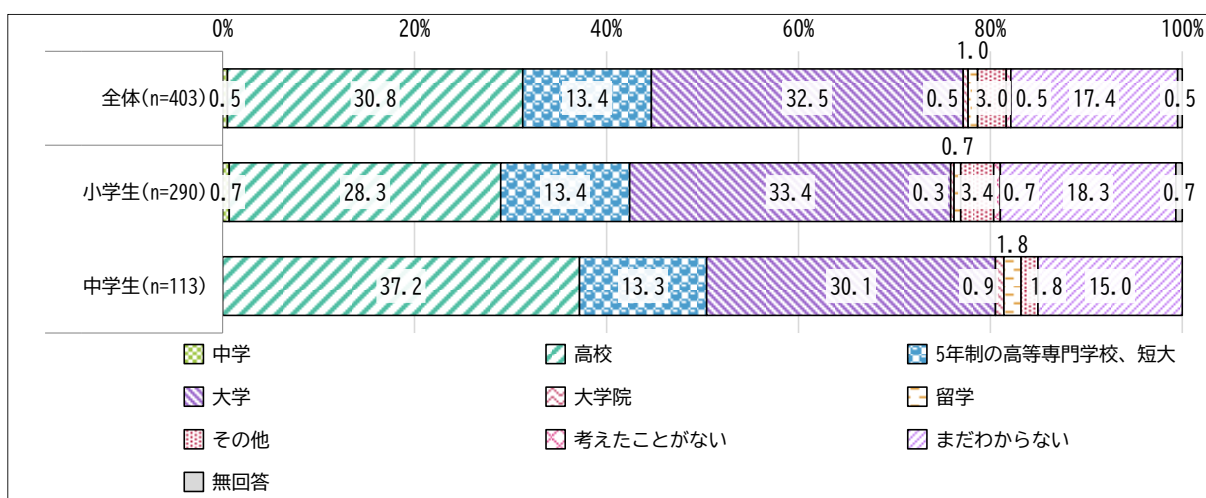
6. お子さんの進路希望について

問18 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。 (単数回答)

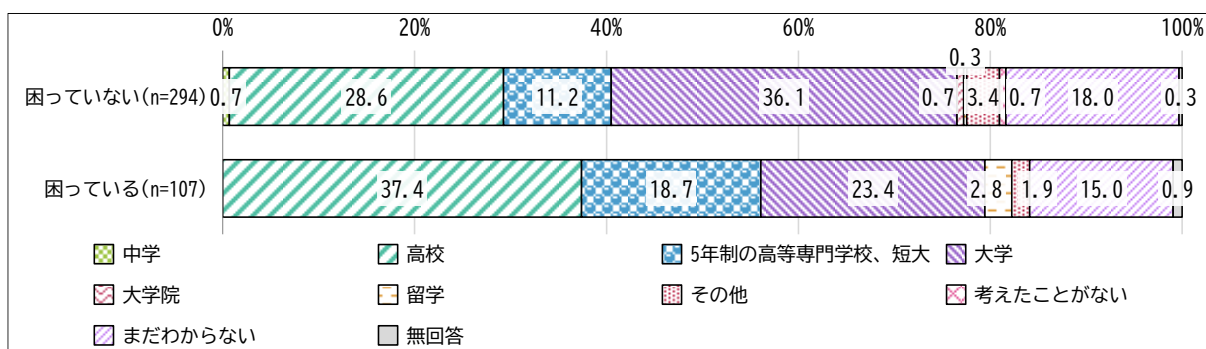
○小学生では「大学」が33.4%と最も高く、次いで「高校」28.3%、「まだわからない」18.3%となっています。

○中学生では「高校」が37.2%と最も高く、次いで「大学」30.1%、「まだわからない」15.0%となっています。

○暮らしの状況でみると、「困っている」では「困っていない」と比べて「大学」が12.7ポイント低くなっています。

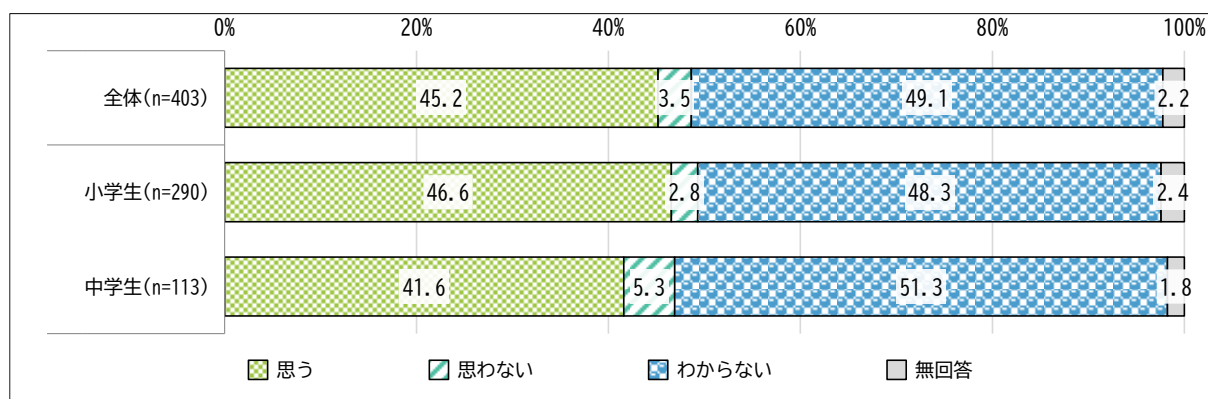


【進路希望×暮らしの状況】



問19 あなたは、お子さんが前問の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(単数回答)

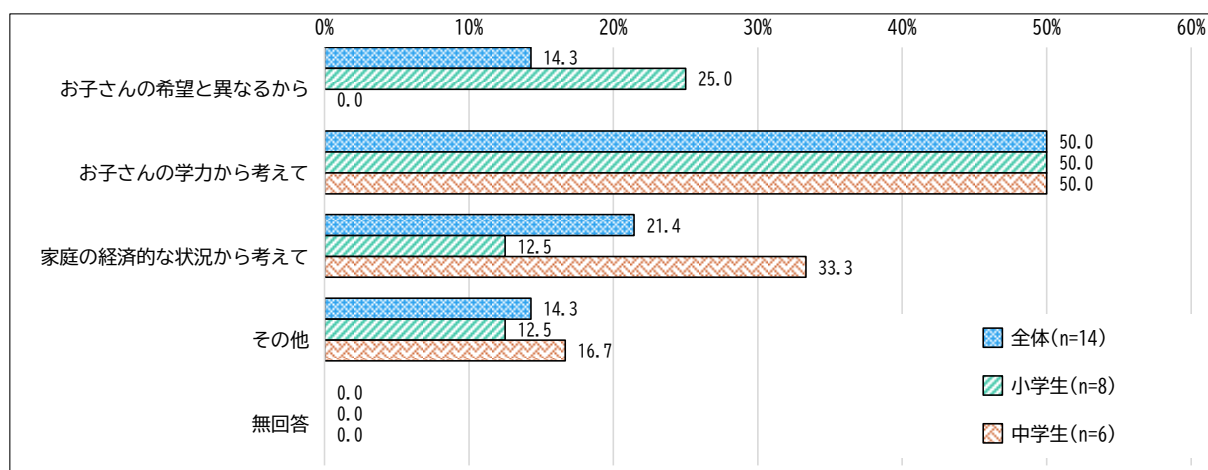
○小・中学生ともに「わからない」(小：48.3%、中：51.3%)が最も高く、次いで「思う」(小：46.6%、中：41.6%)、「思わない」(小：2.8%、中：5.3%)となっています。



問19で「2. 思わない」と回答した方のみ

問20 そう思わない理由について教えてください。(複数回答)

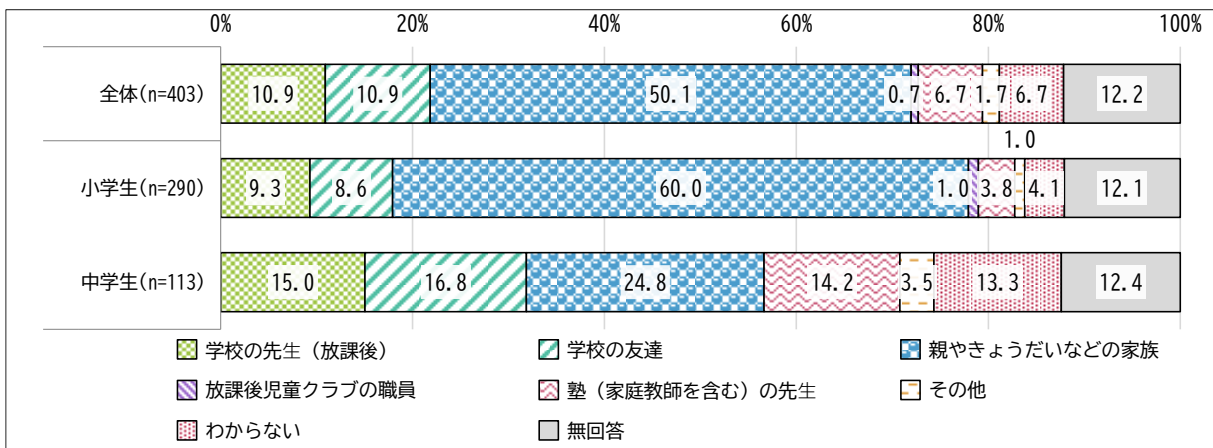
○全体では「お子さんの学力から考えて」が50.0%と最も高く、次いで「家庭の経済的な状況から考えて」21.4%、「お子さんの希望と異なるから」「その他」14.3%となっています。



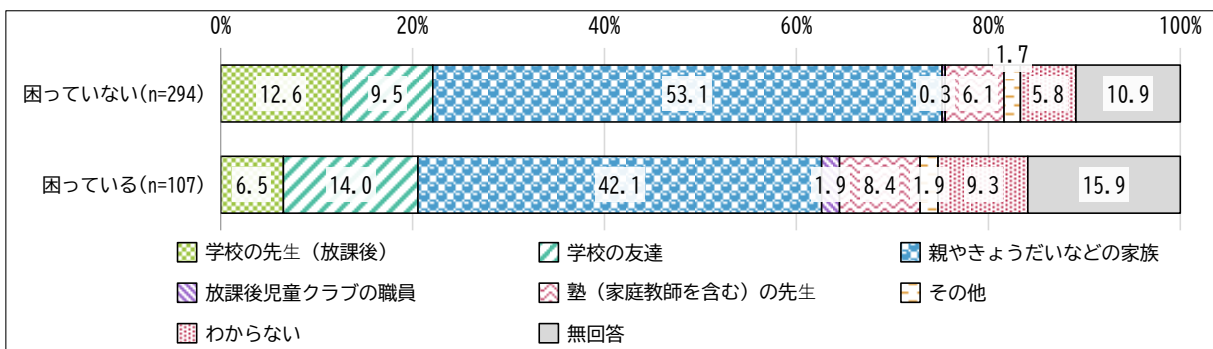
7. お子さんの学習状況について

問21 お子さんは、学校での学習で分からないことを、主に誰に教えてもらっていますか。(単数回答)

- 小・中学生ともに「親やきょうだいなどの家族」(小：60.0%、中：24.8%)が最も高く、特に小学生では6割を超えています。
- 中学生は小学生と比べて「親やきょうだいなどの家族」「放課後児童クラブの職員」以外の割合が高くなっており、特に「塾(家庭教師を含む)の先生」では10.4ポイント高くなっています。
- 暮らしの状況でみると、「困っている」では「困っていない」と比べて「親やきょうだいなどの家族」が11.0ポイント低くなっています。

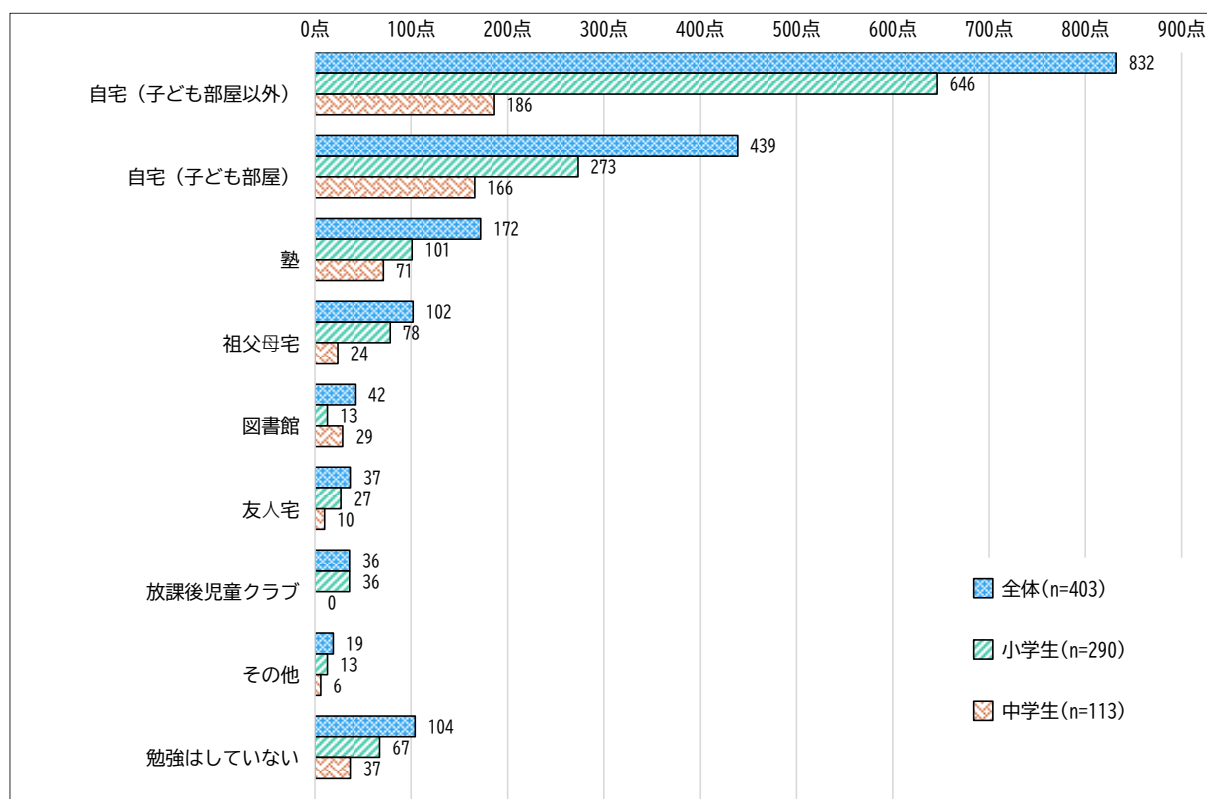


【教えてもらっている人×暮らしの状況】



問22 お子さんが学校以外で勉強している場所について教えてください。
(複数回答)

- 小学生では「自宅（子ども部屋以外）」が最も高く、次いで「自宅（子ども部屋）」、「祖父母宅」となっています。
- 中学生では「自宅（子ども部屋以外）」が最も高く、次いで「自宅（子ども部屋）」、「塾」となっています。



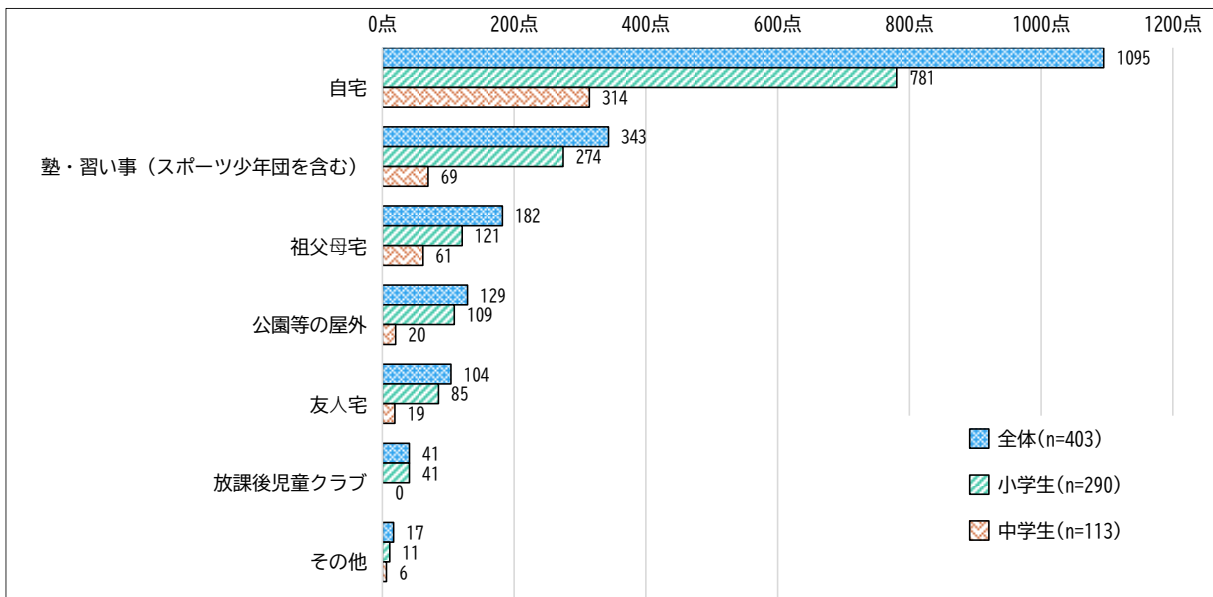
※1 番目(3点)、2番目(2点)、3番目(1点)と点数化して集計

8. お子さんの放課後等の居場所について

問23 お子さんが放課後（部活動後）に過ごす場所について教えてください。
（複数回答）

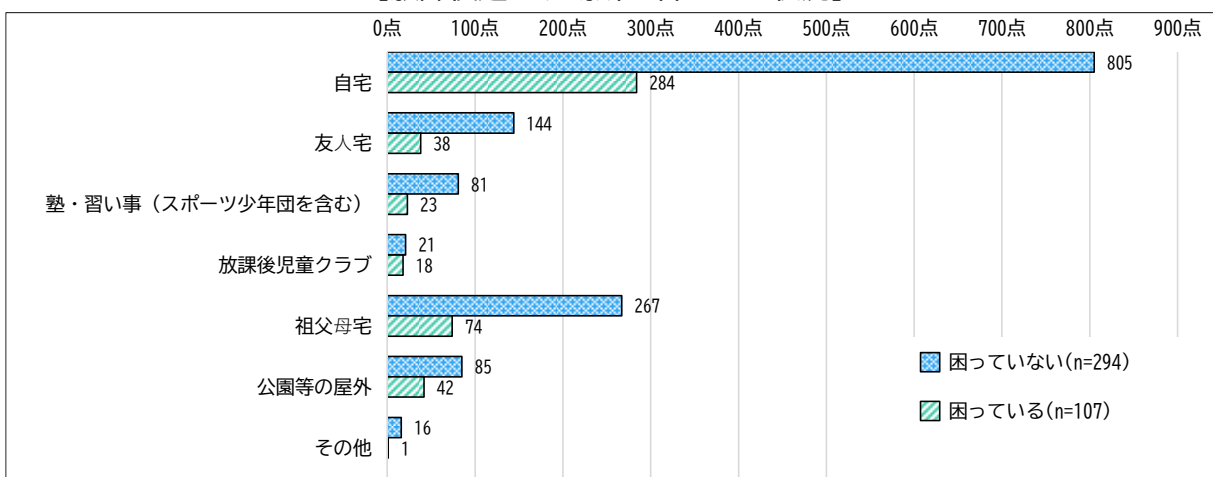
○小・中学生ともに「自宅」が最も高く、次いで「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」、「祖父母宅」となっています。

○暮らしの状況でみると、「困っていない」では「困っている」と比べてどの項目も高くなっており、特に「自宅」「友人宅」「祖父母宅」が高くなっています。



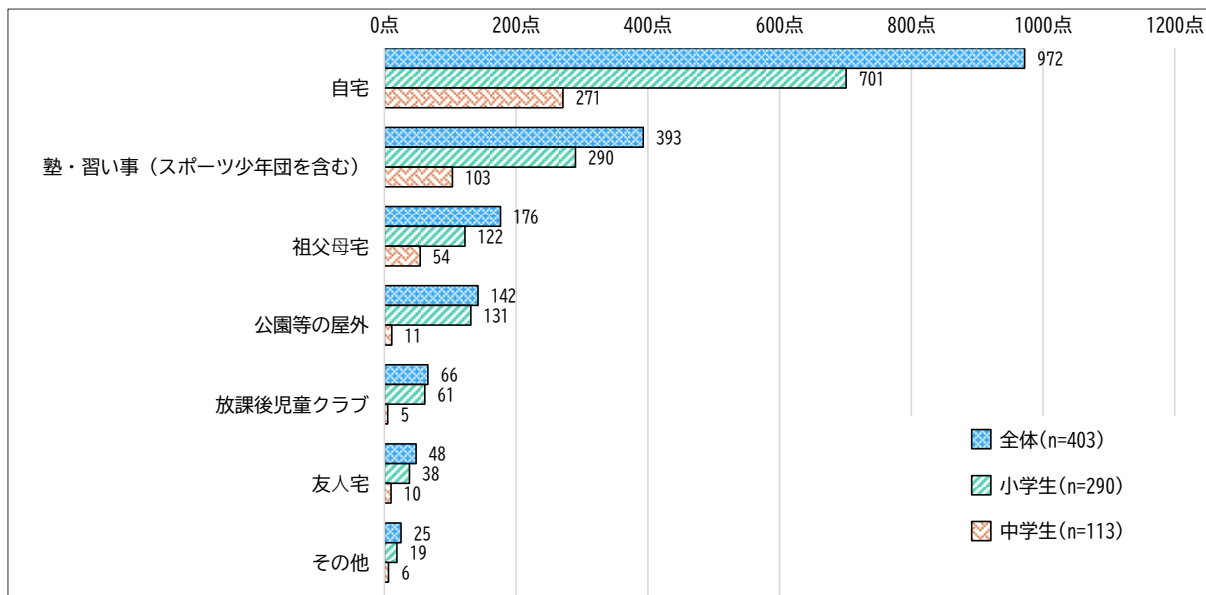
※1 番目(3点)、2番目(2点)、3番目(1点)と点数化して集計

【放課後過ごす場所×暮らしの状況】



問24 お子さんが放課後（部活動後）に過ごす場所として、今後利用したい（適している）と思う場所を教えてください。（複数回答）

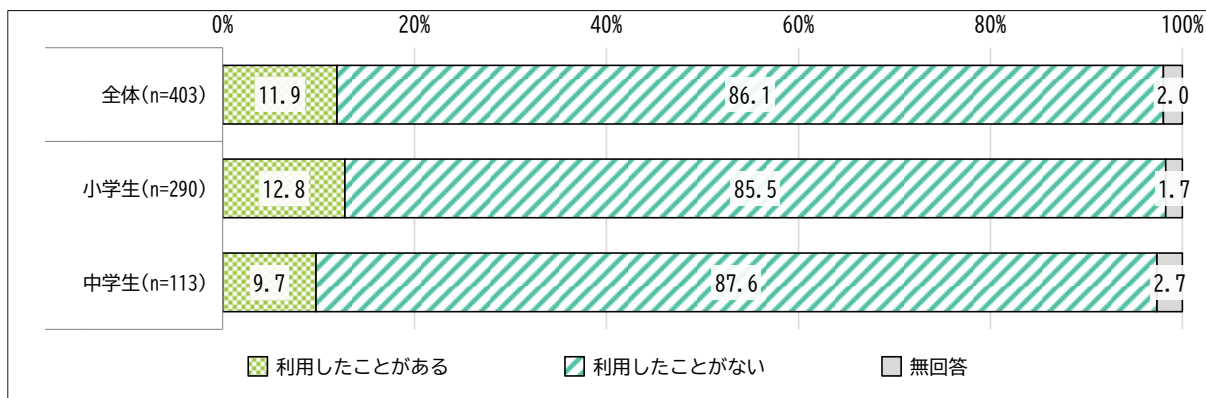
○小・中学生ともに「自宅」が最も高く、次いで「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」、「祖父母宅」となっています。



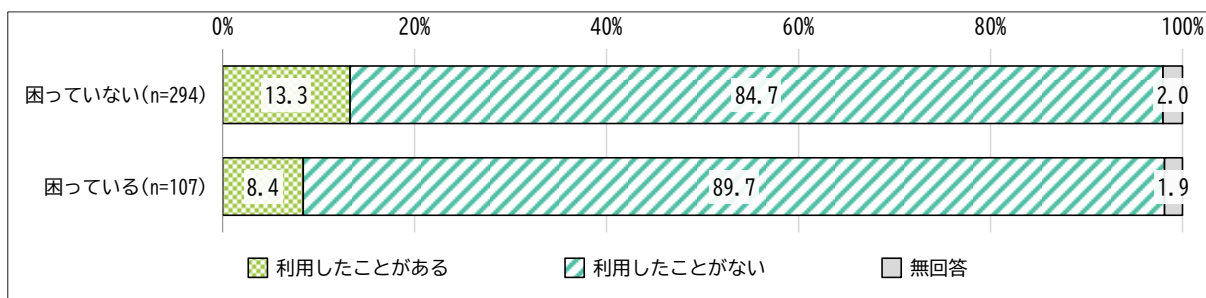
※1 番目(3点)、2番目(2点)、3番目(1点)と点数化して集計

問25 あなたのお子さんは、「子どもの居場所」を利用したことがありますか。
(単数回答)

○小・中学生ともに「利用したことがない」(小：85.5%、中：87.6%)が8割を超えており、「利用したことがある」(小：12.8%、中：9.7%)を大きく上回っています。

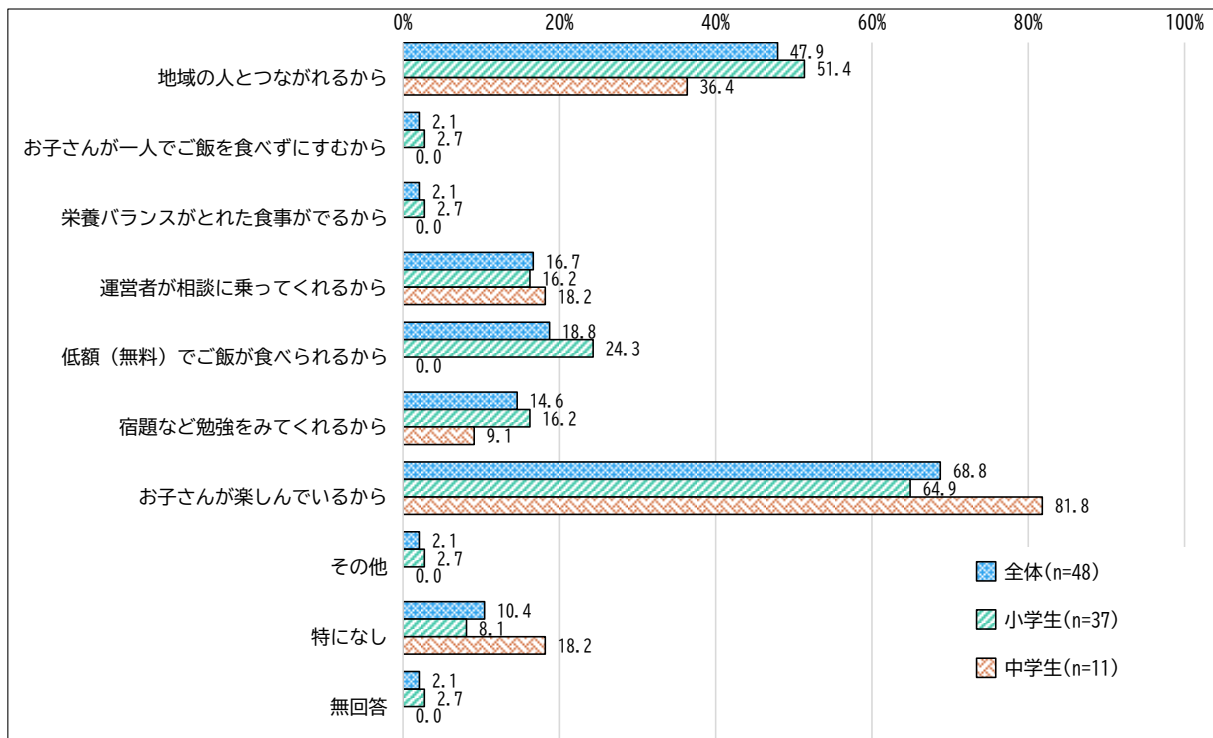


【「子どもの居場所」の利用有無×暮らしの状況】



問26 お子さんが「子どもの居場所」を利用することで良いと思うことは何ですか。
(複数回答)

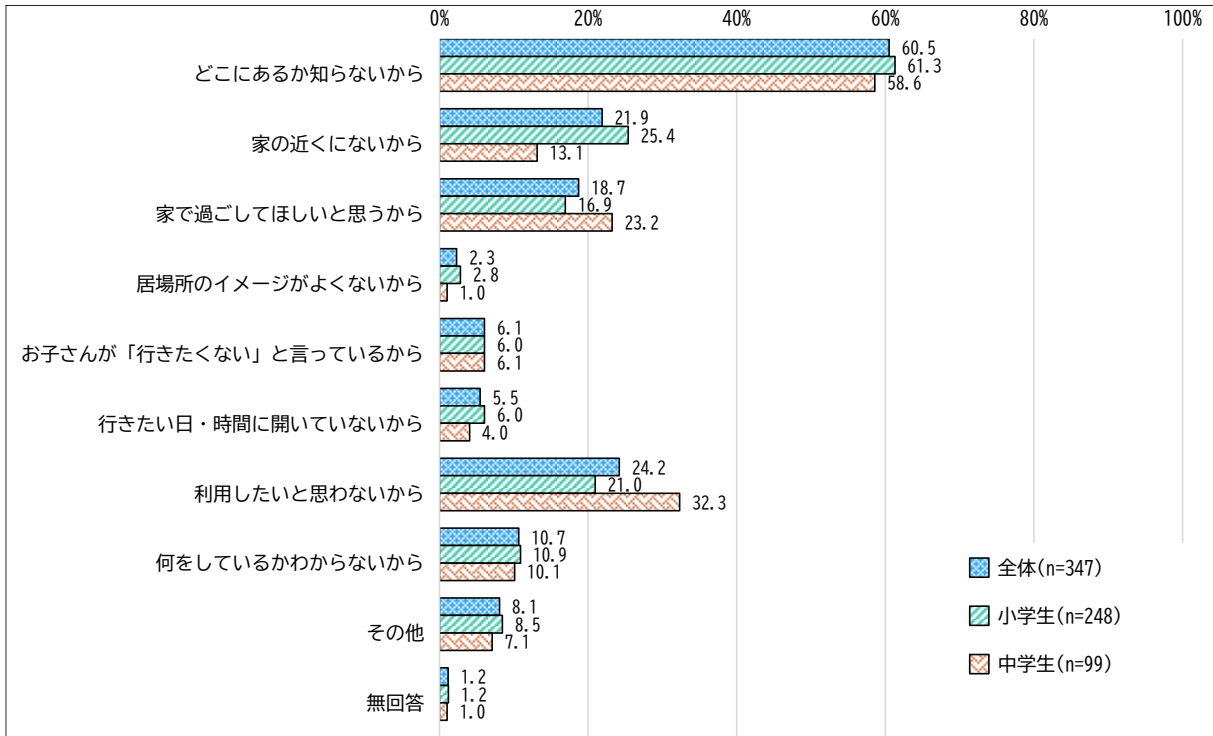
○小・中学生ともに「お子さんが楽しんでいるから」(小：64.9%、中：81.8%)が最も高く、次いで「地域の人とつながれるから」(小：51.4%、中：36.4%)となっています。



問27 お子さんが「子どもの居場所」を利用しないのはなぜですか。(複数回答)

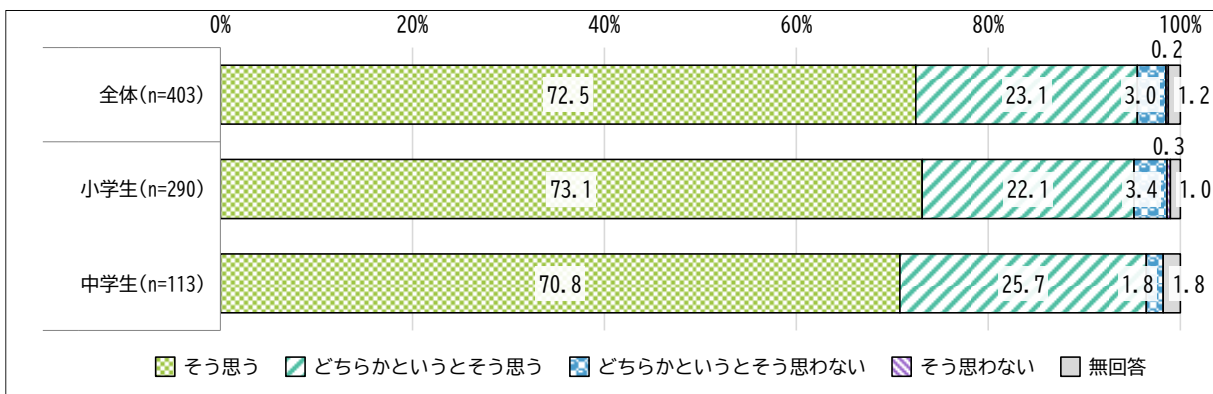
○小・中学生ともに「どこにあるか知らないから」(小：61.3%、中：58.6%)が最も高く、次いで、小学生では「家の近くにないから」25.4%、中学生では「利用したいと思わないから」32.3%となっています。

○小学生では中学生と比べて「家の近くにないから」が高く、「利用したいと思わないから」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



問28 お子さんは、自分の家を居心地がいいと感じていますか。(単数回答)

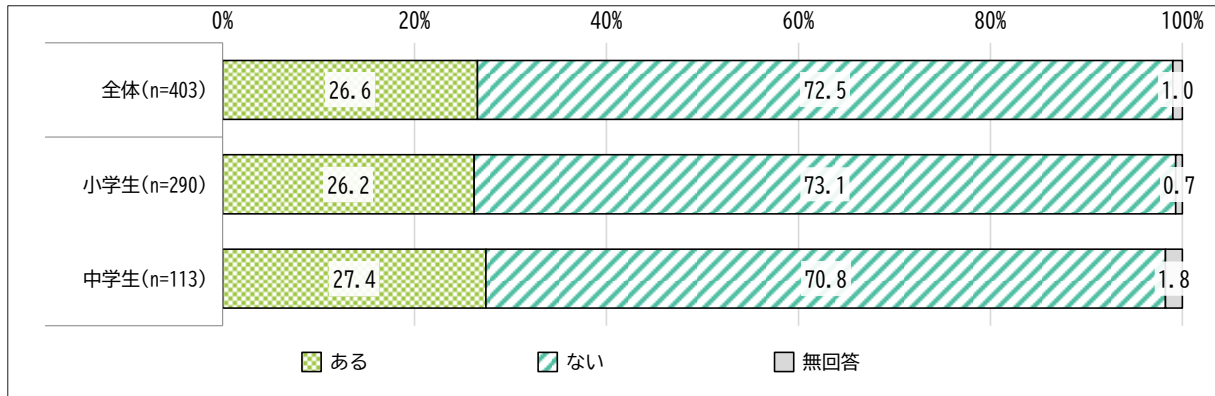
○小・中学生ともに9割以上が「思う：そう思う+どちらかというと思う」(小：95.2%、中：96.5%)と回答しています。



9. 世帯の経済状況について

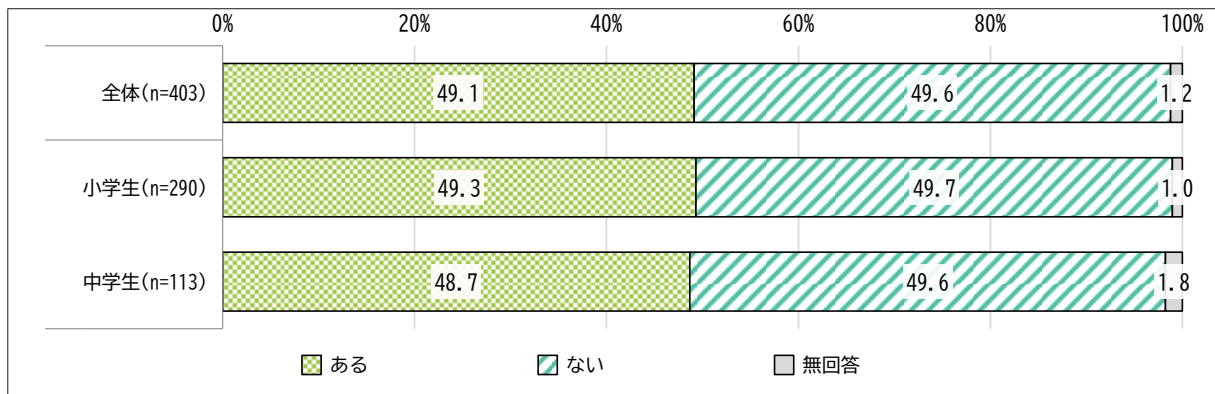
問29 経済的な理由により、子どもの学習意欲にこたえられなかったことがありますか。(単数回答)

○小・中学生ともに「ない」(小：73.1%、中：70.8%)が7割を超えており、「ある」(小：26.2%、中：27.4%)を上回っています。



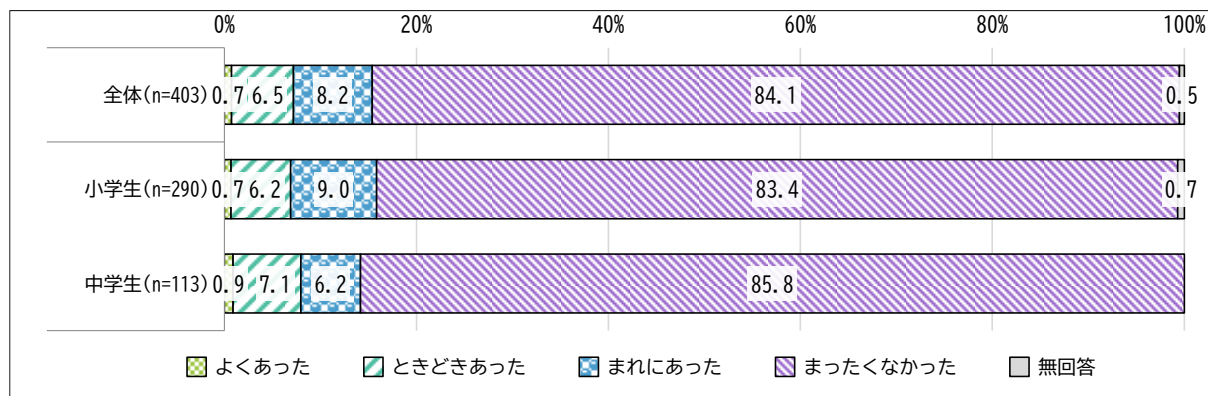
問30 経済的な理由により、子どもの進路選択の幅が狭くなるなど、子どもの進路に不安をいだいたことがありますか。(単数回答)

○小・中学生ともに「ある」(小：49.3%、中：48.7%)「ない」(小：49.7%、中：49.6%)がほぼ同率となっています。



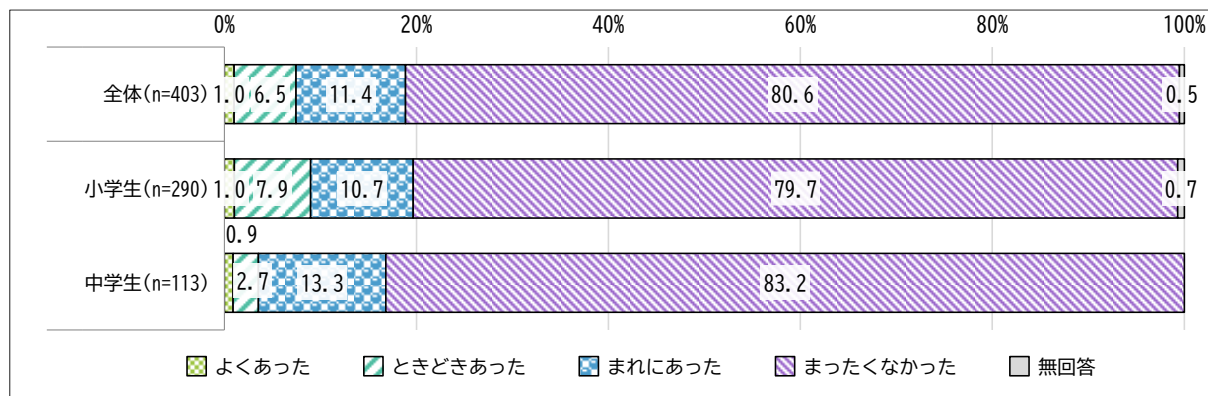
問3 1 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか（嗜好品以外）。（単数回答）

○小・中学生ともに「まったくなかった」（小：83.4%、中：85.8%）が8割を超えており、「あった：よくあった+ときどきあった+まれにあった」は1割台となっています。



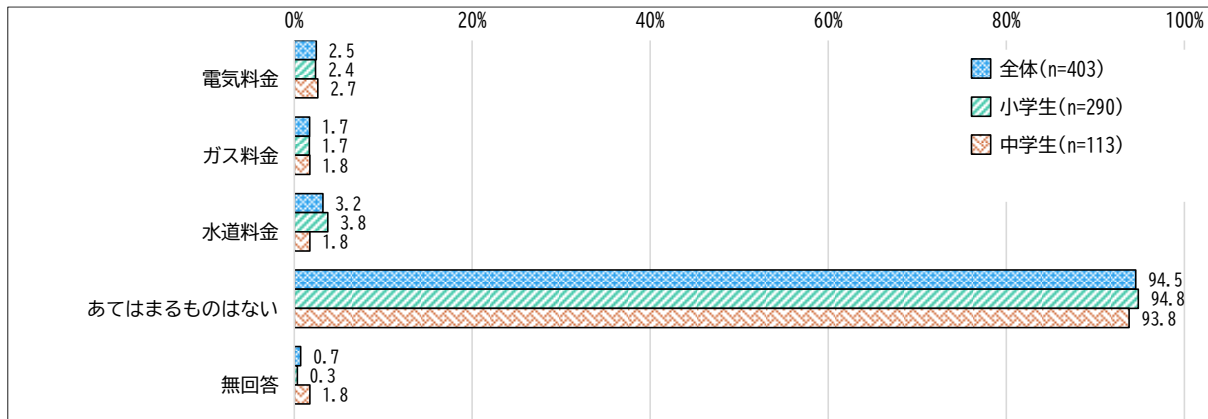
問3 2 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか（高価な衣服や貴金属・宝飾品以外）。（単数回答）

○小・中学生ともに約8割が「まったくなかった」（小：79.7%、中：83.2%）と回答しており、約2割は『あった』と回答しています。



問33 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(複数回答)

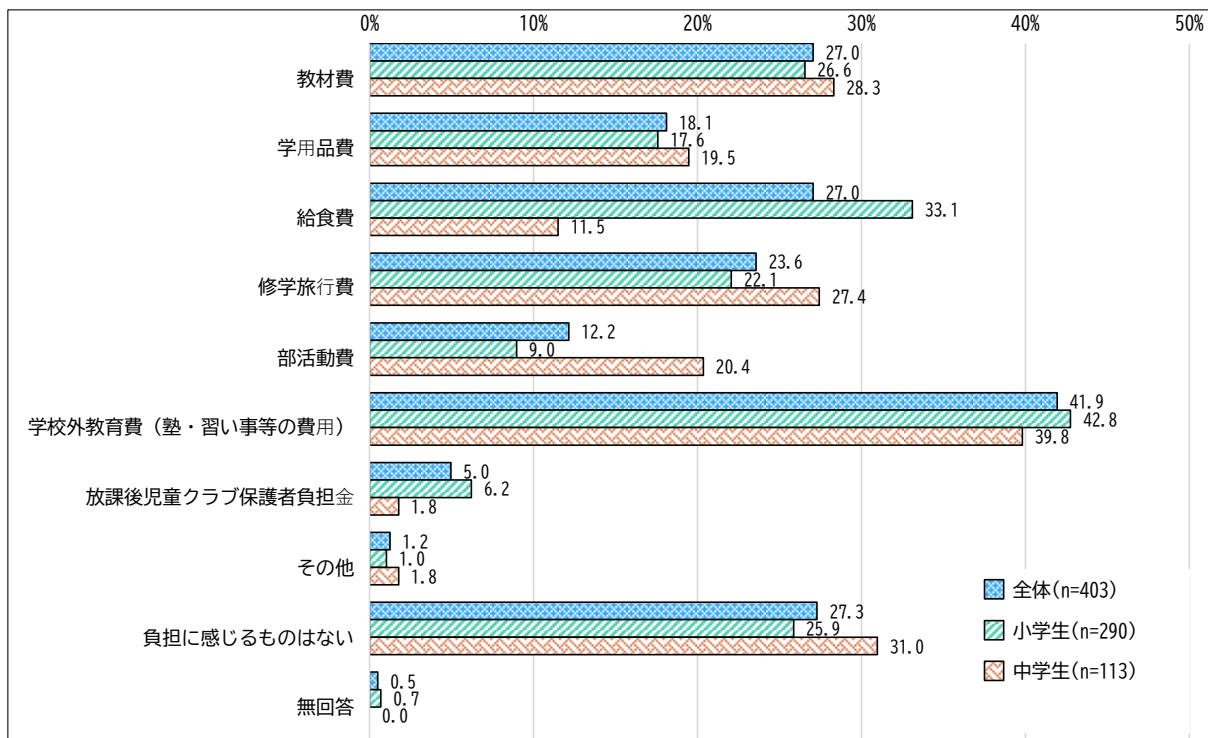
○小・中学生ともに9割が「あてはまるものはない」(小：94.8%、中：93.8%)と回答しています。



問34 教育関連の支出について、負担に感じるものがありますか。(複数回答)

○小・中学生ともに「学校外教育費(塾・習い事等の費用)」(小：42.8%、中：39.8%)が最も高く、次いで、小学生では「給食費」33.1%、中学生では「負担に感じるものはない」31.0%となっています。

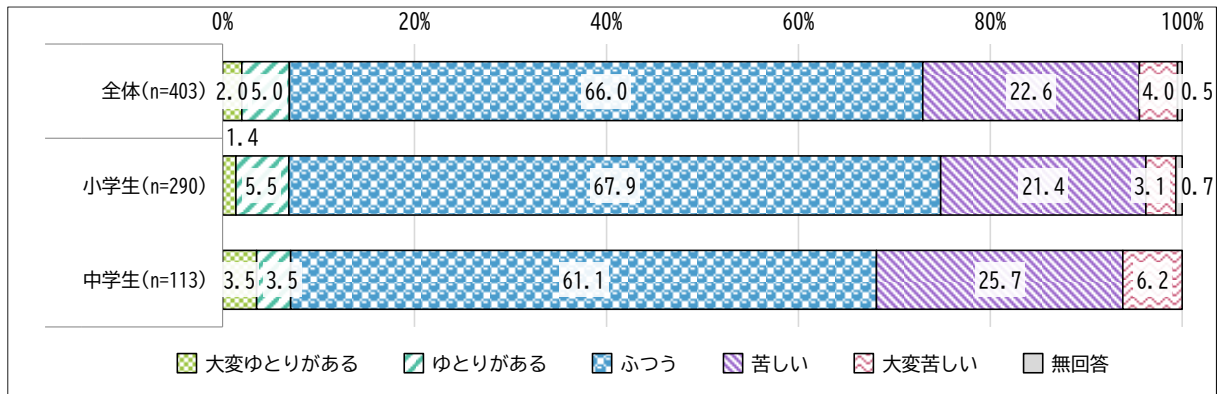
○中学生では小学生と比べて「給食費」が低く、「部活動費」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



問35 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単数回答)

○小・中学生ともに「ふつう」(小：67.9%、中：61.1%)が最も高く、6割を超えています。

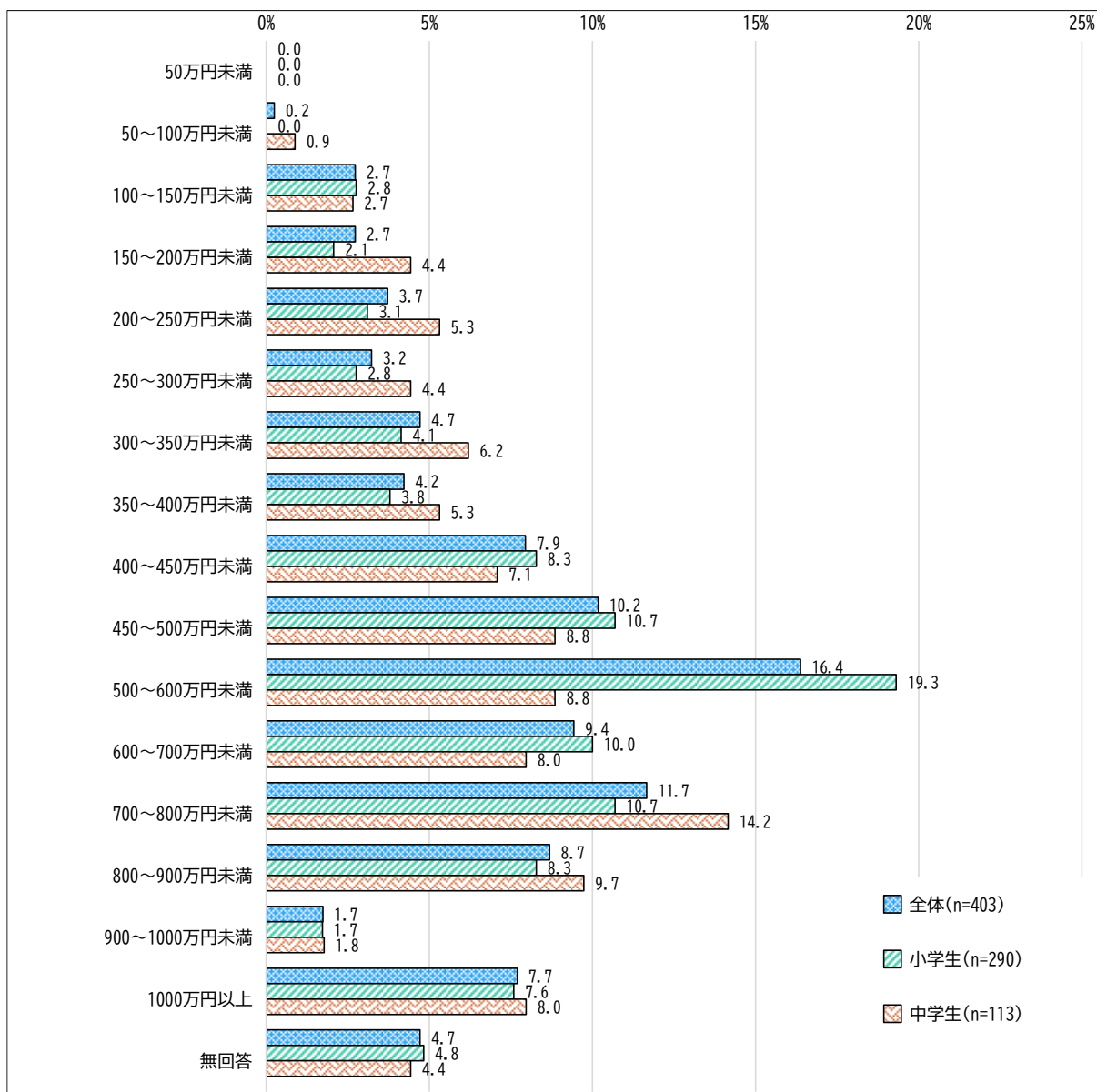
○小・中学生ともに「ゆとりがある：大変ゆとりがある+ゆとりがある」(小：6.9%、中：7.0%)は1割を切っており、小学生では2割、中学生では3割が「苦しい：苦しい+大変苦しい」と回答しています。



問36 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（単数回答）

○小学生では「500～600万円未満」19.3%が最も高く、次いで「450～500万円未満」「700～800万円未満」10.7%、
「600～700万円未満」10.0%となっています。

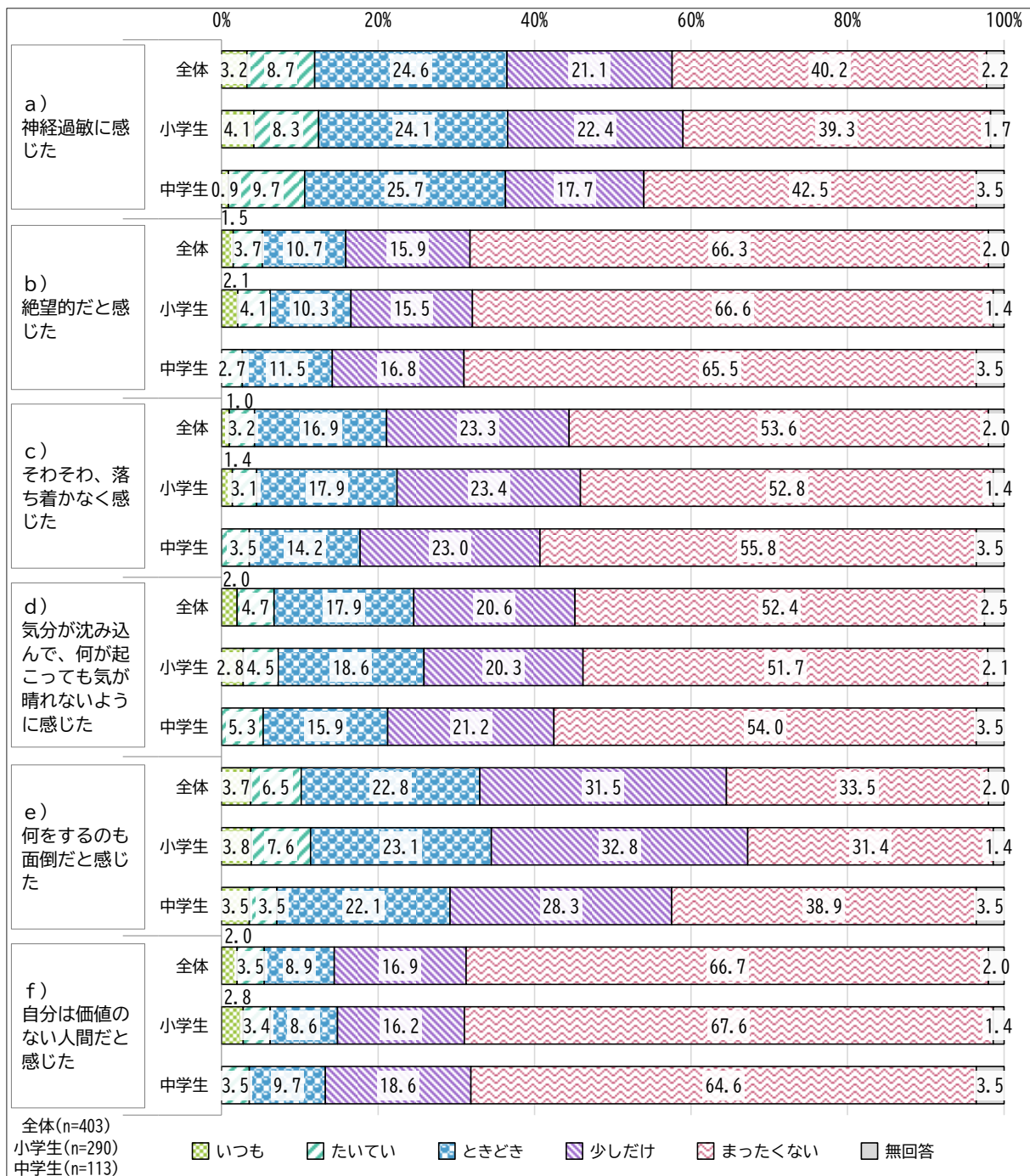
○中学生では「700～800万円未満」が14.2%と最も高く、次いで「800～900万円未満」9.7%、
「450～500万円未満」「500～600万円未満」8.8%となっています。



10. ふだんの生活と必要な支援について

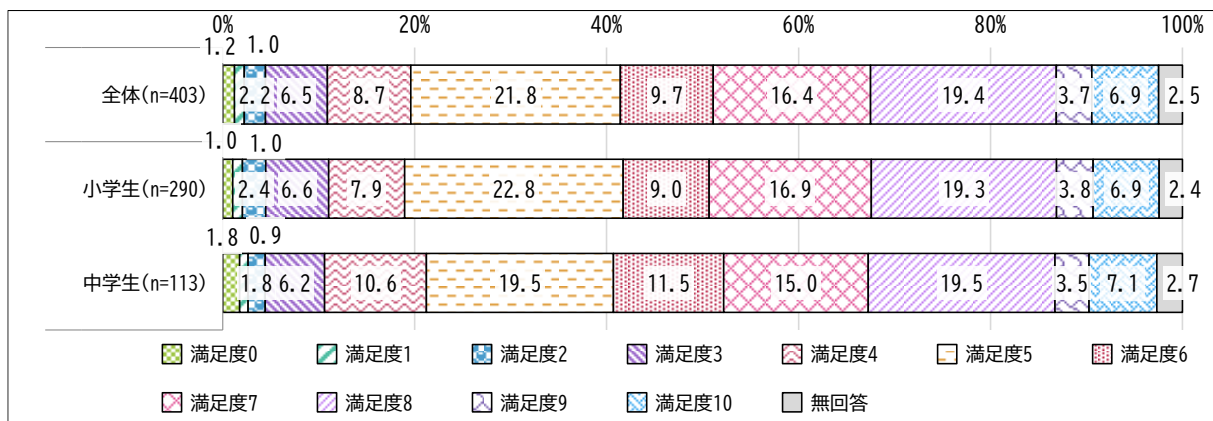
問37 次のa)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(単数回答)

○小・中学生ともに「絶望的だと感じた」「そろそろ、落ち着かなく感じた」「気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた」「自分は価値のない人間だと感じた」では「まったくない」が5割を超えています。また、「神経過敏に感じた」「何をするのも面倒だと感じた」では「いつも+たいてい+ときどき+少しだけ」が5割を超えており、「まったくない」を10ポイント以上上回っています。



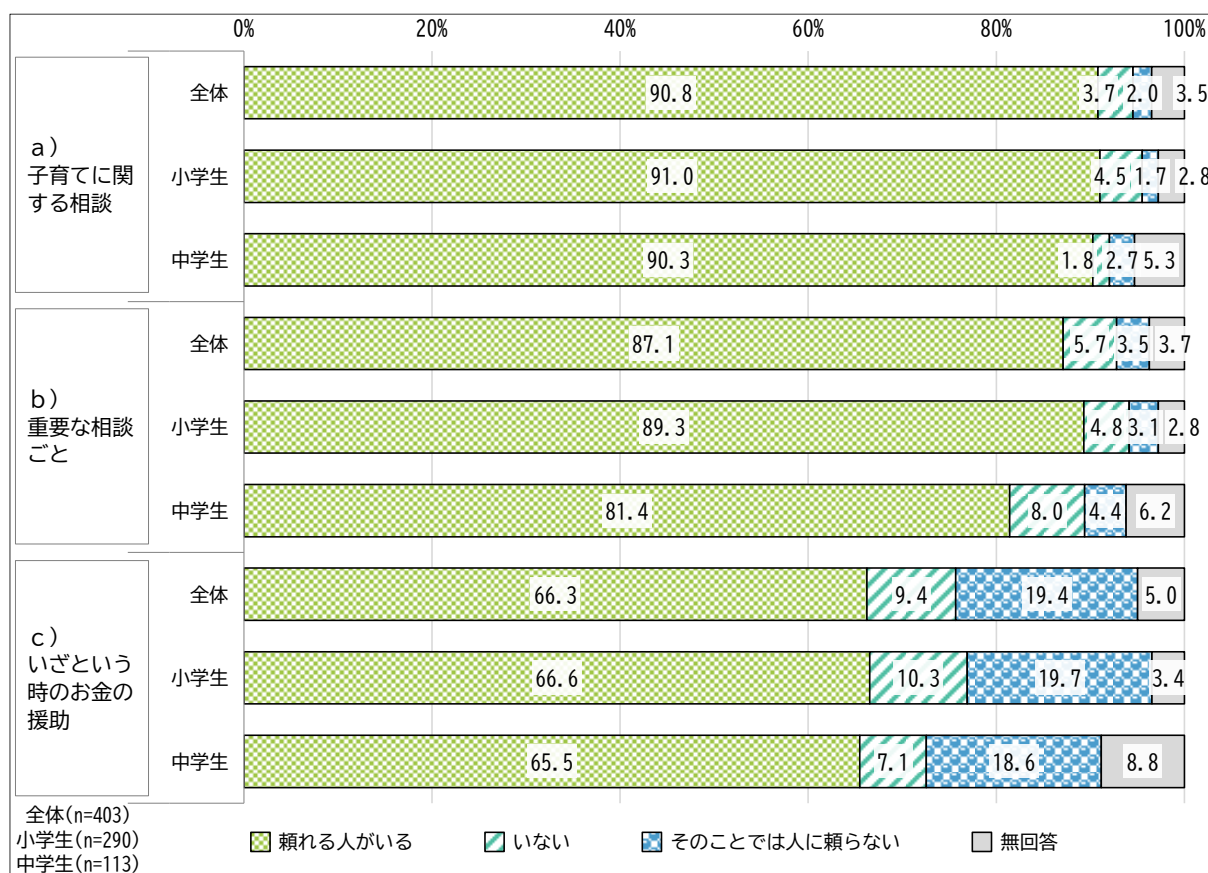
問38 全体としてあなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
(単数回答)

- 小学生では「満足度5」が22.8%と最も高く、次いで「満足度8」19.3%、「満足度7」16.9%となっています。
- 中学生では「満足度5」「満足度8」が19.5%と最も高く、次いで「満足度7」15.0%、「満足度6」11.5%となっています。
- 小・中学生ともに「満足度が高い：満足度9+満足度10」(小：10.7%、中：10.6%)は1割台となっています。



問39 次のa)～c)の質問について、頼れる人はいますか。また「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(単数回答)

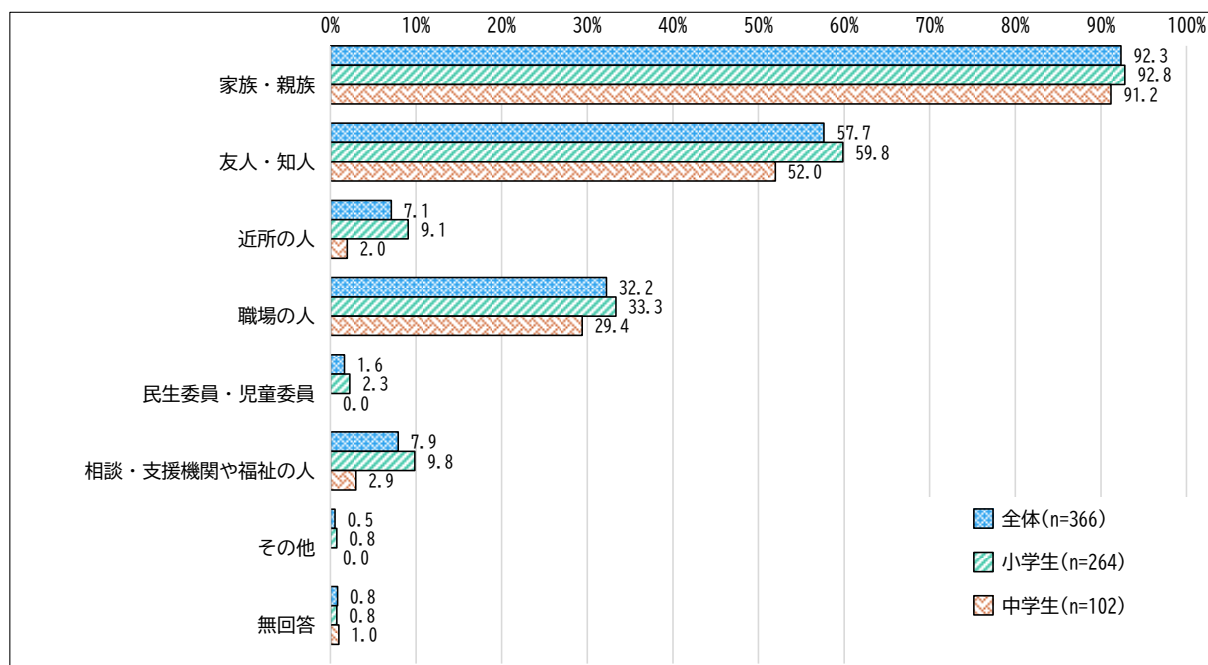
○小・中学生ともに「子育てに関する相談」は9割、「重要な相談ごと」は8割が「頼れる人がいる」と回答しています。また、「いざという時のお金の援助」については「頼れる人がいる」が6割台と低くなっており、約3割が「いない+そのことでは人に頼らない」と回答しています。



◆頼れる人について

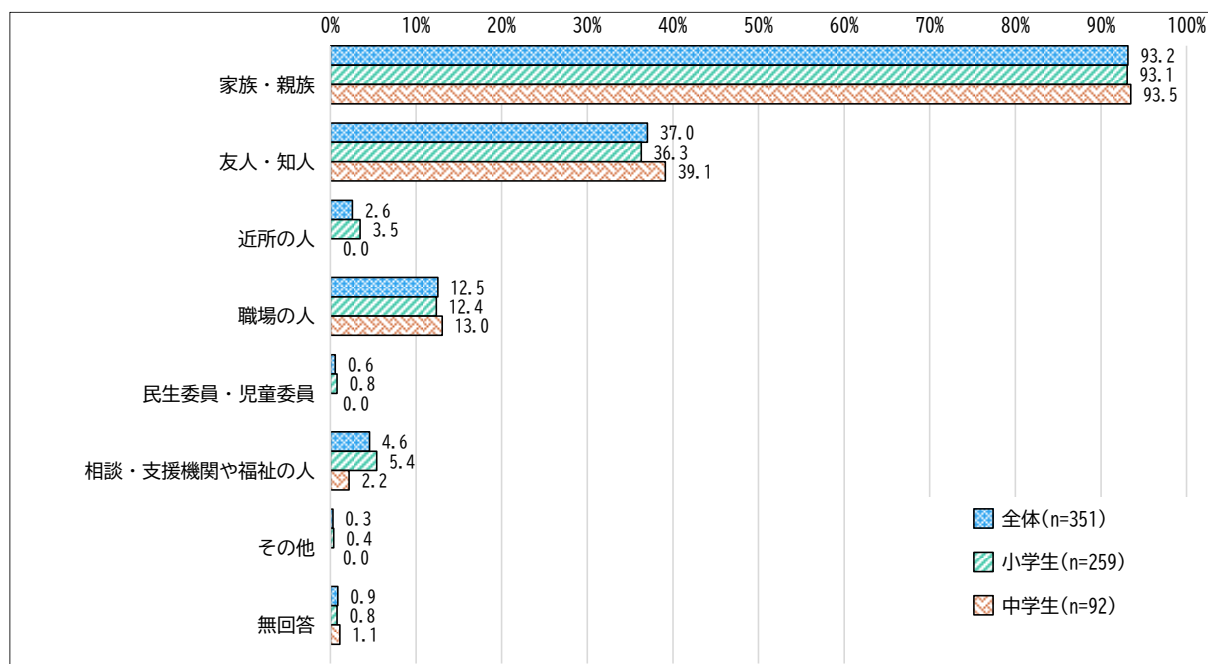
a) 子育てに関する相談

○子育てに関する相談については、小・中学生ともに「家族・親族」（小：92.8%、中：91.2%）」が最も高く9割を超えており、次いで「友人・知人」（小：59.8%、中：52.0%）」が5割台、3割前後が「職場の人」（小：33.3%、中：29.4%）」と回答しています。



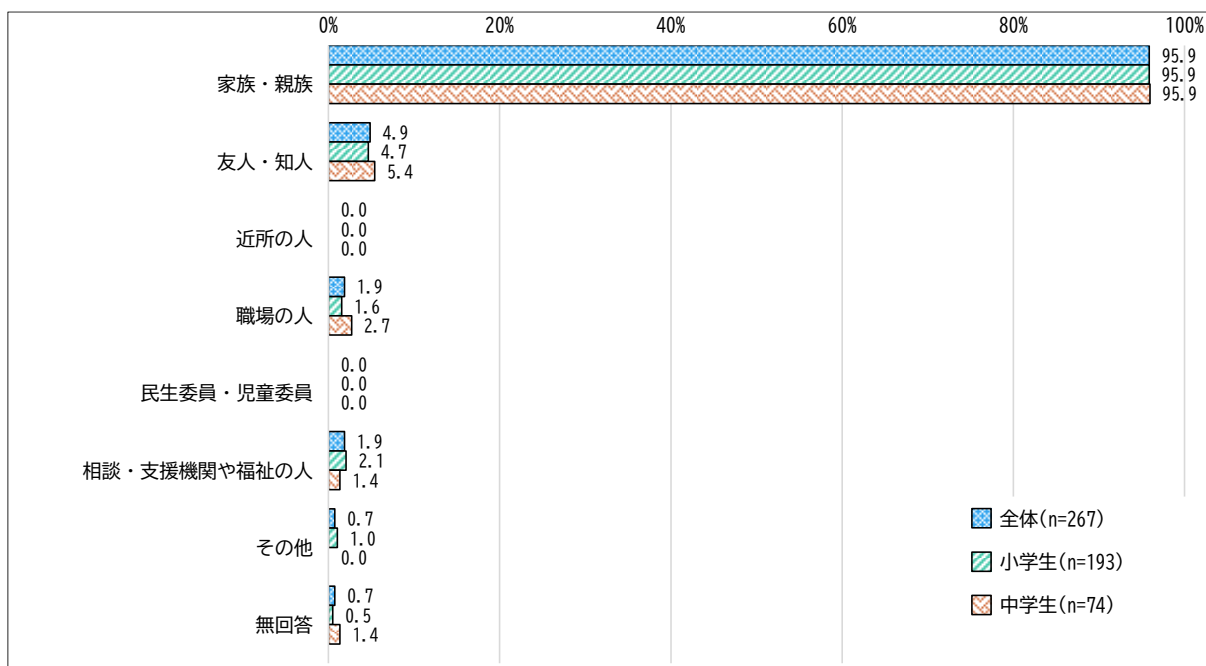
b) 重要な相談ごと

○重要な相談ごとについては、小・中学生ともに「家族・親族」（小：93.1%、中：93.5%）」が最も高く9割を超えており、次いで「友人・知人」（小：36.3%、中：39.1%）」が3割台、「職場の人」（小：12.4%、中：13.0%）」が1割台となっています。



c) いざという時のお金の援助

○いざという時のお金の援助については、小・中学生ともに「家族・親族」(小・中：95.9%)が最も高く9割を超えており、家族・親族以外への相談の割合はいずれも1割を切っています。

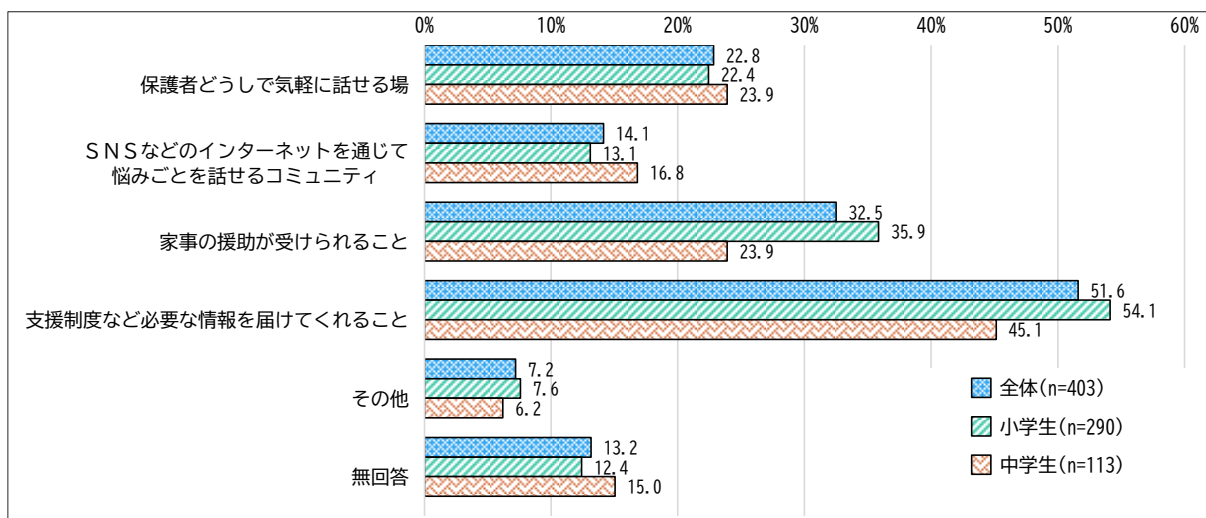


問40 あなたが身近にあると思うことは何ですか。(複数回答)

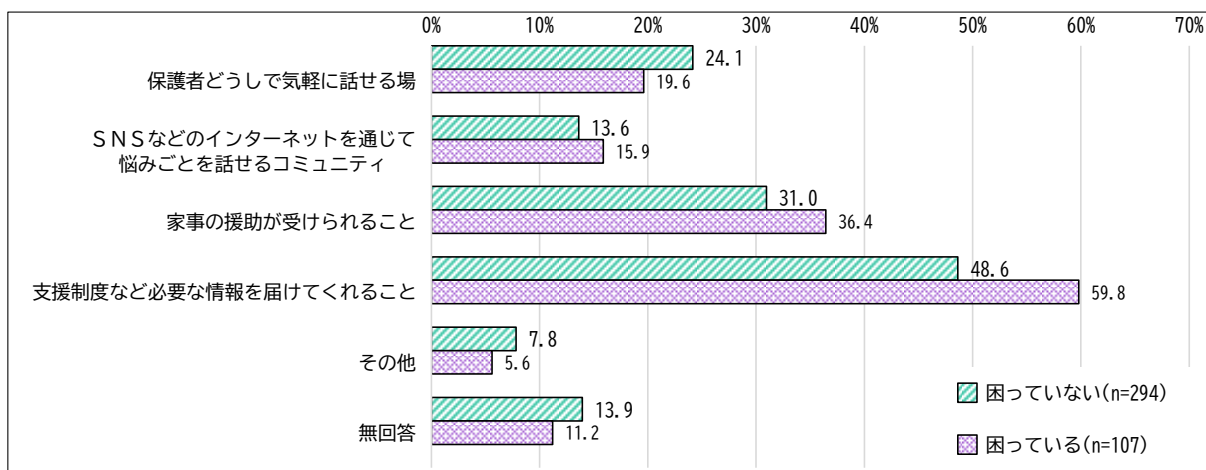
○小・中学生ともに「支援制度など必要な情報を届けてくれること」(小：54.1%、中：45.1%)が最も高く、次いで、小学生では「家事の援助が受けられること」35.9%、中学生では「保護者どうして気軽に話せる場」「家事の援助が受けられること」23.9%となっています。

○小学生では中学生と比べて「家事の援助が受けられること」が12.0ポイント高くなっています。

○暮らしの状況でみると、「困っている」では「困っていない」と比べて「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が11.2ポイント高くなっています。

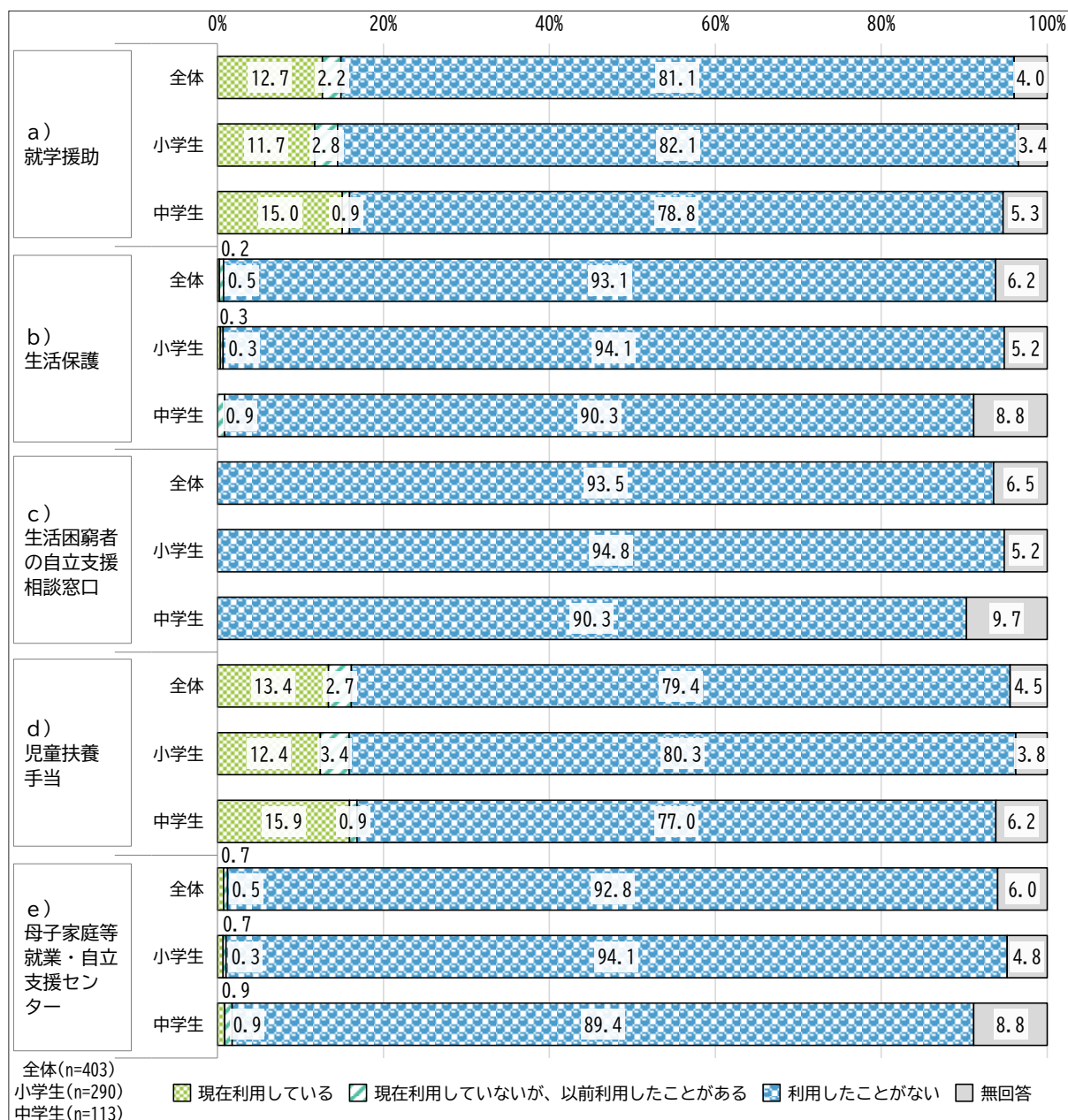


【身近にあると思うこと×暮らしの状況】



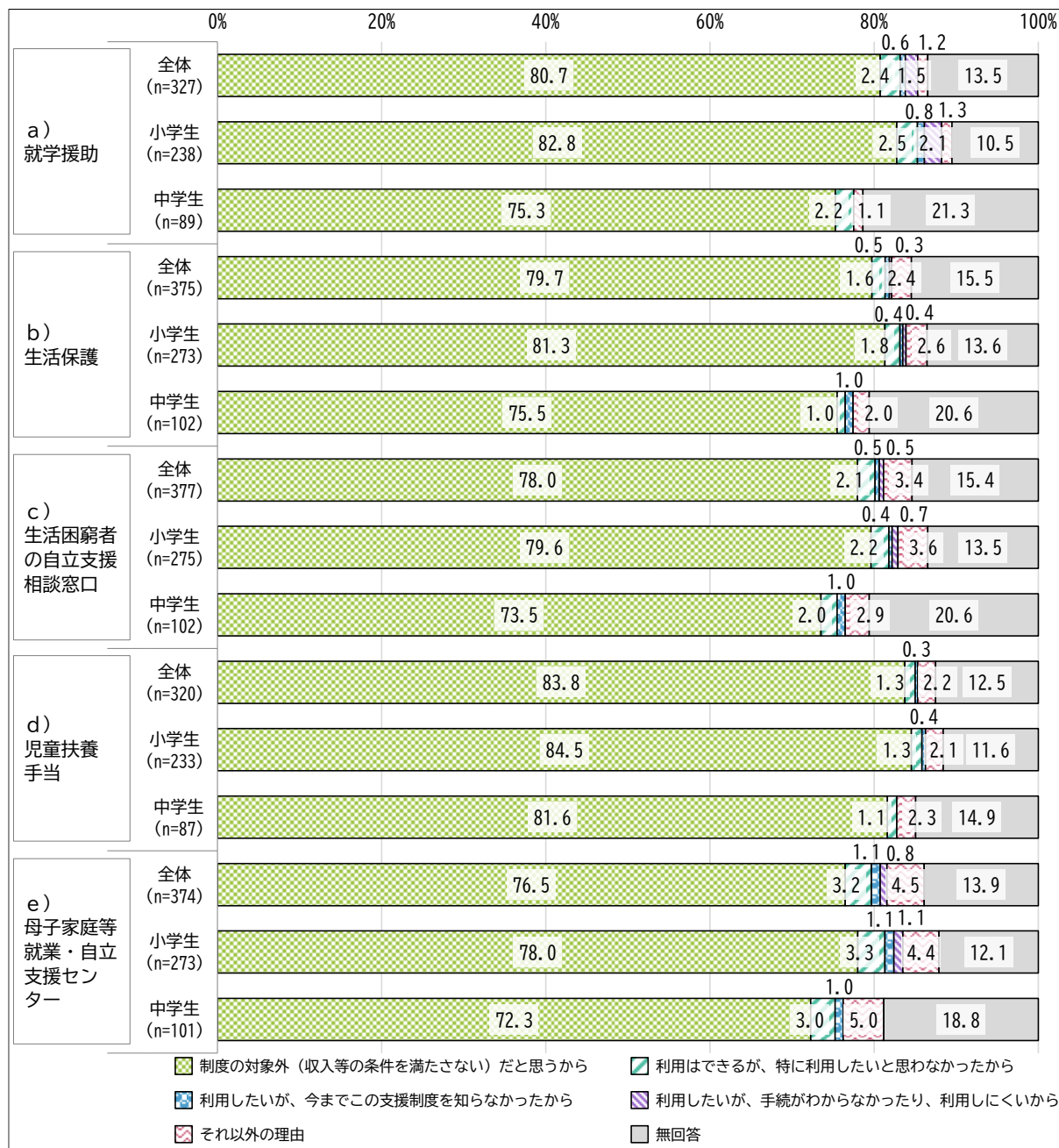
**問4 1 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。
(単数回答)**

- 小・中学生ともに「利用したことがない」が最も高く、7割を超えており、特に「生活保護」「生活困窮者の自立支援相談窓口」「母子家庭等就業・自立支援センター」は9割前後が「利用したことがない」と回答しています。
- 「就学援助」「児童扶養手当」については、「現在利用している+現在利用していないが、以前利用したことがある」が1割台と他の支援制度と比べて利用率が高くなっています。



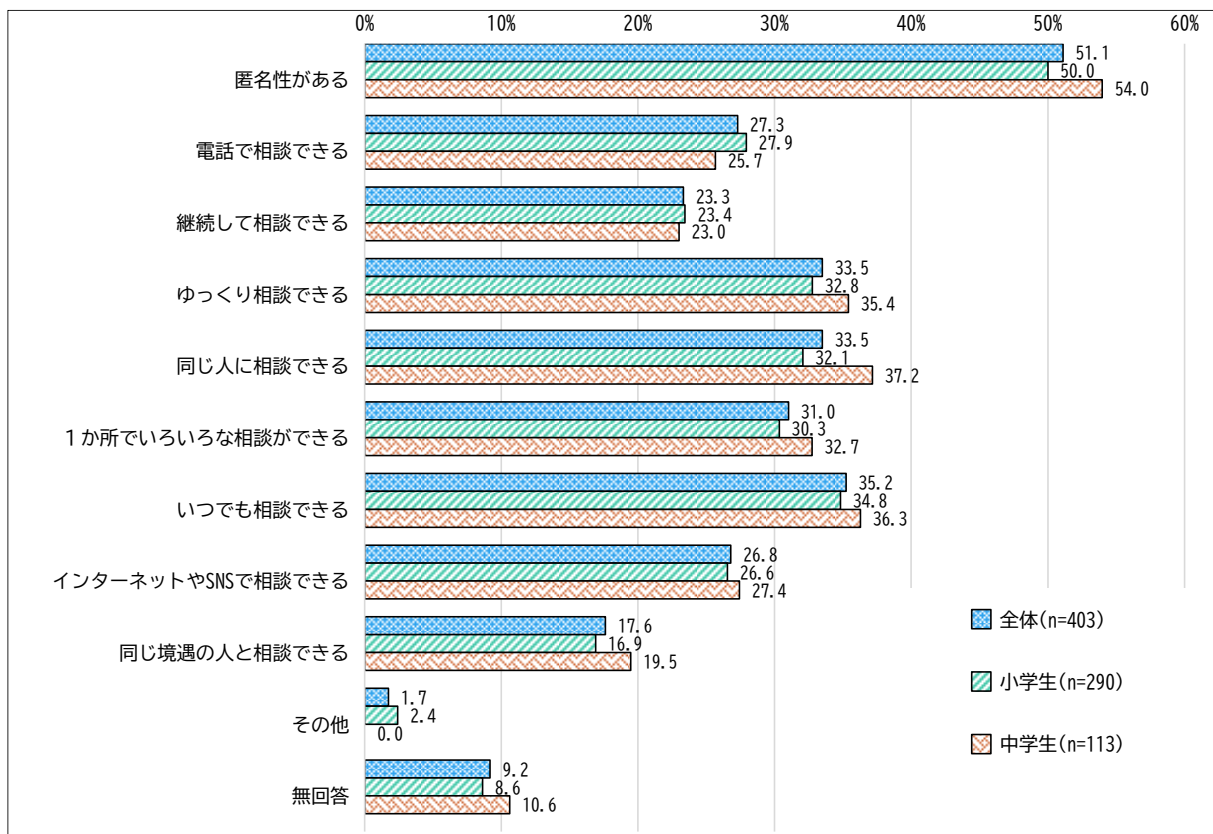
◆利用したことがない理由

○小・中学生ともに「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っから」が最も高く、7割を超えています。



問4 2 あなたは、町の相談窓口がどのような場所（相手）であれば相談しやすいですか。（複数回答）

○小・中学生ともに「匿名性がある」(小：50.0%、中：54.0%) が最も高く、次いで、小学生では「いつでも相談できる」34.8%、中学生では「同じ人に相談できる」37.2%となっています。また、「ゆっくり相談できる」「1か所でいろいろな相談ができる」「いつでも相談できる」も3割を超えています。



問4 3 あなたが毎日の生活で感じていることや子育てに対する不安や必要な支援などを自由に記入してください。（自由回答）

※詳細は、

別紙「佐々町 子ども・子育て及び子どもの生活状況アンケート調査 結果報告書（自由記述）」

に掲載

